

Ⅲ 学習

1 教務関係

- 1) 学期
- 2) 授業時間
- 3) 単位
- 4) 単位の修得
- 5) 授業評価
- 6) 履修登録
- 7) 再履修
- 8) 休講・補講・集中講義・授業時間割表
- 9) 試験等の受験心得

2 履修関係

- 1) カリキュラムの特色
- 2) 卒業の要件
- 3) 授業科目 平成30年度入学生適用
- 4) 平成30年度教育課程表
- 5) 各種資格
- 6) 北翔大学 教職課程履修規程
- 7) 札幌圏大学・短期大学間
単位互換協定について

3 学費等納付金関係

- 1) 学費等納付金
- 2) 別途徴収となる実習費・履修費
- 3) 納付期日

1. 教務関係

1) 学期

学年を分けて、次の2学期とします。

前学期 4月1日から9月30日まで

後学期 10月1日から翌年3月31日まで

2) 授業時間

平常の授業は授業時間割表に従って次の時間で行われます。

1 講目	9 : 00~10 : 30
2 講目	10 : 40~12 : 10
3 講目	13 : 10~14 : 40
4 講目	14 : 50~16 : 20
5 講目	16 : 30~18 : 00
6 講目	18 : 10~19 : 40

3) 単位

単位とは、授業科目の修得に必要な学修量を測る基準となるものです。大学で開講しているすべての授業科目には、履修した場合に与えられる単位数が設定されています。単位制度とは、各授業科目に配当されている単位を履修し、その単位数を一定以上修得することで卒業できる制度のことです。大学での学修は与えられるものではなく、自ら行うものです。単位を修得するには、教室内における学修だけではなく、教室外での自学自習が必要になります。単位は、授業に出席し受講するだけでなく、自習を行い、さらに試験その他の方法によって合格と判定されなければなりません。すなわち、単位は、これらを総合した結果、認定されるものなのです。1単位の授業科目は、標準として、教室外での自学自習もあわせて、45時間の学修を必要とする内容で構成されています。本学では、授業の方法、教育効果、授業時間外に必要な自学自習等を考慮して、次の基準によって計算しています。

1 単位の授業科目に必要な学修時間

授業形態	授業時間	自習時間	計
講義・演習	15時間	30時間	45時間
実験・実習・実技	30時間	15時間	

(例：2単位の講義・演習科目)

毎週2時間の授業に対して4時間の自学自習を必要とし、15週の実施をもって2単位とします。

4) 単位の修得

①単位認定を受ける資格

- ・履修登録をしたもの。
- ・受講科目について出席時間数が授業時間数の2/3以上出席したもの（受講科目によっては補講等を与える場合があります）。
- ・授業料、その他納付金を納入したもの。

②成績評価

本学では、定期試験期間を設定しておりません。これは、学期末の試験（筆記試験や実技試験等）のみによって総括的に評価するのではなく、みなさんの学習活動の変化を形成的に評価するためです。授業時間内の口頭発表や実技、ディベート、レポート、受講態度など、さまざまな方法の組み合わせによって理解度を評価しています。

成績評価は、S・A・B・C・Dの5段階によって評価し、SからCまでを合格として単位が与えられます。Dは不合格とし、単位認定されません。授業科目ごとに定められた評価基準については、講義要綱（シラバス）で確認してください。

<成績の評価と内容、100点方式による成績評価基準>

- S（秀） 特に優秀な成績（90点以上）
- A（優） 優れた成績（89～80点）
- B（良） 科目の要求を満たす標準的な成績（79～70点）
- C（可） 合格と認められる最低限の成績（69～60点）
- D（不可） 不合格（59点以下）
- I（保留） 履修未了または成績評価の一時保留

●レポート等の提出に関する注意点

- ・学習支援オフィスに提出の指示があった場合には、所定の表紙（レポート提出票）をホッチキス止めをして提出し、受領書を受け取り確実に保管してください。
- ・担当教員へレポートの郵送はしないでください（ただし、特に指示があった場合はこの限りではありません）。

③GPA制度

本学では、履修した全科目の成績の平均値、GPA（Grade Point Averageの略）を算出します。GPAは成績評価を明確にすることにより、自分自身の学習達成度を把握し、今後の学習目標の設定と計画的な履修に活用します。GPA制度では、一度履修した科目は責任を持って確実に履修することが求められています。したがって、学生は自分の履修状況を常に認識し、無理のない学習計画を立てる必要があります。GPAを活用することにより、履修計画時の参考になります。

●GPAの算出方法

S・A・B・C・Dの5段階の成績評価には、それぞれ以下のグレードポイント（GP）が割り当てられます。

$$S = 4.0 \quad A = 3.0 \quad B = 2.0 \quad C = 1.0 \quad D = 0$$

GPAには、学期ごとに算出される「学期GPA」、学年ごとに算出される「年間GPA」、そして入学時より各学期を通算して算出する「通算GPA」があります。それぞれの計算式は、以下の通りです。GPAの計算は、小数点以下第3位を四捨五入します。

$$\text{学期GPA} = \frac{(\text{その学期に評価を受けた科目で得たGP}) \times (\text{科目の単位数}) \text{の合計}}{\text{その学期に評価を受けた科目の単位数の合計}}$$

$$\text{年間GPA} = \frac{(\text{その学年に評価を受けた科目で得たGP}) \times (\text{科目の単位数}) \text{の合計}}{\text{その学年に評価を受けた科目の単位数の合計}}$$

$$\text{通算GPA} = \frac{((\text{各学期に評価を受けた科目で得たGP}) \times (\text{その科目の単位数}) \text{の合計}) \text{の総和}}{(\text{各学期に評価を受けた科目の単位数の合計}) \text{の総和}}$$

「GPAの算出例」

授業科目名	単位数	評価	グレードポイント (GP)
基礎教育セミナー I	1 単位	S	4.0 × 1 = 4.0
日本語表現	1 単位	A	3.0 × 1 = 3.0
数学入門	1 単位	B	2.0 × 1 = 2.0
情報機器操作 I	2 単位	C	1.0 × 2 = 2.0
健康体育 (実技を含む)	2 単位	D	0 × 2 = 0
英語コミュニケーション I	2 単位	S	4.0 × 2 = 8.0
英語コミュニケーション II	2 単位	A	3.0 × 2 = 6.0
合 計	①11単位		②25.0

$$\text{GPA} = \text{②} \div \text{①} \rightarrow 25.0 \div 11 = 2.272 \div 2.27$$

* 小数点以下第3位を四捨五入する

●GPAが適用される科目について

以下の①～③以外の卒業要件単位として単位認定される科目は、全てGPA算出の対象となります。なお、対象となる科目は各学科により異なりますので、詳しくは所属する学科の教員から説明を受けてください。

- ①他の大学、短期大学、高等専門学校若しくは専修学校の専門課程における学修その他文部科学大臣が別に定める学修で取得した単位のうち、本学教授会の議を経て、本学取得単位として認定した科目（ただし、他学部履修制度に基づいて履修した本学短期大学の履修科目はGPA算出の対象科目になります）。
- ②教育職員免許状取得に関する科目のうち、教育課程表に定める教職に関する科目及び教科又は教職に関する科目。
- ③その他教授会で定めた科目。

●科目履修の取り消しについて

科目履修の取り消しを希望する場合は、各学期の授業開始後、第6週目に手続きができますが、それ以降は原則的に認めません。放棄された科目の成績は、D（不可）となり単位認定されません。学生には責任のある履修行動が求められますので、計画的な履修登録を行ってください。

●GPAの活用方法について

直前の学期GPAが1.5未満の学生に対しては、ガイダンスティーチャー（GT）又はゼミ担任が履修指導を行います。特に、2学期連続で直前の学期GPAが1.5未満の学生に対しては、ガイダンスティーチャー（GT）又はゼミ担任と教育支援総合センターが連携して履修指導を強化して行います。

また、年間GPAが良好な学生には、次年度履修登録できる単位数の上限値が加算されます（詳しくは「④CAP制度」で説明）。

さらに、通算GPAは、奨学金の選定、学業表彰対象者の選定、受講希望者数が過大な講義における受講人数制限の際の選定基準、教職科目履修制限の際の選定基準などに活用されることがあります。

また、教員は、学生のGPAデータをもとに授業改善に役立てます。

●備考

平成31年度以降、GPAの運用方法が変更される場合がありますので、注意してください。

④CAP制度

本学では、学生のみなさんが履修する講義・演習・実習内容について予習復習を含めて主体的に学ぶ機会を保障する為に、各学年次で履修登録できる単位数を制限するCAP制度を導入しています。この制度は、各学年次で設定された単位数の値に、直前学年次の年間GPAに応じて単位数を加算した値の範囲内で、履修登録を行う仕組みになっています。従って、卒業までの履修計画をしっかりと立てて、履修登録を行ってください。

●履修登録上限値の設定

各学年次初めに履修登録を行える年間の単位数（以下、履修登録上限値といいます。）は、以下のとおりです。なお、履修登録上限値を超えて履修登録を行った科目（ただし、CAP制度が適用されない科目を除きます）については、後日履修登録が取り消される、または取得単位としては認定されません。したがって、十分に注意して履修登録を行ってください。

・各年次とも48単位

●GPAに応じて履修登録上限値に加算される単位数

直前学年次の年間GPAに応じて、上記の各学年次の履修登録上限値に下記の値を加えて履修登録を行うことができます。なお、1年次には加算されません。

・直前学年次の年間GPAが3.5以上の場合は、8単位が加算されます。

・直前学年次の年間GPAが3.0以上かつ3.5未満の場合は、4単位が加算されます。

- ・直前学年次の年間GPAが3.0未満の場合は、単位数の加算はありません。

●CAP制度が適用されない科目

以下の科目については履修登録上限値に関係なく履修登録を行うことができます。なお、対象となる科目は各学科、各学年により異なりますので、詳しくは所属する学科の教員から説明を受けてください。

- ・基礎教育セミナーⅠ、基礎教育セミナーⅡ、専門演習Ⅰ、専門演習Ⅱ、専門演習Ⅲ、卒業研究
- ・全学共通科目のうち就業力養成科目
- ・各種資格取得に関連した科目のうち、各学部・学科で定めた科目
- ・他の大学、短期大学、高等専門学校若しくは専修学校の専門課程における学修その他文部科学大臣が別に定める学修で履修を希望する単位のうち、学長が本学教授会の議を経て、履修を認定した科目（ただし、他学部履修制度に基づいて履修する本学短期大学の履修科目はCAP制度の対象科目になります）
- ・教育職員免許状取得に関する科目のうち、教育課程表に定める教職に関する科目及び教科又は教職に関する科目
- ・集中講義として開講される科目のうち、各学科で定めた科目
- ・その他教授会で定めた科目

●備考

平成31年度以降、CAP制度の運用方法が変更される場合がありますので、注意してください。

5) 授業評価

本学では学生のみなさんにより良い授業を保障するために、FD活動に力を入れています。FD (Faculty Development) 活動とは、授業内容及び方法の改善を図るための組織的な活動のことで、その一環として学期授業終了ごとに授業評価を導入しています。これは、みなさん自身の授業への取り組み姿勢を振り返ると共に、改善に向けての要望等を記述するものです。教員と学生が共に作り上げて行く授業が大切ですので、積極的にかつ建設的な評価を期待しています。

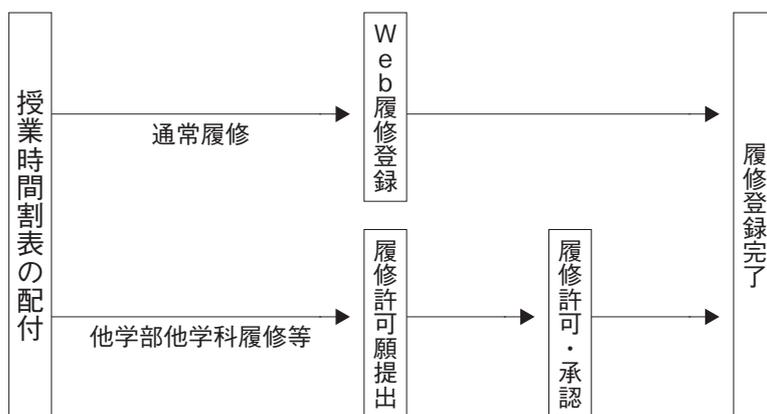
6) 履修登録

①履修登録期間

前学期初めの定められた期間内に、履修しようとする科目について履修登録を行わなければなりません。授業は履修登録した科目でなければ受講することはできません。

定められた期間内に履修登録を怠るとその学期の履修はもとより授業を受けることも、その科目の試験を受けることもできません。したがって、単位は認定されないのです、十分に注意してください。

②履修登録の流れ



③履修制限

授業科目によっては履修人数を制限することがあるのであらかじめ承知しておいてください。

④科目の不開講について

講義科目（実技、実習、演習科目及び免許・資格必修の講義科目を除く。）で、受講者数が一定数に満たない場合は、その授業を不開講とします。所定の期日までに掲示板でお知らせします。

⑤履修登録に関する注意点

- ・定められた期間内にWeb履修登録を行います。
「教職に関する科目」・「教科又は教職に関する科目」は教職履修者のみ履修できます。他学部他学科履修、単位互換科目の履修にあたっては、履修許可願の提出が必要です。
- ・授業開始後6週目に履修登録取消期間を設けます。
- ・履修登録で疑問や不明な点がある場合は、必ず本人が直接学習支援オフィス窓口で確認してください。
- ・履修登録期間に関することは前・後学期開始前にポータル等で連絡しますので確認を忘れないでください。

7) 再履修

- ①必修科目の単位を修得できなかったときは、必ず再履修してください。
- ②選択科目の単位を修得できなかったときは、その科目を再履修するか他の科目を履修してください。いずれも定められた期間に履修登録をしなければなりません。
- ③以前に履修可能でありながら、履修しなかった科目を履修する場合も再履修扱いとなります（一部の科目を除く）。

8) 休講・補講・集中講義・授業時間割表

- ①休 講：事前に学生ポータル又は所定の掲示板でお知らせします。なお、授業時間が始まって30分以上たっても担当教員が教室にこないときは、学習支援オフィスへ連絡して指示を受けてください。
- ②補 講：授業時間数がやむを得ない事情により不足した場合は、担当教員の判断でこれを補うための補講を行います。そのつど連絡しますので、学生ポータル又は所定の掲示板等を注意深く見るようにしてください。
- ③集 中 講 義：授業科目の中には、予め定められた期間に連続して授業を行う科目があります。これらの科目は事前に実施予定を連絡しますので、学生ポータル又は掲示板等で確認してください。
- ④授業時間割表：授業を受けるためには、その科目の開講されている曜日・時限・教室・担当教員を知らなければなりません。そのため学年始めに授業時間割表が配付されます。この授業時間割表から、それぞれの履修計画にそって自分の時間割表を作成するようにしてください。

9) 試験等の受験心得

- ①受験にあたっては、学生としての本分を自覚し、少しでも不正・不注意の行為を行ってはなりません。
- ②試験にあたり、次の各号に掲げる不正行為を行った者は、当該授業科目及び当該授業科目の試験と同一の学期に実施される全ての授業科目の試験を無効とします。
 - ・カンニングペーパー及びこれに類するものを所持又は使用すること。
 - ・身代わり受験すること。
 - ・机上等への書き込みをし、かつ、見ること。
 - ・他人の答案をのぞき見ること、及び故意に見せること。

- ・他人の学生証で受験すること。
- ・指定された書籍、辞書等以外のものを使用すること。
- ・その他不正とみなされる行為をすること。

③不正行為があった場合の措置又は処分は次のとおりです。

- ・第1回目の不正行為者 1週間の自宅謹慎措置とする。
- ・第2回目の不正行為者 3カ月の停学処分とする。
- ・第3回目の不正行為者 退学処分とする。

④学生証を机の上に置くように指示され、当日忘れて所持していない場合は学生生活支援オフィスにおいて所定の手続きにより「仮学生証」の発行を受けてください。

⑤試験を欠席し、その理由が「欠席届の取扱いについて」(Ⅱ 学生生活1.)の項目に該当する者は「欠席届」を提出してください。

⑥レポート、作品等の提出は指定の期限を厳守してください。期限の過ぎたもの、指示以外のものの提出は受付しません。

⑦その他試験に関することは、全て担当教員の指示に従ってください。

2. 履修関係

1) カリキュラムの特色

[生涯スポーツ学部]

生涯スポーツ学部の理念は、スポーツや健康、さらには福祉分野に関する理論や実践について探究し、主体的・活動的・健康的な生き方を実践・支援できる人材を育成し、生涯にわたってスポーツに親しむことができる健康で豊かな「生涯スポーツ社会」の構築に貢献することです。

●全学共通科目

大学教育では、高い専門性だけでなく、教養教育の重要性が強調されています。特に基礎学力を高めるための科目や、社会人としての幅広い教養とコミュニケーション・スキルを修得する科目、本学の教育理念である「愛と和と英知」の具現化を図る科目を「全学共通科目」として配置しています。

●発展科目

「発展科目」は、学生のみなさんが選択した専門領域とは異なる他学部の科目を積極的に履修することによって、自分の専門領域の学びをより豊かにすることをねらいとしています。「心身・健康に関する科目群」「社会と生活に関する科目群」「文化と芸術に関する科目群」から構成されており、各学部各学科から発展科目として指定されたものを学ぶシステムです。

●学部共通科目

「学部共通科目」は、生涯スポーツに関する基礎知識を修得する科目群と、地域社会に関する教養を身につける科目群で構成されています。

生涯スポーツ学部の理念を具現化するためには、生涯スポーツの基礎理論やその考え方のベースとなる生涯学習の考え方について全学習者が理解しておく必要があります。さらに健康に関する基礎理論も生涯スポーツを学ぶ上で必要不可欠となります。

●学科専門科目

「学科専門科目」では現場で必要とされる知識と技術を身につけるため、より専門的な講義科目と実践的な演習・実習科目を配置しています。スポーツ教育学科ではさらに、全コースに必要なと考える「コース共通科目」と、コースに必要な専門性を高める「コース専門科目」で構成されています。健康福祉学科では、関心領域や適性に合わせた資格取得ができるよう、科目を配置しています。

[教育文化学部]

教育文化学部の教育課程の基本構成は、教育学、芸術学、心理学それぞれの学科専門科目の充実を図りながらも、学部共通科目や発展科目など、一つの専門分野だけでなく、様々な関連分野も含めた総合的・学際的な学びの場があることです。必修科目は、各科目区分において基礎とすべき科目を設定してあります。また選択科目は、学生のみなさんが取得を希望する資格に応じて自由に選択ができるように構成してあります。

●全学共通科目

大学教育では、高い専門性だけでなく、教養教育の重要性が強調されています。特に基礎学力を高めるための科目や、社会人としての幅広い教養とコミュニケーション・スキルを修得する科目、本学の教育理念である「愛と和と英知」の具現化を図る科目を「全学共通科目」として配置しています。

●発展科目

「発展科目」は、学生のみなさんが選択した専門領域とは異なる他学部の科目を積極的に履修することによって、自分の専門領域の学びをより豊かにすることをねらいとしています。「心身・健康に関する科目群」「社会と生活に関する科目群」「文化と芸術に関する科目群」から構成されており、各学部各学科から発展科目として指定されたものを学ぶシステムです。

●学部共通科目

「学部共通科目」は、教育文化学部の学生全員を対象とした科目であり、学部の教育理念を理解し、地域社会における様々な教育活動・芸術活動・文化活動・対人支援に貢献できる人材に共通的な素養を身に付けるための科目を配置しています。

●学科専門科目

「学科専門科目」には、各学科の専門性をより深めるための科目を配置しています。教育学科は4コース（初等教育コース・幼児教育コース・養護教諭コース・音楽コース）の特性と融合に配慮した科目を配置し、芸術学科においては芸術5分野（美術・メディアデザイン・インテリア建築・服飾美術・舞台芸能）の科目を基本的科目・専門的科目・応用実践的科目の3層構造に編成し、心理カウンセリング学科においては心理学領域と精神保健福祉学領域の科目を配置しています。

2) 卒業の要件

[生涯スポーツ学部]

●スポーツ教育学科

履修コース	①全学 共通科目		②発展科目		③学部 共通科目		④学科 専門科目		⑤ ①～④ の全科目	卒業 要件 単位
	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	選択	
スポーツ教育コース	15	7	0	4	4	6	14	36	38	124
スポーツトレーナーコース	15	7	0	4	4	6	18	32	38	124
競技スポーツコース	15	7	0	4	4	6	18	32	38	124

- * 1 「全学共通科目」の選択7単位には以下の科目を含まなければならない。
 - ・外国語科目 1科目2単位以上
 - ・教養科目 2科目4単位以上
 - ・就業力養成科目 「就業力特別講義Ⅰ」または「就業力特別講義Ⅱ」
- * 2 「発展科目」の選択4単位は二つ以上の科目群から選択して履修すること。
- * 3 ⑤の「①～④の全科目」には全てのコース専門科目を含む。

●健康福祉学科

履修学科	①全学 共通科目		②発展科目		③学部 共通科目		④学科 専門科目		⑤ ①～④ の全科目	卒業 要件 単位
	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	選択	
健康福祉学科	15	7	0	4	4	6	11	37	40	124

- * 1 「全学共通科目」の選択7単位には以下の科目を含まなければならない。
 - ・外国語科目 1科目2単位以上
 - ・教養科目 2科目4単位以上
 - ・就業力養成科目 「就業力特別講義Ⅰ」または「就業力特別講義Ⅱ」
- * 2 「発展科目」の選択4単位は二つ以上の科目群から選択して履修すること。

[教育文化学部]

●教育学科

履修コース	①全学 共通科目		②発展科目		③学部 共通科目		学科専門科目				⑥④～⑤ の全科目	卒業 要件 単位
	必修	選択	必修	選択	必修	選択	④コース共通科目		⑤コース専門科目			
							必修	選択	必修	選択	選択	
初等教育コース	15	7	0	4	2	2	14	0	48	15	17	124
幼児教育コース	15	7	0	4	2	2	14	0	48	15	17	124
養護教諭コース	15	7	0	4	2	2	14	0	48	15	17	124
音楽コース	15	7	0	4	2	2	14	0	49	14	17	124

- * 1 「全学共通科目」の選択7単位には以下の科目を含まなければならない。
 - ・外国語科目 1科目2単位以上
 - ・教養科目 2科目4単位以上
 - ・就業力養成科目 「就業力特別講義Ⅰ」または「就業力特別講義Ⅱ」
- * 2 「発展科目」の選択4単位は二つ以上の科目群から選択して履修すること。
- * 3 ⑤「コース専門科目」の選択15単位（音楽コースは14単位）は、それぞれのコースの□数字の単位の科目から選択して履修すること。
- * 4 ⑥の「④～⑤の全科目」には全てのコース専門科目を含む。

●芸術学科

履修学科	①全学 共通科目		②発展科目		③学部 共通科目		④学科 専門科目		⑤①～④ の全科目	卒業 要件 単位
	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	選択	
芸術学科	15	7	0	4	2	4	12	34	46	124

- * 1 「全学共通科目」の選択7単位には以下の科目を含まなければならない。
 - ・外国語科目 1科目2単位以上
 - ・教養科目 2科目4単位以上
 - ・就業力養成科目 「就業力特別講義Ⅰ」または「就業力特別講義Ⅱ」
- * 2 「発展科目」の選択4単位は二つ以上の科目群から選択して履修すること。
- * 3 「学科専門科目」の選択34単位には授業科目一覧表における選択必修科目の24単位を含む。

●心理カウンセリング学科

履修学科	①全学 共通科目		②発展科目		③学部 共通科目		④学科 専門科目		⑤①～④ の全科目	卒業 要件 単位
	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	選択	
心理カウンセリング学科	15	7	0	4	2	4	18	30	44	124

- * 1 「全学共通科目」の選択7単位には以下の科目を含まなければならない。
 - ・外国語科目 1科目2単位以上
 - ・教養科目 2科目4単位以上
 - ・就業力養成科目 「就業力特別講義Ⅰ」または「就業力特別講義Ⅱ」
- * 2 「発展科目」の選択4単位は二つ以上の科目群から選択して履修すること。

3) 授業科目 平成30年度入学生適用

生涯スポーツ学部 スポーツ教育学科 授業科目一覧表

		授業科目の区分等					
		授業科目名	単位	授業科目名	単位	授業科目名	単位
全学共通科目	導入科目	基礎教育セミナーⅠ	①	基礎教育セミナーⅡ	①		
	基礎科目	日本語表現	①	情報機器操作Ⅰ	②	健康体育(実技を含む)	2
		数学入門	①	情報機器操作Ⅱ	②	英語コミュニケーションⅠ	②
	外国語科目	英語コミュニケーションⅡ	2	韓国語	2	フランス語	2
		英語(中級)	2	中国語	2	スペイン語	2
		英語(上級)	2	ドイツ語	2		
	教養科目	現代生活と政治・経済	2	現代生活と心と体	2	日本国憲法	2
		現代生活と法律	2	現代生活と物理	2	情報社会及び情報倫理	2
		現代生活と福祉	2	現代生活と地球	2	情報処理(中級)	2
		現代生活と芸術	2	現代生活と環境科学	2	情報処理(上級)	2
		現代生活と教育	2	北海道の文化	2	障害者スポーツ・パラリンピック概論	2
	就業力養成科目	キャリアデザインⅠ	①	キャリア演習Ⅱ	①	就業力特別講義Ⅱ	1
		キャリアデザインⅡ	①	キャリア演習Ⅲ	1	インターンシップ	2
キャリアデザインⅢ		①	キャリア演習Ⅳ	1			
キャリア演習Ⅰ		①	就業力特別講義Ⅰ	1			
発展科目	心身・健康に関する科目群	心理学概論	2	乳幼児心理学	2	モチベーション心理学	2
		発達心理学	2	福祉心理学	2	司法・犯罪心理学	2
		人間関係の心理学	2	育児支援の心理学	2		
		高齢社会の街づくり	2	青少年学習コーチング論	2	社会教育課題研究	2
	社会と生活に関する科目群	食生活学	2	リカレント教育論	2	社会教育課題演習	2
		衣生活学	2	社会学	2	社会教育施設論	2
		住生活学	2	社会教育計画	2		
	文化と芸術に関する科目群	音楽概論	2	美術史	2	インテリアデザイン	2
		音楽鑑賞法	2	ファッションデザイン概論	2	ユニバーサルデザイン	2
		音楽史	2	空間デザイン史	2		
	学部共通科目	生涯スポーツ学	②	地域支援実習	2	スポーツ史	2
		生涯学習論	2	健康運動指導演習	2	生理学	2
生涯学習展開論		2	体育原理	2	運動生理学	2	
栄養と健康		2	スポーツ心理学	2	就業力特別演習Ⅰ	1	
健康学		②	スポーツ社会学	2	就業力特別演習Ⅱ	1	
介護予防論		2	スポーツ運動学	2	就業力特別演習Ⅲ	1	
認知症予防		2	スポーツマネジメント	2			
スポーツ教育学概論		②	障がい者スポーツ論	2	生涯スポーツ指導演習(器械運動)	2	
食生活と健康		2	レジャー・レクリエーション論	2	生涯スポーツ指導演習(エアロビック)	2	
スポーツ施設管理論		2	レクリエーション実技	1	生涯スポーツ指導演習(水泳・水中運動)	2	
社会教育概論	2	野外教育実習	2	冬季スポーツボランティア実習	2		
基礎解剖学	2	野外教育論	2	専門演習Ⅰ	②		
機能解剖学	2	野外教育指導演習	2	専門演習Ⅱ	②		
体力測定評価	2	雪上活動実習	1	専門演習Ⅲ	②		
体力測定評価演習	2	生涯スポーツ(水泳・水中運動)	①	卒業研究	②		
トレーニング論	2	生涯スポーツ(陸上競技)	①	特別支援教育総論	2		
トレーニング演習	2	生涯スポーツ(器械運動)	①	知的障害者の心理・生理・病理	2		
スポーツ・バイオメカニクス	2	生涯スポーツ(冬季スポーツ)	①	肢体不自由者の心理・生理・病理	2		
バイオメカニクス演習	2	生涯スポーツ(エアロビック)	①	病弱者の心理・生理・病理	2		
生活習慣病概論	2	生涯スポーツ(バドミントン)	①	知的障害教育Ⅰ	2		
スポーツ医学基礎	2	生涯スポーツ(野球・ソフトボール)	①	知的障害教育Ⅱ	2		
スポーツ内科学	2	生涯スポーツ(バレーボール)	①	肢体不自由教育Ⅰ	2		
衛生学及び公衆衛生学	2	生涯スポーツ(バスケットボール)	①	肢体不自由教育Ⅱ	2		
学校保健	2	生涯スポーツ(テニス)	①	病弱教育	2		
救急処置	2	生涯スポーツ指導演習(サッカー)	2	視覚・聴覚障害者の心理・生理・病理	1		
スポーツ整形外科学	2	生涯スポーツ指導演習(体づくり運動)	2	視覚・聴覚障害者の教育課程及び指導法	1		
運動処方演習	2	生涯スポーツ指導演習(ダンス)	2	重複障害者の心理・生理・病理	1		
スポーツ栄養学	2	生涯スポーツ指導演習(武道)	2	重複障害者の教育課程及び指導法	1		
スポーツマーケティング	2	生涯スポーツ(障がい者スポーツ)	1	発達障害者等の心理・生理・病理	1		
メンタルトレーニング演習	2	生涯スポーツ指導演習(陸上競技)	2	発達障害者等の教育課程及び指導法	1		
ジュニアスポーツ論	2	生涯スポーツ指導演習(バスケットボール)	2	特別支援教育実習事前指導	1		
コーチ学	2	生涯スポーツ指導演習(バレーボール)	2	特別支援教育実習事後指導	1		
				特別支援教育実習	2		
学科専門科目	コース共通科目	スポーツ教育学	②	スポーツ教育演習A	2	学校教育研究A	2
		健康産業施設実習	2	スポーツ教育演習B	2	学校教育研究B	2
	スポーツトレーナーコース	中高年スポーツ論	②	運動処方	2	アスレティックトレーナー概論	②
		テーピング演習	2	スポーツ外傷・障害の評価理論	②	アスレティックリハビリテーション理論	2
		スポーツ解剖学	2	スポーツ外傷・障害の評価演習	2	アスレティックリハビリテーション演習Ⅰ	2
		臨床スポーツ医学	2	コンディショニング理論	2	アスレティックリハビリテーション演習Ⅱ	2
	競技スポーツコース	競技スポーツ論	②	コンディショニング演習	2	アスレティックトレーニング指導実習	4
		アスリート論	②	スポーツの戦術・戦略論	2	競技スポーツコーチング演習Ⅱ	2
		コーチング論	②	アスリートを取り巻く環境	2		
			②	競技スポーツコーチング演習Ⅰ	2		
外国人留学生科目	日本語	2	現代日本の文化	2			

備考

- 1 表中の○数字の単位は、必修科目の単位数を示す。
- 2 表中□及び◇数字の単位は選択必修科目の単位数を示し、それぞれから1単位以上選択しなければならない。
- 3 学則第46条第1項に規定する124単位以上は、同条第2項に規定する履修コースのうちから、いずれか一つの履修コースを選択し、別掲の卒業要件に掲げる授業科目区分ごとに定める単位数以上の単位を修得するものとする。
- 4 外国人留学生にあっては、別掲の卒業要件に掲げる「全学共通科目」とあるのは、「全学共通科目及び外国人留学生科目」と読み替えて適用することができる。

生涯スポーツ学部 健康福祉学科 授業科目一覧表

		授業科目の区分等					
		授業科目名	単位	授業科目名	単位	授業科目名	単位
全学共通科目	導入科目	基礎教育セミナーⅠ	①	基礎教育セミナーⅡ	①		
	基礎科目	日本語表現	①	情報機器操作Ⅰ	②	健康体育(実技を含む)	2
		数学入門	①	情報機器操作Ⅱ	②	英語コミュニケーションⅠ	②
	外国語科目	英語コミュニケーションⅡ	2	韓国語	2	フランス語	2
		英語(中級)	2	中国語	2	スペイン語	2
		英語(上級)	2	ドイツ語	2		
	教養科目	現代生活と政治・経済	2	現代生活と心と体	2	日本国憲法	2
		現代生活と法律	2	現代生活と物理	2	情報社会及び情報倫理	2
		現代生活と福祉	2	現代生活と地球	2	情報処理(中級)	2
		現代生活と芸術	2	現代生活と環境科学	2	情報処理(上級)	2
現代生活と教育		2	北海道の文化	2	障害者スポーツ・パラリンピック概論	2	
就業力養成科目	キャリアデザインⅠ	①	キャリア演習Ⅱ	①	就業力特別講義Ⅱ	1	
	キャリアデザインⅡ	①	キャリア演習Ⅲ	1	インターンシップ	2	
	キャリアデザインⅢ	①	キャリア演習Ⅳ	1			
	キャリア演習Ⅰ	①	就業力特別講義Ⅰ	1			
発展科目	心身・健康に関する科目群	食生活と健康	2	人間関係の心理学	2	育児支援の心理学	2
		スポーツ施設管理論	2	乳幼児心理学	2	モチベーション心理学	2
		発達心理学	2	福祉心理学	2	司法・犯罪心理学	2
	社会と生活に関する科目群	社会教育概論	2	社会教育計画	2	社会教育施設論	2
		青少年学習コーチング論	2	社会教育課題研究	2		
		リカレント教育論	2	社会教育課題演習	2		
	文化と芸術に関する科目群	音楽概論	2	美術史	2	インテリアデザイン	2
		音楽鑑賞法	2	ファッションデザイン概論	2	ユニバーサルデザイン	2
		音楽史	2	空間デザイン史	2		
学部共通科目	生涯スポーツ学	②	地域支援実習	2	スポーツ史	2	
	生涯学習論	2	健康運動指導演習	2	生理学	2	
	生涯学習展開論	2	体育原理	2	運動生理学	2	
	栄養と健康	2	スポーツ心理学	2	就業力特別演習Ⅰ	1	
	健康学	②	スポーツ社会学	2	就業力特別演習Ⅱ	1	
	介護予防論	2	スポーツ運動学	2	就業力特別演習Ⅲ	1	
	認知症予防	2	スポーツマネジメント	2			
学科専門科目	健康福祉学概論	②	現代社会と福祉Ⅱ	2	老年医学	2	
	健康運動実践論	2	社会福祉調査論	2	認知症論	2	
	スポーツ医学基礎	2	ソーシャルワーク概説Ⅰ	②	認知症ケア論	2	
	スポーツ内科学	2	ソーシャルワーク概説Ⅱ	2	障害のある人の理解	2	
	スポーツ整形外科学	2	ソーシャルワーク論Ⅰ	2	生活生理学	2	
	コーチ学	2	ソーシャルワーク論Ⅱ	2	高齢者心理学	2	
	ジュニアスポーツ論	2	ソーシャルワーク論Ⅲ	2	健康福祉専門職演習Ⅰ	2	
	中高年スポーツ論	2	ソーシャルワーク論Ⅳ	2	健康福祉専門職演習Ⅱ	2	
	障がい者スポーツ論	2	地域福祉論Ⅰ	2	健康産業施設実習	2	
	基礎解剖学	2	地域福祉論Ⅱ	2	福祉実践実習	2	
	トレーニング論	2	社会福祉行政・福祉計画論	2	専門演習Ⅰ	②	
	トレーニング演習	2	社会福祉運営管理論	2	専門演習Ⅱ	②	
	レジャー・レクリエーション論	2	社会保障論Ⅰ	2	専門演習Ⅲ	②	
	レクリエーションマネジメント	2	社会保障論Ⅱ	2	専門演習Ⅳ	①	
	生涯スポーツ(陸上競技)	1	高齢者福祉論Ⅰ	2	卒業研究	2	
	生涯スポーツ(器械運動)	1	高齢者福祉論Ⅱ	2	介護概論Ⅰ	2	
	生涯スポーツ(バレーボール)	1	障害者福祉論	2	介護概論Ⅱ	2	
	生涯スポーツ(バスケットボール)	1	児童・家庭福祉論	2	生活学概論	2	
	生涯スポーツ(ニュースポーツ)	1	公的扶助論	2	介護技術演習Ⅰ	1	
	生涯スポーツ(エアロビック)	1	医療福祉論	2	介護技術演習Ⅱ	2	
	生涯スポーツ(障がい者スポーツ)	1	就労支援論	1	介護技術演習Ⅲ	2	
	生涯スポーツ指導演習(エアロビック)	2	権利擁護と成年後見制度	2	介護技術演習Ⅳ	1	
	生涯スポーツ指導演習(水泳・水中運動)	2	司法福祉論	1	介護技術演習Ⅴ	1	
	精神保健	2	相談援助演習Ⅰ	2	介護過程Ⅰ(基礎)	1	
	救急処置	2	相談援助演習Ⅱ	2	介護過程Ⅱ(高齢者)	1	
	運動処方	2	相談援助演習Ⅲ	2	介護過程Ⅲ(身体障害者)	1	
	運動処方演習	2	相談援助演習Ⅳ	2	介護過程Ⅳ(知的・精神障害者、内部疾患者)	1	
	体力測定評価	2	相談援助演習Ⅴ	2	介護過程Ⅴ(在宅支援)	1	
	体力測定評価演習	2	相談援助実習指導Ⅰ	2	介護基礎演習	1	
	生活の中の介護福祉	2	相談援助実習指導Ⅱ	4	介護実習指導Ⅰ	1	
	生活習慣病概論	2	相談援助実習	6	介護実習指導Ⅱ	2	
	介護予防実践演習	2	高齢社会の街づくり	2	介護実習指導Ⅲ	1	
	介護実践管理論	2	介護福祉と生活文化	2	介護実習Ⅰ	4	
	医学概論	2	リハビリテーション論	2	介護実習Ⅱ	6	
	医学知識	2	レクリエーション実技	1	医療的ケアⅠ	2	
	社会学	2	食生活学	2	医療的ケアⅡ	2	
	心理学概論	2	衣生活学	2	医療的ケア演習	1	
	現代社会と福祉Ⅰ	2	住生活学	2			
	外国人留学生科目	日本語	2	現代日本の文化	2		

備考

1 表中の○数字の単位は、必修科目の単位数を示す。

2 学則第46条第1項に規定する124単位以上は、別掲の卒業要件に掲げる授業科目区分ごとに定める単位数以上の単位を修得するものとする。

3 外国人留学生にあっては、別掲の卒業要件に掲げる「全学共通科目」とあるのは、「全学共通科目及び外国人留学生科目」と読み替えて適用することができる。

教育文化学部 教育学科 授業科目一覧表

		授業科目の区分等						
		授業科目名	単位	授業科目名	単位	授業科目名	単位	
全学共通科目	導入科目	基礎教育セミナーⅠ	①	基礎教育セミナーⅡ	①			
	基礎科目	日本語表現	①	情報機器操作Ⅰ	②	健康体育(実技を含む)	2	
		数学入門	①	情報機器操作Ⅱ	②	英語コミュニケーションⅠ	②	
	外国語科目	英語コミュニケーションⅡ	2	韓国語	2	フランス語	2	
		英語(中級)	2	中国語	2	スペイン語	2	
		英語(上級)	2	ドイツ語	2			
	教養科目	現代生活と政治・経済	2	現代生活と心と体	2	日本国憲法	2	
		現代生活と法律	2	現代生活と物理	2	情報社会及び情報倫理	2	
		現代生活と福祉	2	現代生活と地球	2	情報処理(中級)	2	
		現代生活と芸術	2	現代生活と環境科学	2	情報処理(上級)	2	
現代生活と教育		2	北海道の文化	2	障害者スポーツ・パラリンピック概論	2		
就業力養成科目	キャリアデザインⅠ	①	キャリア演習Ⅱ	①	就業力特別講義Ⅱ	1		
	キャリアデザインⅡ	①	キャリア演習Ⅲ	1	インターンシップ	2		
	キャリアデザインⅢ	①	キャリア演習Ⅳ	1				
	キャリア演習Ⅰ	①	就業力特別講義Ⅰ	1				
発展科目	心身・健康に関する科目群	食生活と健康	2	人間関係の心理学	2	モチベーション心理学	2	
		スポーツ施設管理論	2	乳幼児心理学	2	司法・犯罪心理学	2	
		心理学概論	2	福祉心理学	2			
		発達心理学	2	育児支援の心理学	2			
	社会と生活に関する科目群	社会教育概論	2	住生活学	2	社会教育課題演習	2	
		高齢社会の街づくり	2	社会学	2	社会教育施設論	2	
		食生活学	2	社会教育計画	2			
	文化と芸術に関する科目群	衣生活学	2	社会教育課題研究	2			
		美術史	2	空間デザイン史	2	ユニバーサルデザイン	2	
		ファッションデザイン概論	2	インテリアデザイン	2			
学部共通科目	教育文化学	②	生涯学習展開論	2	青少年学習コーチング論	2		
	芸術と心理学	2	メディアデザイン概論	2	リカレント教育論	2		
	生涯学習論	2	心理学的支援法	2				
学科専門科目	コース共通科目	学習コーチング学概論	2	知的障害教育Ⅱ	2	発達障害者等の教育課程及び指導法	①	
		専門演習Ⅰ	②	肢体不自由教育Ⅰ	2	特別支援教育実習事前指導	1	
		専門演習Ⅱ	②	肢体不自由教育Ⅱ	2	特別支援教育実習事後指導	1	
		卒業研究	④	病弱教育	2	特別支援教育実習	2	
		特別支援教育総論	②	視覚・聴覚障害者の心理・生理・病理	1	特別支援学校論Ⅰ	2	
		知的障害者の心理・生理・病理	2	重複障害者の心理・生理・病理	1	特別支援学校論Ⅱ	2	
		肢体不自由者の心理・生理・病理	2	発達障害者等の心理・生理・病理	①	特別支援実践論Ⅰ	2	
		病弱者の心理・生理・病理	2	視覚・聴覚障害者の教育課程及び指導法	1	特別支援実践論Ⅱ	2	
		知的障害教育Ⅰ	②	重複障害者の教育課程及び指導法	1	特別支援実践論Ⅲ	2	
		初等教育コース専門科目	国語科概論(書写を含む)	②	社会科指導法Ⅱ	②	体育科指導法Ⅰ	②
			社会科概論	②	社会科指導法Ⅲ	2	体育科指導法Ⅱ	②
			算数科概論	②	算数科指導法Ⅰ	②	体育科指導法Ⅲ	2
			理科概論	②	算数科指導法Ⅱ	②	道徳教育論(小)	②
			生活科概論	②	算数科指導法Ⅲ	2	特別活動論(小)	②
			音楽科概論	②	理科指導法Ⅰ	2	教育方法論	②
	音楽実習Ⅰ		1	理科指導法Ⅱ	②	(情報機器・教材活用を含む)(幼・小)		
	音楽実習Ⅱ		1	理科指導法Ⅲ	2	生徒指導論	②	
	造形美術概論		②	生活科指導法Ⅰ	②	(進路指導を含む)(小)		
	家庭科概論		②	生活科指導法Ⅱ	②	教育相談論	②	
	体育科概論		②	生活科指導法Ⅲ	2	(カウンセリングを含む)(幼・小)		
	教職概論(幼・小)		②	音楽科指導法Ⅰ	②	教育実習事前指導(幼・小)	1	
	教育原理(幼・小)		②	音楽科指導法Ⅱ	②	教育実習事後指導(幼・小)	1	
	教育心理学(幼・小)		②	音楽科指導法Ⅲ	2	教育実習(幼・小)	4	
	教育経営学(幼・小)		②	図画工作科指導法Ⅰ	②	教職実践演習(幼・小)	2	
	教育課程論(幼・小)	②	図画工作科指導法Ⅱ	②	小学校英語	②		
	幼児教育コース専門科目	国語科指導法Ⅰ	②	図画工作科指導法Ⅲ	2	小学校教育研究Ⅰ	②	
		国語科指導法Ⅱ	②	家庭科指導法Ⅰ	②	小学校教育研究Ⅱ	2	
		国語科指導法Ⅲ	2	家庭科指導法Ⅱ	②	小学校教育研究Ⅲ	2	
		社会科指導法Ⅰ	②	家庭科指導法Ⅲ	2			
		国語科概論(書写を含む)	②	保育内容(言葉)	②	社会的養護	2	
算数科概論		②	保育内容指導(言葉)	2	保育者論	②		
生活科概論		②	保育内容(表現)	2	保育の心理学Ⅰ	2		
音楽科概論		②	保育内容指導(表現)	2	保育の心理学Ⅱ	1		
音楽実習Ⅰ		1	こども理解	②	こどもの保健Ⅰa	2		
音楽実習Ⅱ		1	こどもの表現あそび	②	こどもの保健Ⅰb	2		
造形美術概論		②	こどもの体育あそび	2	こどもの保健Ⅱ	1		
体育科概論		②	こどもの言葉あそび	2	こどもの食と栄養	2		
教職概論(幼・小)		②	教育方法論	②	家庭支援論	2		
教育原理(幼・小)		②	(情報機器・教材活用を含む)(幼・小)		保育課程論	2		
保育原理		②	教育相談論	②	乳児保育	2		
教育心理学(幼・小)	②	(カウンセリングを含む)(幼・小)		障害児保育	2			
教育経営学(幼・小)	②	教育実習事前指導(幼・小)	1	社会的養護内容	1			
教育課程論(幼・小)	②	教育実習事後指導(幼・小)	1	保育相談支援	1			
保育内容総論	②	教育実習(幼・小)	4	保育実習Ⅰ	1			
保育内容指導論	②	教職実践演習(幼・小)	2	保育実習Ⅱ	2			
保育内容(健康)	②	幼稚園教育研究Ⅰ	②	保育実習Ⅲ	2			
保育内容指導(健康)	2	幼稚園教育研究Ⅱ	②	保育実習指導Ⅰ	2			
保育内容(人間関係)	②	幼稚園教育研究Ⅲ	2	保育実習指導Ⅱ	1			
保育内容指導(人間関係)	2	児童家庭福祉	2	保育実習指導Ⅲ	1			
保育内容(環境)	②	社会福祉	2	保育実践演習	2			
保育内容指導(環境)	2	相談援助	2					

Ⅲ
学
習

		授業科目の区分等						
		授業科目名		授業科目名		授業科目名		
		単位	単位	単位	単位	単位	単位	
学科専門科目	コース専門科目	養護教諭コース専門科目	衛生学	②	微生物学(免疫学を含む)	②	教職概論	②
			衛生学実験	1	精神保健	②	教育原理	②
公衆衛生学	②		看護学概論	②	教育心理学	②		
学校保健	②		看護学各論	②	教育経営学	②		
学校保健演習Ⅰ	②		学校看護学	2	教育課程論	②		
学校保健演習Ⅱ	2		看護技術演習(救急処置を含む)Ⅰ	②	道德教育論	②		
学校保健管理論	②		看護技術演習(救急処置を含む)Ⅱ	②	特別活動論	②		
学校保健組織活動論	2		救急処置活動論	2	教育方法論	②		
学校保健執務演習	1		看護学臨床実習	④	(情報機器・教材活用を含む)	②		
養護実践学Ⅰ	②		養護教諭基礎セミナーⅠ	2	生徒指導論	②		
養護実践学Ⅱ	②		養護教諭基礎セミナーⅡ	2	教育相談論	②		
養護活動実習Ⅰ	②		養護教諭教育演習Ⅰ	②	(カウンセリングを含む)	②		
養護活動実習Ⅱ	②		養護教諭教育演習Ⅱ	2	養護実習事前指導	1		
養護実践学演習	③		ヘルスアセスメント論	②	養護実習事後指導	1		
健康相談活動の理論及び方法	②		保健室経営演習Ⅰ	②	養護実習	4		
健康相談活動演習	②		保健室経営演習Ⅱ	2	教職実践演習(養護教諭)	2		
栄養学(食品学を含む)	②		保健指導演習	②	養護教諭教育研究Ⅰ	②		
解剖生理学	②		健康診断演習	2	養護教諭教育研究Ⅱ	2		
薬理概論	②				養護教諭教育研究Ⅲ	2		
	音楽コース専門科目		ソルフェージュ	②	器楽基礎演習Ⅰ	②	音楽科教育法Ⅰ	②
		楽典	②	器楽基礎演習Ⅱ	②	音楽科教育法Ⅱ	2	
		音楽概論	②	器楽表現演習Ⅰ	②	音楽科教育法Ⅲ	2	
		音楽鑑賞法	②	器楽表現演習Ⅱ	②	音楽科教育法Ⅳ	2	
		音楽史	②	ピアノ応用	2	道德教育論	②	
		和声学	2	ピアノ基礎演習Ⅰ	②	特別活動論	②	
		作曲法	②	ピアノ基礎演習Ⅱ	②	教育方法論	②	
		指揮法	②	ピアノ表現演習Ⅰ	②	(情報機器・教材活用を含む)	②	
		合唱Ⅰ	①	ピアノ表現演習Ⅱ	②	生徒指導論(進路指導を含む)	②	
		合唱Ⅱ	①	ピアノ総合演習Ⅰ	2	教育相談論	②	
		合奏Ⅰ	②	ピアノ総合演習Ⅱ	2	(カウンセリングを含む)	②	
		合奏Ⅱ	②	コードと即興	2	教育実習事前指導	1	
		合奏Ⅲ	2	音楽教育フィールド演習Ⅰ	②	教育実習事後指導	1	
		生涯学習音楽指導論	②	音楽教育フィールド演習Ⅱ	②	教育実習Ⅰ	4	
		声楽基礎演習Ⅰ	②	教職概論	②	教育実習Ⅱ	2	
		声楽基礎演習Ⅱ	②	教育原理	②	教職実践演習(中・高)	2	
		声楽表現演習Ⅰ	②	教育心理学	②	音楽教育研究Ⅰ	②	
		声楽表現演習Ⅱ	②	教育経営学	②	音楽教育研究Ⅱ	2	
				教育課程論	②	音楽教育研究Ⅲ	2	
		外国人留学生科目	日本語	2	現代日本の文化	2		

備考

1 表中○数字の単位は、必修科目の単位数を示す。

2 学則第46条第3項に規定する124単位以上は、同条第4項に規定する履修コースのうちから、いずれか一つの履修コースを選択し、別掲の卒業要件に掲げる授業科目区分ごとに定める単位数以上の単位を修得するものとする。

3 外国人留学生にあっては、別掲の卒業要件に掲げる「全学共通科目」とあるのは、「全学共通科目及び外国人留学生科目」と読み替えて適用することができる。

教育文化学部 芸術学科 授業科目一覧表

		授業科目の区分等						
		授業科目名	単位	授業科目名	単位	授業科目名	単位	
全学共通科目	導入科目	基礎教育セミナーⅠ	①	基礎教育セミナーⅡ	①			
	基礎科目	日本語表現	①	情報機器操作Ⅰ	②	健康体育(実技を含む)	2	
		数学入門	①	情報機器操作Ⅱ	②	英語コミュニケーションⅠ	②	
	外国語科目	英語コミュニケーションⅡ	2	韓国語	2	フランス語	2	
		英語(中級)	2	中国語	2	スペイン語	2	
		英語(上級)	2	ドイツ語	2			
	教養科目	現代生活と政治・経済	2	現代生活と心と体	2	日本国憲法	2	
		現代生活と法律	2	現代生活と物理	2	情報社会及び情報倫理	2	
		現代生活と福祉	2	現代生活と地球	2	情報処理(中級)	2	
		現代生活と芸術	2	現代生活と環境科学	2	情報処理(上級)	2	
現代生活と教育		2	北海道の文化	2	障害者スポーツ・パラリンピック概論	2		
就業力養成科目	キャリアデザインⅠ	①	キャリア演習Ⅱ	①	就業力特別講義Ⅱ	1		
	キャリアデザインⅡ	①	キャリア演習Ⅲ	1	インターンシップ	2		
	キャリアデザインⅢ	①	キャリア演習Ⅳ	1				
	キャリア演習Ⅰ	①	就業力特別講義Ⅰ	1				
発展科目	心身・健康に関する科目群	食生活と健康	2	人間関係の心理学	2	モチベーション心理学	2	
		スポーツ施設管理論	2	乳幼児心理学	2	司法・犯罪心理学	2	
		心理学概論	2	福祉心理学	2			
		発達心理学	2	育児支援の心理学	2			
	社会と生活に関する科目群	社会教育概論	2	住生活学	2	社会教育課題演習	2	
		高齢社会の街づくり	2	社会学	2	社会教育施設論	2	
		食生活学	2	社会教育計画	2			
	文化と芸術に関する科目群	衣生活学	2	社会教育課題研究	2			
		音楽概論	2	音楽鑑賞法	2	音楽史	2	
	学部共通科目	教育文化学	②	生涯学習展開論	2	青少年学習コーチング論	2	
芸術と心理学		2	メディアデザイン概論	2	リカレント教育論	2		
生涯学習論		2	心理学的支援法	2				
学科専門科目	基本科目	芸術理解	美術概論	②	色彩計画	2	舞台芸術概論	②
			美術史	②	ファッションデザイン概論	②	空間デザイン史	2
			美学	2				
	表現技術	ドローイングⅠ	②	クリエイティブシンキング	②	ユニバーサルデザイン	②	
		空間デザイン基礎	②	インテリアデザイン	2	テクニカルスケッチ	②	
		服飾基礎実習	2			建築計画	2	
	情報技術	デジタルイメージⅠ	②	ウェブデザインⅠ	②	プログラミングによるCG	2	
		デジタルデザインⅠ	②	CAD設計	2			
	アート教育・文化	生涯学習と芸術	②	博物館教育論	2	マンガ表現研究	②	
		学校教育と芸術	2	博物館実習	3	舞台芸術各論	②	
		博物館概論	②	デザイン概論	②	戯曲研究	2	
		博物館経営論	2	美術表現演習	②	服飾造形論	2	
		博物館資料論	2	映像論	②	生活材料学	2	
		博物館資料保存論	2	写真	②	都市と空間の法規	2	
		博物館展示論	②	ファッションコーディネート	②	住宅と空間の生産	2	
		博物館情報・メディア論	2	ファッション文化論	②			
	平面表現	ドローイングⅡ	②	グラフィックデザインⅡ	2	デジタルビデオ編集	2	
		絵画Ⅰ	2	グラフィックデザインⅢ	2	ウェブデザインⅡ	2	
		絵画Ⅱ	2	デジタルイメージⅡ	②	ファッション画	②	
		絵画Ⅲ	2	デジタルイメージⅢ	2	テキスタイルデザイン	②	
版画		②	デジタルデザインⅡ	②	パターンメイキング	②		
立体表現	グラフィックデザインⅠ	2	デジタルデザインⅢ	2	インテリア設計Ⅰ	②		
	彫刻Ⅰ	2	木材工芸	2	空間模型演習	②		
	彫刻Ⅱ	2	舞台衣装Ⅰ	2	創作テキスタイル	②		
	彫刻Ⅲ	2	舞台衣装Ⅱ	2	3Dモーショングラフィックス	2		
	陶芸Ⅰ	②	服飾造形実習	②	3DグラフィックスⅠ	2		
空間・身体表現	陶芸Ⅱ	2	建築空間のしくみ	2	3DグラフィックスⅡ	2		
	ダンス	1	建築一般構造演習	2				
	俳優トレーニング	1	バックステージ研究Ⅰ	②	構造のかたちと力	2		
	スタッフワーク	②	バックステージ研究Ⅱ	②	構造力学演習	2		
	朗読・ナレーション	2	俳優論(演習を含む)	2	空間設備	2		
発想・企画・プレゼンテーション	サウンドデザイン	2	舞踊専門研究	2	生活環境	2		
	トータルビジュアル	2	リビングデザイン論	②				
	3次元造形演習	2	住宅設計演習	2				
	デジタルコンテンツ制作	2	ディスプレイデザイン	2	舞台制作論	②		
	ブランディングデザイン論	②	インテリア設計Ⅱ	②	演劇と映画	②		
応用実践	プレゼンテーションデザイン	2	店舗デザイン	2	ステージ総合実習	2		
	地域と芸術	2						
	総合・統合	1						
外国人留学生科目	日本語	2	就業力実践演習	1	卒業研究	④		
			ポートフォリオ制作Ⅰ	②				
			ポートフォリオ制作Ⅱ	②				
			現代日本の文化	2				

備考

- 1 表中○数字の単位は、必修科目の単位数を示す。
- 2 表中□数字の科目は、選択必修科目の単位数を示し、この中から12科目24単位を修得するものとする。
- 3 学則第46条第3項に規定する124単位以上は、別掲の卒業要件に掲げる授業科目区分ごとに定める単位数以上の単位を修得するものとする。
- 4 外国人留学生にあっては、別掲の卒業要件に掲げる「全学共通科目」とあるのは、「全学共通科目及び外国人留学生科目」と読み替えて適用することができる。

教育文化学部 心理カウンセリング学科 授業科目一覧表

		授業科目の区分等					
		授業科目名	単位	授業科目名	単位	授業科目名	単位
全学共通科目	導入科目	基礎教育セミナーⅠ	①	基礎教育セミナーⅡ	①		
	基礎科目	日本語表現	①	情報機器操作Ⅰ	②	健康体育(実技を含む)	2
		数学入門	①	情報機器操作Ⅱ	②	英語コミュニケーションⅠ	②
	外国語科目	英語コミュニケーションⅡ	2	韓国語	2	フランス語	2
		英語(中級)	2	中国語	2	スペイン語	2
		英語(上級)	2	ドイツ語	2		
	教養科目	現代生活と政治・経済	2	現代生活と心と体	2	日本国憲法	2
		現代生活と法律	2	現代生活と物理	2	情報社会及び情報倫理	2
		現代生活と福祉	2	現代生活と地球	2	情報処理(中級)	2
		現代生活と芸術	2	現代生活と環境科学	2	情報処理(上級)	2
現代生活と教育		2	北海道の文化	2	障害者スポーツ・パラリンピック概論	2	
就業力養成科目	キャリアデザインⅠ	①	キャリア演習Ⅱ	①	就業力特別講義Ⅱ	1	
	キャリアデザインⅡ	①	キャリア演習Ⅲ	1	インターンシップ	2	
	キャリアデザインⅢ	①	キャリア演習Ⅳ	1			
	キャリア演習Ⅰ	①	就業力特別講義Ⅰ	1			
発展科目	心身・健康に関する科目群	食生活と健康	2	スポーツ施設管理論	2		
	社会と生活に関する科目群	社会教育概論	2	衣生活学	2	社会教育課題研究	2
		高齢社会の街づくり	2	住生活学	2	社会教育課題演習	2
		食生活学	2	社会教育計画	2	社会教育施設論	2
	文化と芸術に関する科目群	音楽概論	2	美術史	2	インテリアデザイン	2
		音楽鑑賞法	2	ファッションデザイン概論	2	ユニバーサルデザイン	2
	音楽史	2	空間デザイン史	2			
学部共通科目		教育文化学	②	生涯学習展開論	2	青少年学習コーチング論	2
		芸術と心理学	2	メディアデザイン概論	2	リカレント教育論	2
		生涯学習論	2	心理学的支援法	2		
学科専門科目		心理学概論	②	心理学基礎演習Ⅰ	①	障害者福祉論	2
		教育心理学概論(教育・学校心理学)	2	心理学基礎演習Ⅱ	①	権利擁護と成年後見制度	2
		健康・医療心理学	2	心理学統計法	②	精神医学Ⅰ(精神疾患とその治療Ⅰ)	2
		人間関係の心理学	2	心理学実験	4	精神医学Ⅱ(精神疾患とその治療Ⅱ)	2
		乳幼児心理学	2	心理学研究法	②	精神保健Ⅰ	2
		福祉心理学	2	臨床心理援助技法論Ⅰ(精神分析療法)	2	精神保健Ⅱ	2
		育児支援の心理学	2	臨床心理援助技法論Ⅱ(認知行動療法)	2	ソーシャルワーク概説Ⅰ	2
		高齢者心理学	2	臨床心理援助技法論Ⅲ(プリーフ・セラピー)	2	ソーシャルワーク概説Ⅱ	2
		児童心理学	2	心理演習	4	精神保健福祉援助技術総論	2
		青年心理学	2	心理実習	2	精神科リハビリテーション	4
		知覚・認知心理学	2	スクールカウンセリング	2	精神保健福祉援助技術各論Ⅰ	2
		学習心理学(学習・言語心理学Ⅰ)	2	生命倫理学	2	精神保健福祉援助技術各論Ⅱ	2
		コミュニケーション心理学(学習・言語心理学Ⅱ)	2	公認心理師の職責	2	精神保健福祉学Ⅰ	2
		感情・人格心理学	2	関係行政論	2	精神保健福祉学Ⅱ	2
		生理心理学(神経・生理心理学Ⅰ)	2	医学概論(人体の構造と機能及び疾病)	2	精神保健福祉学Ⅲ	2
		神経心理学(神経・生理心理学Ⅱ)	2	医学知識	2	精神保健福祉援助演習Ⅰ	2
		社会心理学(社会・集団・家族心理学Ⅰ)	2	社会学	2	精神保健福祉援助演習Ⅱ	2
		家族心理学(社会・集団・家族心理学Ⅱ)	2	現代社会と福祉Ⅰ	2	精神保健福祉援助演習Ⅲ	2
		発達心理学	2	現代社会と福祉Ⅱ	2	精神保健福祉援助実習指導	3
		障害者・障害児心理学	2	地域福祉論Ⅰ	2	精神保健福祉援助実習	7
		司法・犯罪心理学	2	地域福祉論Ⅱ	2	就業力特別演習	1
		産業・組織心理学	2	社会保障論Ⅰ	2	精神保健福祉援助技術特別講義	1
		臨床心理学概論	②	社会保障論Ⅱ	2	専門演習Ⅰ	②
		ポジティブ心理学	2	公的扶助論	2	専門演習Ⅱ	②
		モチベーション心理学	2	社会福祉行政・福祉計画論	2	卒業研究	④
		心理的アセスメント	2	医療福祉論	2		
	外国人留学生科目	日本語	2	現代日本の文化	2		

備考

- 1 表中○数字の単位は、必修科目の単位数を示す。
- 2 学則第46条第3項に規定する124単位以上は、別掲の卒業要件に掲げる授業科目区分ごとに定める単位数以上の単位を修得するものとする。
- 3 外国人留学生にあっては、別掲の卒業要件に掲げる「全学共通科目」とあるのは、「全学共通科目及び外国人留学生科目」と読み替えて適用することができる。

教職に関する科目及び教科又は教職に関する科目一覧表

(1)教職に関する科目

教育職員免許法 施行規則に定める科目	授業科目名	中学校教諭1種免許状		高等学校教諭1種免許状		
		保健体育	美術	保健体育	美術	
教職の意義等に関する科目	教職概論	②	②	②	②	
教育の基礎理論に 関する科目	教育原理	②	②	②	②	
	教育心理学	②	②	②	②	
	教育経営学	②	②	②	②	
教育課程及び指導法 に関する科目	教育課程論	②	②	②	②	
	保健体育科教育法Ⅰ	②	/	②	/	
	保健体育科教育法Ⅱ	②		②		
	保健体育科教育法Ⅲ	②		②		
	保健体育科教育法Ⅳ	2		2		
	美術科教育法Ⅰ	/	②	/	②	
	美術科教育法Ⅱ		②		②	
	美術科教育法Ⅲ		②		②	
	美術科教育法Ⅳ		2		2	
	道徳教育論	②	②	/	/	
	特別活動論	②	②			②
	教育方法論(情報機器・教材活用を含む)	②	②	②	②	
	生徒指導、教育相談及び 進路指導等に関する科目	生徒指導論(進路指導を含む)	②	②	②	②
		教育相談論(カウンセリングを含む)	②	②	②	②
教育実習	教育実習事前指導	①	①	①	①	
	教育実習事後指導	①	①	①	①	
	教育実習Ⅰ	④	④	4*	4*	
	教育実習Ⅱ	/	/	2*	2*	
教職実践演習	教職実践演習(中・高)			②	②	②

備考

1 表中○数字は、必修科目の単位数を、数字は、選択科目の単位数を、*印は選択必修を示す。

2 学則第41条第1項に規定する、教職に関する科目は、この表の定めるところにより、所要の授業科目を履修して、次の各号に定める単位を修得すること。

(1)中学校教諭1種免許状にあつては、34単位以上

(2)高等学校教諭1種免許状にあつては、30単位以上

(2)教科又は教職に関する科目

教育職員免許法 施行規則に定める科目	授業科目名	中学校教諭1種免許状		高等学校教諭1種免許状	
		保健体育	美術	保健体育	美術
教科又は教職に関する科目	道徳教育論	/		2	

備考

1 表中○数字は、必修科目の単位数を示す。

2 学則第41条第1項に規定する、教科又は教職に関する科目は、この表の定めるところにより、所要の授業科目を履修して「教科に関する科目」及び「教職に関する科目」の免許法施行規則に定める最低修得単位数を超えて修得した単位を含み、中学校教諭1種免許状は8単位以上、高等学校教諭1種免許状は16単位以上修得すること。

4) 平成30年度教育課程表

[生涯スポーツ学部]

生涯スポーツ学部 全学共通科目

○単位は必修

科 目 名	授業 形態	年次・単位数								教 員 名	備 考	
		1年次		2年次		3年次		4年次				
		前	後	前	後	前	後	前	後			
導入科目												
基礎教育セミナーⅠ	演習	①									担当教員	
基礎教育セミナーⅡ	演習		①								担当教員	
基礎科目												
日本語表現	講義	①									小杉直美	
											岩本希	
											小坂守孝	
											村松幹男	
											石原深雪	
											小原信夫	
											前川公美夫	
数学入門	講義	①									福田信一	
											松澤衛	
											佐藤克之	
											竹内雅明	
											三浦公裕	
											水野信太郎	
											菊池隆夫	
情報機器操作Ⅰ	演習	②								伊藤博晃	スポーツ教育学科	
										槇洋一		
情報機器操作Ⅱ	演習	②								大関慎	健康福祉学科	
										伊藤博晃	スポーツ教育学科	
健康体育（実技を含む）	講義	2								伊藤博晃	健康福祉学科	
										畝中智志	スポーツ教育学科	
										大西昌美	集中講義	
										永谷稔		
										近藤雄一郎		
										重成敏史		
										畝中智志	健康福祉学科	
英語コミュニケーションⅠ	演習	②								畝中智志	健康福祉学科	
										近藤雄一郎		
									重成敏史			
英語コミュニケーションⅠ	演習	②								C.B.サイモンズ	スポーツ教育学科	
										デニス クイン	健康福祉学科	

生涯スポーツ学部 全学共通科目

○単位は必修

科 目 名	授業 形態	年次・単位数								教 員 名	備 考
		1年次		2年次		3年次		4年次			
		前	後	前	後	前	後	前	後		
外国語科目											
英語コミュニケーションⅡ	演習		2							C.B.サイモンズ デニス クイン	スポーツ教育学科 健康福祉学科
英語（中級）	講義		2							竹内典彦	
英語（上級）	講義			2						竹内典彦	
韓国語	講義		2							田光子 千永柱	
中国語	講義		2							田恩蘋	
ドイツ語	講義		2							菊地達夫	
フランス語	講義			2						江口修	
スペイン語	講義			2						田中恵子	
教養科目											
現代生活と政治・経済	講義		2							相内眞子 今野聖士	一部集中講義
現代生活と法律	講義		2							平澤卓人	
現代生活と福祉	講義		2							川端里香	
現代生活と芸術	講義		2							鈴木しおり 山崎正明	
現代生活と教育	講義		2							杉浦勉	
現代生活と心と体	講義			2						杉岡品子	
現代生活と物理	講義			2						松澤衛 小田研	
現代生活と地球	講義		2							横山光	
現代生活と環境科学	講義			2						佐々木浩子	
北海道の文化	講義			2						小田嶋政子	
日本国憲法	講義			2						諏江康夫 佐藤静也	スポーツ教育学科 健康福祉学科
情報社会及び情報倫理	講義		2							大関慎	
情報処理（中級）	演習				2					松澤衛 小杉直美	
情報処理（上級）	演習					2				松澤衛	
障害者スポーツ・パラリンピック概論	講義・演習		2							伊藤政勝 荒井秀樹	
就業力養成科目											
キャリアデザインⅠ	講義	①								永井秀岳 小川美夏	

科 目 名	授業 形態	年次・単位数				教 員 名	備 考			
		1年次	2年次	3年次	4年次					
		前 後	前 後	前 後	前 後					
キ ャ リ ア デ ザ イ ン Ⅱ	演習		①			浅井 貴也				
						今井 博康				
						岩本 希				
						工藤 ゆかり				
						杉浦 勉				
						千葉 直樹				
						本間 美幸				
						水野 信太郎				
						小川 美夏				
						永井 秀岳				
キ ャ リ ア デ ザ イ ン Ⅲ	演習		①			阿部 豊				
						石塚 誠之				
						澤 聡一				
						杉岡 品子				
						富田 玲子				
						永野 光一				
						橋本 菊次郎				
						水野 信太郎				
						山崎 正明				
						小川 美夏				
				永井 秀岳						
キ ャ リ ア 演 習 Ⅰ	演習			①		小坂 守孝				
						千葉 直樹				
						二宮 孝行				
						水野 信太郎				
						森井 綾				
						小川 美夏				
						永井 秀岳				
キ ャ リ ア 演 習 Ⅱ	演習・講義				①		小川 美夏			
キ ャ リ ア 演 習 Ⅲ	演習					1	小川 美夏			
キ ャ リ ア 演 習 Ⅳ	演習・講義						1	小川 美夏		
就 業 力 特 別 講 義 Ⅰ	講義			1				松澤 衛	選択必修科目	
								佐藤 克之		
								杉浦 勉		
								竹内 雅明		
								水野 信太郎		
								菊池 隆夫		
								佐々木 雅史		
就 業 力 特 別 講 義 Ⅱ	講義			1				小室 晴陽	選択必修科目	
								菊池 隆夫		
イ ン タ ー ン シ ッ プ	実習		← 2 →	← 2 →				キャリア支援センター長	集中講義	
外国人留学生科目										
日 本 語	講義	2						田 光子		
現 代 日 本 の 文 化	講義		2					菊 地 達夫	集中講義	

生涯スポーツ学部 スポーツ教育学科 発展科目

○単位は必修

科 目 名	授業 形態	年次・単位数								教 員 名	備 考
		1年次		2年次		3年次		4年次			
		前	後	前	後	前	後	前	後		
心身・健康に関する科目群											
心 理 学 概 論	講義	2								澤 聡 一	健康福祉学科・心理カウンセリング学科 専門科目
発 達 心 理 学	講義	2								新 川 貴 紀	心理カウンセリング学科 専門科目
人 間 関 係 の 心 理 学	講義		2							小 坂 守 孝	心理カウンセリング学科 専門科目
乳 幼 児 心 理 学	講義		2							新 川 貴 紀	心理カウンセリング学科 専門科目
福 祉 心 理 学	講義		2							佐 藤 至 英	心理カウンセリング学科 専門科目
育 児 支 援 の 心 理 学	講義			2						風 間 雅 江	心理カウンセリング学科 専門科目
モ チ ベ ー シ ョ ン 心 理 学	講義			2						佐 藤 至 英	心理カウンセリング学科 専門科目
司 法 ・ 犯 罪 心 理 学	講義				2					飯 田 昭 人	心理カウンセリング学科 専門科目
社会と生活に関する科目群											
高 齢 社 会 の 街 づ くり	講義					2				佐 藤 克 之	健康福祉学科 専門科目
食 生 活 学	講義・演習				2					小 田 嶋 政 子	健康福祉学科 専門科目
衣 生 活 学	講義・演習				2					泉 山 幸 代	健康福祉学科 専門科目
住 生 活 学	講義				2					佐 藤 克 之	健康福祉学科 専門科目
青 少 年 学 習 コ ー チ ング 論	講義				2					佐々木 邦子	教育文化学部 共通科目
リ カ レ ン ト 教 育 論	講義						2			佐々木 邦子	教育文化学部 共通科目
社 会 学	講義	2								森 下 義 亜	心理カウンセリング学科 専門科目
社 会 教 育 計 画	講義						2			藤 川 和 信	
社 会 教 育 課 題 研 究	講義						2			宗 本 和 博	
社 会 教 育 課 題 演 習	演習							2		阿 部 豊	
社 会 教 育 施 設 論	講義						2			阿 部 豊	
文化と芸術に関する科目群											
音 楽 概 論	講義		2							今 井 敏 勝	教育学科(音) 専門科目
音 楽 鑑 賞 法	講義			2						千 葉 圭 説	教育学科(音) 専門科目
音 楽 史	講義				2					鈴 木 し お り	教育学科(音) 専門科目
										千 葉 圭 説	
美 術 史	講義				2					柴 勤	芸術学科 専門科目
フ ァ ッ シ ョ ン デ ザ イン 概 論	講義	2								大 信 田 静 子	芸術学科 専門科目
										富 田 玲 子	
空 間 デ ザ イン 史	講義				2					水 野 信 太 郎	芸術学科 専門科目
イ ン テ リ ア デ ザ イン	演習	2								千 里 政 文	芸術学科 専門科目
ユ ニ バ ー サ ル デ ザ イン	講義		2							千 里 政 文	芸術学科 専門科目

Ⅲ
学
習

生涯スポーツ学部 健康福祉学科 発展科目

○単位は必修

科 目 名	授業形態	年次・単位数								教 員 名	備 考
		1年次		2年次		3年次		4年次			
		前	後	前	後	前	後	前	後		
心身・健康に関する科目群											
食生活と健康	講義	2								黒田裕太	スポーツ教育学科 専門科目
スポーツ施設管理論	講義							2		水野信太郎	スポーツ教育学科 専門科目
発達心理学	講義	2								新川貴紀	心理カウンセリング学科 専門科目
人間関係の心理学	講義		2							小坂守孝	心理カウンセリング学科 専門科目
乳幼児心理学	講義		2							新川貴紀	心理カウンセリング学科 専門科目
福祉心理学	講義		2							佐藤至英	心理カウンセリング学科 専門科目
育児支援の心理学	講義			2						風間雅江	心理カウンセリング学科 専門科目
モチベーション心理学	講義			2						佐藤至英	心理カウンセリング学科 専門科目
司法・犯罪心理学	講義				2					飯田昭人	心理カウンセリング学科 専門科目
社会と生活に関する科目群											
社会教育概論	講義						2			谷川松芳	スポーツ教育学科 専門科目
青少年学習コーチング論	講義				2					佐々木邦子	教育文化学部 共通科目
リカレント教育論	講義							2		佐々木邦子	教育文化学部 共通科目
社会教育計画	講義							2		藤川和信	
社会教育課題研究	講義							2		宗本和博	
社会教育課題演習	演習								2	阿部豊	
社会教育施設論	講義							2		阿部豊	
文化と芸術に関する科目群											
音楽概論	講義		2							今井敏勝	教育学科(音) 専門科目
音楽鑑賞法	講義			2						千葉圭説	教育学科(音) 専門科目
音楽史	講義				2					鈴木しおり 千葉圭説	教育学科(音) 専門科目
美術史	講義				2					柴勤	芸術学科 専門科目
ファッションデザイン概論	講義	2								大信田静子 富田玲子	芸術学科 専門科目
空間デザイン史	講義				2					水野信太郎	芸術学科 専門科目
インテリアデザイン	演習	2								千里政文	芸術学科 専門科目
ユニバーサルデザイン	講義		2							千里政文	芸術学科 専門科目

生涯スポーツ学部 学部共通科目

○単位は必修

科 目 名	授業形態	年次・単位数								教 員 名	備 考
		1年次		2年次		3年次		4年次			
		前	後	前	後	前	後	前	後		
生涯スポーツ学	講義	②								川西正志	スポーツ教育学科
										小坂井留美	健康福祉学科
生涯学習論	講義	2								谷川松芳	
生涯学習展開論	講義					2				藤川和信	
栄養と健康	講義		2							黒田裕太	
健康学	講義	②								小田史郎	
介護予防論	講義							2		小田史郎	スポーツ教育学科 (健康福祉学科同時展開)
										小坂井留美	
										吉田修大	
	2								小田史郎	健康福祉学科 (スポーツ教育学科同時展開)	
									小坂井留美		
									吉田修大		
認知症予防	演習					2				小田史郎	集中講義
										小坂井留美	
地域支援実習	実習			← 2 →						阿部豊	運動スポーツ系 一部集中講義
										齊藤雄大	
										大西昌美	
										小坂井留美	
										畝中智志	
										渡部峻	
									岩本希	福祉系 一部集中講義	
健康運動指導演習	演習					2				花井篤子	
										菊地はるひ	
体育原理	講義			2						近藤雄一郎	
スポーツ心理学	講義	2								吉田聡美	
スポーツ社会学	講義						2			千葉直樹	
スポーツ運動学	講義	2								廣田修平	
スポーツマネジメント	講義		2							永谷稔	
スポーツ史	講義					2				金誠	
生理学	講義	2								柴田啓介	
運動生理学	講義		2							井出幸二郎	
就業力特別演習Ⅰ	演習					1				上田知行	
										尾形良子	
										菊地はるひ	
										瀧澤聡	
										本間美幸	
										吉田昌弘	
								渡部峻			
就業力特別演習Ⅱ	演習						1			梶晴美	
										小坂井留美	
										佐藤至英	
										吉田修大	
										吉田昌弘	
								渡部峻			

生涯スポーツ学部 学部共通科目

○単位は必修

科 目 名	授業形態	年次・単位数								教 員 名	備 考
		1年次		2年次		3年次		4年次			
		前	後	前	後	前	後	前	後		
就 業 力 特 別 演 習 Ⅲ	演習								1	小 田 史 郎 井 出 幸 二 郎 岩 本 希 佐 藤 郁 子 畠 山 孝 子 吉 田 真	

スポーツ教育学科 学科専門科目 コース共通科目

○単位は必修

科 目 名	授業形態	年次・単位数								教 員 名	備 考
		1年次		2年次		3年次		4年次			
		前	後	前	後	前	後	前	後		
ス ポ ー ツ 教 育 学 概 論	講義	②								永 谷 稔 阿 部 達 彦 上 田 知 行 菊 地 はるひ 小坂井 留美 竹 田 唯 史 吉 田 真	
食 生 活 と 健 康	講義	2								黒 田 裕 太	発展科目
ス ポ ー ツ 施 設 管 理 論	講義						2			水 野 信 太 郎	発展科目
社 会 教 育 概 論	講義					2				谷 川 松 芳	発展科目
基 礎 解 剖 学	講義	2								高 田 真 吾	健康福祉学科同時展開
機 能 解 剖 学	講義		2							吉 田 真	
体 力 測 定 評 価	講義			2						瀧 澤 一 騎 上 田 知 行	健康福祉学科同時展開
体 力 測 定 評 価 演 習	演習				2					上 田 知 行 近 藤 雄 一 郎 瀧 澤 一 騎 渡 部 峻	健康福祉学科同時展開 一部集中講義
ト レ ー ニ ン グ 論	講義	2								瀧 澤 一 騎	健康福祉学科同時展開
ト レ ー ニ ン グ 演 習	演習	2								井 出 幸 二 郎 上 田 知 行 近 藤 雄 一 郎 重 成 敏 史 高 田 真 吾 山 本 敏 美	健康福祉学科同時展開
ス ポ ー ツ ・ バ イ オ メ カ ニ ク ス	講義		2							山 本 敬 三 宝 満 健 太 郎	
バ イ オ メ カ ニ ク ス 演 習	演習			2						山 本 敬 三	
生 活 習 慣 病 概 論	講義		2							沖 田 孝 一	健康福祉学科同時展開
ス ポ ー ツ 医 学 基 礎	講義		2							杉 岡 品 子 永 谷 稔 吉 田 昌 弘	健康福祉学科同時展開
ス ポ ー ツ 内 科 学	講義					2				沖 田 孝 一	健康福祉学科同時展開
衛 生 学 及 び 公 衆 衛 生 学	講義				2					佐 々 木 浩 子	
学 校 保 健	講義			2						杉 岡 品 子	

スポーツ教育学科 学科専門科目 コース共通科目

○単位は必修

科 目 名	授業形態	年次・単位数								教 員 名	備 考
		1年次		2年次		3年次		4年次			
		前	後	前	後	前	後	前	後		
救 急 処 置	講義			2						吉 田 真	健康福祉学科同時展開
										沖 田 孝 一	
										羽 賀 将 衛	
ス ポ ー ツ 整 形 外 科 学	講義			2						小 畠 昌 規	健康福祉学科同時展開 集中講義
										谷 雅 彦	
										廣 瀬 聰 明	
										渡 邊 耕 太	
運 動 処 方 演 習	演習						2			上 田 知 行	健康福祉学科同時展開
										沖 田 孝 一	
										小坂井 留 美	
ス ポ ー ツ 栄 養 学	講義			2						黒 田 裕 太	
ス ポ ー ツ マ ー ケ テ ィ ン グ	講義						2			永 谷 稔	
メンタルトレーニング演習	演習				2					吉 田 聡 美	
ジュニアスポーツ論	講義					2				畠 山 孝 子	健康福祉学科同時展開
コ ー チ 学	講義	2								大 西 昌 美	健康福祉学科同時展開
障がい者スポーツ論	講義					2				阿 部 達 彦	健康福祉学科同時展開
レジャー・レクリエーション論	講義			2						徳 田 真 彦	健康福祉学科同時展開
レ ク リ エ ー シ ョ ン 実 技	実技		1							青 木 康 太 朗	
										徳 田 真 彦	
										安 原 政 志	
野 外 教 育 実 習	実技		2							青 木 康 太 朗	一部集中講義 学外実習
										徳 田 真 彦	
										佐 藤 悦 子	
野 外 教 育 論	講義		2							青 木 康 太 朗	
野 外 教 育 指 導 演 習	演習				2					青 木 康 太 朗	
										徳 田 真 彦	
										安 原 政 志	
雪 上 活 動 実 習	実技			1						青 木 康 太 朗	
										佐 藤 悦 子	
										安 原 政 志	
生涯スポーツ(水泳・水中運動)	実技	1								花 井 篤 子	選択必修科目
										高屋敷 亨 子	
										中 村 恵	
										畠 山 綾 子	
生涯スポーツ(陸上競技)	実技	1								大 宮 真 一	選択必修科目 健康福祉学科同時展開
										品 田 吉 博	
										松 橋 昌 巳	
生涯スポーツ(器械運動)	実技		1							廣 田 修 平	選択必修科目 健康福祉学科同時展開
										川 端 茂 夫	
生涯スポーツ(冬季スポーツ)	実技			1						竹 田 唯 史	選択必修科目 一部集中講義
										小 田 史 郎	
生涯スポーツ(エアロビック)	実技	1								菊 地 はるひ	選択必修科目 健康福祉学科同時展開
生涯スポーツ(バドミントン)	実技	1								竹 内 雅 明	選択必修科目
										北 村 優 明	
生涯スポーツ(野球・ソフトボール)	実技		1							大 西 昌 美	選択必修科目

スポーツ教育学科 学科専門科目 コース共通科目

○単位は必修

科 目 名	授業形態	年次・単位数								教 員 名	備 考
		1年次		2年次		3年次		4年次			
		前	後	前	後	前	後	前	後		
生涯スポーツ(バレーボール)	実技		1							永 谷 稔 工 藤 憲	選択必修科目 健康福祉学科同時展開
生涯スポーツ(バスケットボール)	実技		1							畝 中 智 志 横 山 茜 理	選択必修科目 健康福祉学科同時展開
生涯スポーツ(テニス)	実技			1						黒 田 裕 太 島 山 孝 子	選択必修科目
生涯スポーツ指導演習(サッカー)	演習					2				安 部 久 貴	
生涯スポーツ指導演習(体づくり運動)	演習					2				増 山 尚 美 作 田 文 子	
生涯スポーツ指導演習(ダンス)	演習						2			増 山 尚 美 長谷川 由 樹	
生涯スポーツ指導演習(武道)	演習						2			吉 澤 正 伸 小 山 尋 明	
生涯スポーツ(障がい者スポーツ)	実技								1	阿 部 達 彦 齊 藤 雄 大	健康福祉学科同時展開
生涯スポーツ指導演習(陸上競技)	演習					2				大 宮 真 一 重 成 敏 史 品 田 吉 博	
生涯スポーツ指導演習(バスケットボール)	演習					2				横 山 茜 理 畝 中 智 志	
生涯スポーツ指導演習(バレーボール)	演習						2			永 谷 稔 工 藤 憲	
生涯スポーツ指導演習(器械運動)	演習				2					廣 田 修 平 川 端 茂 夫	
生涯スポーツ指導演習(エアロビック)	演習				2					菊 地 はるひ	健康福祉学科同時展開
生涯スポーツ指導演習(水泳・水中運動)	演習					2				花 井 篤 子	健康福祉学科同時展開
冬季スポーツボランティア実習	実習	2								渡 部 峻 竹 田 唯 史	集中講義
専 門 演 習 I	演習				②					担 当 教 員	集中講義
専 門 演 習 II	演習					②				担 当 教 員	集中講義
専 門 演 習 III	演習						②			担 当 教 員	集中講義
卒 業 研 究	演習							②		担 当 教 員	集中講義
特 別 支 援 教 育 総 論	講義	2								瀧 澤 聡	教育学科同時展開 一部集中講義
										阿 部 達 彦	
										佐 藤 至 英	
										石 塚 誠 之	
										伊 藤 政 勝	
細 谷 一 博											
知的障害者の心理・生理・病理	講義		2							佐 藤 至 英	教育学科同時展開
										石 塚 誠 之	
肢体不自由者の心理・生理・病理	講義		2							阿 部 達 彦	教育学科同時展開
										笹 木 美 幸	
病弱者の心理・生理・病理	講義			2						任 龍 在	教育学科同時展開 集中講義
知的障害教育 I	講義				2					青 山 眞 二	教育学科同時展開
知的障害教育 II	講義						2			瀧 澤 聡	教育学科同時展開

スポーツ教育学科 学科専門科目 コース共通科目

○単位は必修

科 目 名	授業形態	年次・単位数				教 員 名	備 考
		1年次	2年次	3年次	4年次		
		前 後	前 後	前 後	前 後		
肢 体 不 自 由 教 育 I	講義			2		阿 部 達 彦	教育学科同時展開
肢 体 不 自 由 教 育 II	講義				2	石 川 大	教育学科同時展開
病 弱 教 育	講義			2		中 澤 幸 子	教育学科同時展開 集中講義
視覚・聴覚障害者の心理・生理・病理	講義			1		佐 藤 至 英	教育学科同時展開
視覚・聴覚障害者の教育課程及び指導法	講義			1		佐 藤 至 英	教育学科同時展開
重複障害者の心理・生理・病理	講義			1		任 龍 在	教育学科同時展開 集中講義
重複障害者の教育課程及び指導法	講義			1		阿 部 美穂子	教育学科同時展開 集中講義
発達障害者等の心理・生理・病理	講義		1			石 塚 誠 之	教育学科同時展開
発達障害者等の教育課程及び指導法	講義		1			瀧 澤 聡	教育学科同時展開
特別支援教育実習事前指導	講義			1		阿 部 達 彦 瀧 澤 聡	
特別支援教育実習事後指導	講義				1	阿 部 達 彦 瀧 澤 聡	集中講義
特別支援教育実習	実習				2 2	阿 部 達 彦 瀧 澤 聡	集中講義

スポーツ教育学科 学科専門科目 スポーツ教育コース専門科目

○単位は必修

科 目 名	授業形態	年次・単位数				教 員 名	備 考
		1年次	2年次	3年次	4年次		
		前 後	前 後	前 後	前 後		
ス ポ ー ツ 教 育 学	講義				②	竹 田 唯 史	
ス ポ ー ツ 教 育 演 習 A	演習			2		近 藤 雄一郎	
ス ポ ー ツ 教 育 演 習 B	演習				2	近 藤 雄一郎	
学 校 教 育 研 究 A	演習			2		近 藤 雄一郎	集中講義
学 校 教 育 研 究 B	演習				2	渡 部 峻	

スポーツ教育学科 学科専門科目 スポーツトレーナーコース専門科目

○単位は必修

科 目 名	授業形態	年次・単位数				教 員 名	備 考
		1年次	2年次	3年次	4年次		
		前 後	前 後	前 後	前 後		
健 康 産 業 施 設 実 習	実習				2	上 田 知 行	健康福祉学科同時展開 一部集中講義
中 高 年 ス ポ ー ツ 論	講義		②			上 田 知 行	健康福祉学科同時展開
テ ー ピ ン グ 演 習	演習		2			木 田 貴 英	
ス ポ ー ツ 解 剖 学	講義		2			吉 田 真	
臨 床 ス ポ ー ツ 医 学	講義			2		小 島 昌 規 谷 雅 彦 廣 瀬 聡 明 渡 邊 耕 太	集中講義
運 動 処 方	講義			2		小 田 史 郎	健康福祉学科同時展開
ス ポ ー ツ 外 傷 ・ 障 害 の 評 価 理 論	講義		②			吉 田 真 吉 田 昌 弘	
ス ポ ー ツ 外 傷 ・ 障 害 の 評 価 演 習	演習		2			綿 谷 美 佐 子	

スポーツ教育学科 学科専門科目 スポーツトレーナーコース専門科目

○単位は必修

科 目 名	授業形態	年次・単位数								教 員 名	備 考	
		1年次		2年次		3年次		4年次				
		前	後	前	後	前	後	前	後			
コンディショニング理論	講義					2					吉田 真 吉田 昌弘	
コンディショニング演習	演習					2					鎌倉 一	
アスレティックトレーナー概論	講義		②								吉田 真	
アスレティックリハビリテーション理論	講義				2						吉田 昌弘	
アスレティックリハビリテーション演習Ⅰ	演習				2						河合 誠 戸田 創	
アスレティックリハビリテーション演習Ⅱ	演習					2					吉田 昌弘 山本 泰雄	
アスレティックトレーニング指導実習	実習								← 4 →		吉田 真 吉田 昌弘	集中講義

スポーツ教育学科 学科専門科目 競技スポーツコース専門科目

○単位は必修

科 目 名	授業形態	年次・単位数								教 員 名	備 考	
		1年次		2年次		3年次		4年次				
		前	後	前	後	前	後	前	後			
競技スポーツ論	講義			②							菊地 はるひ 畝 中 智 志 大西 昌 美 大宮 真 一 竹内 雅 明 永谷 稔 畠山 孝 子 廣田 修 平 横山 茜 理	
アスリート論	講義			②							横山 茜 理	
コーチング論	講義			②							菊地 はるひ	
スポーツの戦術・戦略論	講義					2					大西 昌 美	
アスリートを取り巻く環境	講義					2					永谷 稔	
競技スポーツコーチング演習Ⅰ	演習					2					畝 中 智 志 大西 昌 美 大宮 真 一 菊地 はるひ 竹内 雅 明 永谷 稔 畠山 孝 子 廣田 修 平 横山 茜 理	集中講義
競技スポーツコーチング演習Ⅱ	演習							2			畝 中 智 志 大西 昌 美 大宮 真 一 菊地 はるひ 竹内 雅 明 永谷 稔 畠山 孝 子 廣田 修 平 横山 茜 理	集中講義

健康福祉学科 学科専門科目

○単位は必修

科 目 名	授業形態	年次・単位数								教 員 名	備 考
		1年次		2年次		3年次		4年次			
		前	後	前	後	前	後	前	後		
健康福祉学概論	講義	②								小田史郎	
										本間美幸	
										吉田修大	
健康運動実践論	講義	2								小田史郎	
										新開谷 深	
スポーツ医学基礎	講義		2							杉岡品子	スポーツ教育学科同時展開
										永谷 稔	
										吉田昌弘	
スポーツ内科学	講義					2			沖田孝一	スポーツ教育学科同時展開	
スポーツ整形外科学	講義				2					小島昌規	スポーツ教育学科同時展開 集中講義
										谷 雅彦	
										廣瀬 聡明	
										渡邊 耕太	
コ ー チ 学	講義	2							大西昌美	スポーツ教育学科同時展開	
ジュニアスポーツ論	講義				2				畠山孝子	スポーツ教育学科同時展開	
中高年スポーツ論	講義				2				上田知行	スポーツ教育学科同時展開	
障がい者スポーツ論	講義				2				阿部達彦	スポーツ教育学科同時展開	
基礎解剖学	講義	2							高田真吾	スポーツ教育学科同時展開	
トレーニング論	講義	2							瀧澤 一騎	スポーツ教育学科同時展開	
トレーニング演習	演習	2								井出幸二郎	スポーツ教育学科同時展開
										上田知行	
										近藤雄一郎	
										重成敏史	
										高田真吾	
										山本敏美	
レジャー・レクリエーション論	講義	2							徳田真彦	スポーツ教育学科同時展開	
レクリエーションマネジメント	講義				2				徳田真彦		
生涯スポーツ(陸上競技)	実技	1								大宮真一	スポーツ教育学科同時展開
										品田吉博	
										松橋昌巳	
生涯スポーツ(器械運動)	実技	1							廣田修平	スポーツ教育学科同時展開	
生涯スポーツ(バレーボール)	実技	1							永谷 稔	スポーツ教育学科同時展開	
生涯スポーツ(バスケットボール)	実技	1							横山茜理	スポーツ教育学科同時展開	
生涯スポーツ(ニュースポーツ)	実技			1					渡部 峻		
生涯スポーツ(エアロビック)	実技	1							菊地 はるひ	スポーツ教育学科同時展開	
生涯スポーツ(障がい者スポーツ)	実技							1	阿部達彦	スポーツ教育学科同時展開	
									齊藤雄大		
生涯スポーツ指導演習(エアロビック)	演習			2					菊地 はるひ	スポーツ教育学科同時展開	
生涯スポーツ指導演習(水泳・水中運動)	演習			2					花井篤子	スポーツ教育学科同時展開	
精神保健	講義	2							杉岡品子		
救急処置	講義			2						吉田 真	スポーツ教育学科同時展開
										沖田孝一	
										羽賀将衛	
運動処方	講義			2					小田史郎	スポーツ教育学科同時展開	

Ⅲ
学
習

健康福祉学科 学科専門科目

○単位は必修

科 目 名	授業 形態	年次・単位数								教 員 名	備 考
		1年次		2年次		3年次		4年次			
		前	後	前	後	前	後	前	後		
運 動 処 方 演 習	演習							2		上 田 知 行	スポーツ教育学科同時展開
										沖 田 孝 一	
										小坂井 留美	
体 力 測 定 評 価	講義			2						瀧 澤 一 騎	スポーツ教育学科同時展開
										上 田 知 行	
体 力 測 定 評 価 演 習	演習					2				上 田 知 行	スポーツ教育学科同時展開 一部集中講義
										近 藤 雄 一 郎	
										瀧 澤 一 騎	
										渡 部 峻	
生 活 の 中 の 介 護 福 祉	講義	2							福 島 義 典		
生 活 習 慣 病 概 論	講義			2					沖 田 孝 一	スポーツ教育学科同時展開	
介 護 予 防 実 践 演 習	演習		2						担 当 教 員	集中講義	
介 護 実 践 管 理 論	講義						2		八 卷 貴 穂		
									干 場 有 理 子		
									前 田 顕		
医 学 概 論	講義	2							大 宮 司 信		
医 学 知 識	講義		2						大 宮 司 信	心理カウンセリング学科同時展開	
社 会 学	講義	2							松 下 守 邦		
心 理 学 概 論	講義	2							澤 聡 一	発展科目 心理カウンセリング学科同時展開	
現 代 社 会 と 福 祉 I	講義						2		伊 藤 新 一 郎	心理カウンセリング学科同時展開	
現 代 社 会 と 福 祉 II	講義							2	伊 藤 新 一 郎	心理カウンセリング学科同時展開	
社 会 福 祉 調 査 論	講義				2				森 下 義 亜		
ソ ー シ ャ ル ワ ー ク 概 説 I	講義	②							岩 本 希	心理カウンセリング学科同時展開	
ソ ー シ ャ ル ワ ー ク 概 説 II	講義		2						岩 本 希	心理カウンセリング学科同時展開	
ソ ー シ ャ ル ワ ー ク 論 I	講義		2						尾 形 良 子		
ソ ー シ ャ ル ワ ー ク 論 II	講義			2					中 村 裕 子		
ソ ー シ ャ ル ワ ー ク 論 III	講義				2				大 友 芳 恵		
ソ ー シ ャ ル ワ ー ク 論 IV	講義					2			黒 澤 直 子		
地 域 福 祉 論 I	講義					2			尾 形 良 子	心理カウンセリング学科同時展開	
地 域 福 祉 論 II	講義						2		尾 形 良 子	心理カウンセリング学科同時展開	
社 会 福 祉 行 政 ・ 福 祉 計 画 論	講義							2	伊 藤 新 一 郎	心理カウンセリング学科同時展開	
社 会 福 祉 運 営 管 理 論	講義						2		林 恭 裕		
社 会 保 障 論 I	講義			2					林 恭 裕	心理カウンセリング学科同時展開	
社 会 保 障 論 II	講義				2				林 恭 裕	心理カウンセリング学科同時展開	
高 齢 者 福 祉 論 I	講義	2							吉 田 修 大	介護福祉士養成課程単独開講	
									若 狹 重 克		
高 齢 者 福 祉 論 II	講義		2						大 友 芳 恵	介護福祉士養成課程単独開講	
									若 狹 重 克		
障 害 者 福 祉 論	講義		2						梶 晴 美	心理カウンセリング学科同時展開	
児 童 ・ 家 庭 福 祉 論	講義	2							小 松 留 美 子		
公 的 扶 助 論	講義				2				林 恭 裕	心理カウンセリング学科同時展開	
医 療 福 祉 論	講義					2			黒 澤 直 子		
就 労 支 援 論	講義						1		橋 本 菊 次 郎		
権 利 擁 護 と 成 年 後 見 制 度	講義							2	森 田 弘 之	心理カウンセリング学科同時展開	
司 法 福 祉 論	講義							1	二 階 堂 恵		

科 目 名	授業形態	年次・単位数								教 員 名	備 考	
		1年次		2年次		3年次		4年次				
		前	後	前	後	前	後	前	後			
相 談 援 助 演 習 I	演習			2						吉 田 修 大	介護福祉士養成課程単独開講	
										黒 澤 直 子		
相 談 援 助 演 習 II	演習				2					黒 澤 直 子		
										高 野 和 美		
相 談 援 助 演 習 III	演習					2				岩 本 希	介護福祉士養成課程以外 (介護福祉士養成課程と同時展開)	
								2		岩 本 希		
相 談 援 助 演 習 IV	演習					2				吉 田 修 大	介護福祉士養成課程以外 (介護福祉士養成課程と同時展開)	
								2		吉 田 修 大		
相 談 援 助 演 習 V	演習						2			吉 田 修 大	介護福祉士養成課程以外 (介護福祉士養成課程と同時展開)	
								2		吉 田 修 大		
相 談 援 助 実 習 指 導 I	演習				2					吉 田 修 大	介護福祉士養成課程以外 (介護福祉士養成課程と同時展開)	
										岩 本 希		
										尾 形 良 子		
							2				吉 田 修 大	介護福祉士養成課程 (介護福祉士養成課程以外と同時展開)
										岩 本 希		
										尾 形 良 子		
相 談 援 助 実 習 指 導 II	演習							← 4 →		尾 形 良 子	介護福祉士養成課程以外 (介護福祉士養成課程と同時展開)	
										岩 本 希		
										黒 澤 直 子		
										← 4 →	尾 形 良 子	介護福祉士養成課程 (介護福祉士養成課程以外と同時展開)
										岩 本 希		
										黒 澤 直 子		
相 談 援 助 実 習	実習							← 6 →		尾 形 良 子	集中講義 介護福祉士養成課程以外 (介護福祉士養成課程と同時展開)	
										岩 本 希		
										黒 澤 直 子		
										← 6 →	尾 形 良 子	集中講義 介護福祉士養成課程 (介護福祉士養成課程以外と同時展開)
										岩 本 希		
										黒 澤 直 子		
高 齢 社 会 の 街 づ くり	講義					2			佐 藤 克 之	発展科目		
介 護 福 祉 と 生 活 文 化	講義					2				八 巻 貴 穂		
										佐 藤 克 之		

健康福祉学科 学科専門科目

○単位は必修

科 目 名	授業形態	年次・単位数				教 員 名	備 考	
		1年次	2年次	3年次	4年次			
		前 後	前 後	前 後	前 後			
リハビリテーション論	講義			2		小玉 武志	集中講義	
						大須田 祐亮		
						大須田 祐亮	集中講義	
						小玉 武志	介護福祉士養成課程単独開講	
レクリエーション実技	実技		1			笹木 笑子		
						笹木 笑子	介護福祉士養成課程単独開講	
食生活学	講義・演習			2		小田嶋 政子	発展科目	
						小田嶋 政子	介護福祉士養成課程単独開講	
衣生活学	講義・演習			2		泉山 幸代	発展科目	
						泉山 幸代	介護福祉士養成課程単独開講	
住生活学	講義			2		佐藤 克之	発展科目	
						佐藤 克之	介護福祉士養成課程単独開講	
老年医学	講義		2			大宮司 信		
認知症論	講義		2			佐藤 郁子		
認知症ケア論	講義			2		宮崎 直人		
障害のある人の理解	講義				2	山道 祐子		
生活生理学	講義	2				長屋 智美		
高齢者心理学	講義		2			田辺 毅彦	心理カウンセリング学科同時展開	
健康福祉専門職演習Ⅰ	演習				2	岩本 希穂		
						八巻 貴穂		
健康福祉専門職演習Ⅱ	演習				2	吉田 修大		
						梶 晴美		
健康産業施設実習	実習				2	上田 知行	スポーツ教育学科同時展開 一部集中講義	
福祉実践実習	実習・演習				←2→	黒澤 直子	一部集中講義	
						尾形 良子		
専門演習Ⅰ	演習			②		担当教員	集中講義	
専門演習Ⅱ	演習				②		担当教員	集中講義
専門演習Ⅲ	演習					②	担当教員	集中講義
専門演習Ⅳ	演習					①	担当教員	集中講義
卒業研究	演習				2	担当教員	集中講義	
介護概論Ⅰ	講義	2				本間 美幸	介護福祉士養成課程のみ開講	
介護概論Ⅱ	講義		2			八巻 貴穂	介護福祉士養成課程のみ開講	
生活学概論	講義			2		青山 重美	介護福祉士養成課程のみ開講	
						小野寺 典子		
介護技術演習Ⅰ	演習	1				藤原 素子	介護福祉士養成課程のみ開講	
介護技術演習Ⅱ	演習		2			八巻 貴穂	介護福祉士養成課程のみ開講	
						佐藤 郁子		
						五十嵐 あけみ		
						山道 祐子		
介護技術演習Ⅲ	演習			2		本間 美幸	介護福祉士養成課程のみ開講	
						梶 晴美		
						佐藤 郁子		
						山道 祐子		
介護技術演習Ⅳ	演習			1		笹木 笑子	介護福祉士養成課程のみ開講	

科 目 名	授業 形態	年次・単位数								教 員 名	備 考		
		1年次		2年次		3年次		4年次					
		前	後	前	後	前	後	前	後				
介 護 技 術 演 習 V	演習					1				梶 晴 美 菅 原 ひとみ 吉 田 重 子	介護福祉士養成課程のみ開講		
				1								本 間 美 幸 佐 藤 郁 子	介護福祉士養成課程のみ開講
				1									
介 護 過 程 I (基 礎)	演習			1							介護福祉士養成課程のみ開講		
介 護 過 程 II (高 齢 者)	演習			1							介護福祉士養成課程のみ開講		
介 護 過 程 III (身 体 障 害 者)	演習			1							介護福祉士養成課程のみ開講		
介 護 過 程 IV (知 的 ・ 精 神 障 害 者 、 内 部 疾 患 者)	演習					1					介護福祉士養成課程のみ開講		
介 護 過 程 V (在 宅 支 援)	演習					1					介護福祉士養成課程のみ開講		
介 護 基 礎 演 習	演習・実習			1						八 卷 貴 穂 梶 晴 美 佐 藤 郁 子 本 間 美 幸 小 川 好 子	一部集中講義		
											介護福祉士養成課程のみ開講		
											介護基礎実習を含む		
介 護 実 習 指 導 I	演習			1						佐 藤 郁 子 梶 晴 美 本 間 美 幸 八 卷 貴 穂 小 川 好 子	介護福祉士養成課程のみ開講		
介 護 実 習 指 導 II	演習						← 2 →			本 間 美 幸 梶 晴 美 佐 藤 郁 子 八 卷 貴 穂 小 川 好 子	介護福祉士養成課程のみ開講		
介 護 実 習 指 導 III	演習・実習							1		梶 晴 美 佐 藤 郁 子 本 間 美 幸 八 卷 貴 穂	一部集中講義		
											介護福祉士養成課程のみ開講		
											訪問介護実習を含む		
介 護 実 習 I	実習			4						佐 藤 郁 子 梶 晴 美 本 間 美 幸 八 卷 貴 穂 小 川 好 子	集中講義		
											介護福祉士養成課程のみ開講		
											2月～3月に4週間実施		
介 護 実 習 II	実習				6					本 間 美 幸 梶 晴 美 佐 藤 郁 子 八 卷 貴 穂 小 川 好 子	集中講義		
											介護福祉士養成課程のみ開講		
											8月～9月に6週間実施		
医 療 的 ケ ア I	講義				2				梶 晴 美 竹 内 美 幸	介護福祉士養成課程のみ開講			
医 療 的 ケ ア II	講義				2			竹 内 美 幸 梶 晴 美		介護福祉士養成課程のみ開講			
医 療 的 ケ ア 演 習	演習					1				竹 内 美 幸	集中講義 介護福祉士養成課程のみ開講		

生涯スポーツ学部 スポーツ教育学科 教職に関する科目

○単位は必修

科 目 名	授業形態	年次・単位数								教 員 名	備 考
		1年次		2年次		3年次		4年次			
		前	後	前	後	前	後	前	後		
教 職 概 論	講義		②							西村貴之	
教 育 原 理	講義		②							堂徳将人	
教 育 心 理 学	講義		②							新川広樹	
教 育 経 営 学	講義					②				西村貴之	
教 育 課 程 論	講義					②				諏江康夫	教育学科(音)同時展開
保 健 体 育 科 教 育 法 I	講義			②						吉澤正伸	
保 健 体 育 科 教 育 法 II	講義				②					竹田唯史	
保 健 体 育 科 教 育 法 III	講義					②				杉岡品子	
保 健 体 育 科 教 育 法 IV	講義						2			吉澤正伸	
道 徳 教 育 論	講義					②				高橋さおり	
特 別 活 動 論	講義			②						諏江康夫	教育学科(養・音)・ 芸術学科同時展開
教育方法論(情報機器・教材活用を含む)	講義					②				西出勉	
生徒指導論(進路指導を含む)	講義				②					吉澤正伸	
教育相談論(カウンセリングを含む)	講義				②					杉岡品子	
教 育 実 習 事 前 指 導	講義						①			吉澤正伸 阿部達彦 瀧澤聡 西村貴之	
教 育 実 習 事 後 指 導	講義							①		吉澤正伸 阿部達彦 瀧澤聡 西村貴之	一部集中講義
教 育 実 習 I	実習							4	4	西村貴之 吉澤正伸	中一種必修・高一種 選択必修科目 集中講義
教 育 実 習 II	実習							2	2	西村貴之 吉澤正伸	高一種選択必修科目 集中講義
教 職 実 践 演 習 (中 ・ 高)	講義・演習								②	西村貴之 阿部達彦 瀧澤聡 吉澤正伸	

[教育文化学部]

教育文化学部 全学共通科目

○単位は必修

科 目 名	授業形態	年次・単位数								教 員 名	備 考	
		1年次		2年次		3年次		4年次				
		前	後	前	後	前	後	前	後			
導入科目												
基礎教育セミナーⅠ	演習	①									担当教員	
基礎教育セミナーⅡ	演習		①								担当教員	
基礎科目												
日本語表現	講義	①									小杉直美	
											岩本希	
											小坂守孝	
											村松幹男	
											石原深雪	
											小原信夫	
											前川公美夫	
数学入門	講義	①									松澤衛	
											佐藤克之	
											竹内雅明	
											三浦公裕	
											水野信太郎	
											菊池隆夫	
											佐々木雅史	
情報機器操作Ⅰ	演習	②									小杉直美	教育学科
											松澤衛	芸術学科
											伊藤博晃	心理カウンセリング学科
情報機器操作Ⅱ	演習	②									小杉直美	教育学科
											松澤衛	芸術学科
											伊藤博晃	心理カウンセリング学科
健康体育(実技を含む)	講義・実技			2							浅尾秀樹	教育学科(初・幼)
											畠山孝子	教育学科(養・音)
											近藤雄一郎	芸術学科
											畠山孝子	
											近藤雄一郎	心理カウンセリング学科
											畠山孝子	
英語コミュニケーションⅠ	演習	②									C.B.サイモンズ	教育学科
											C.B.サイモンズ	芸術学科
											デニス クイン	心理カウンセリング学科
外国語科目												
英語コミュニケーションⅡ	演習			2							C.B.サイモンズ	教育学科
											C.B.サイモンズ	芸術学科
											デニス クイン	心理カウンセリング学科
英語(中級)	講義			2						竹内典彦		
英語(上級)	講義				2					竹内典彦		

教育文化学部 全学共通科目

○単位は必修

科 目 名	授業形態	年次・単位数								教 員 名	備 考
		1年次		2年次		3年次		4年次			
		前	後	前	後	前	後	前	後		
韓 国 語	講義			2						田 光 子	
										千 永 柱	
中 国 語	講義			2						田 恩 蘋	
ド イ ツ 語	講義			2						菊 地 達 夫	
フ ラ ン ス 語	講義					2				江 口 修	
ス ペ イ ン 語	講義					2				田 中 恵 子	
教養科目											
現 代 生 活 と 政 治 ・ 経 済	講義			2						相 内 眞 子	一部集中講義
										今 野 聖 士	
現 代 生 活 と 法 律	講義			2						平 澤 卓 人	
現 代 生 活 と 福 祉	講義			2						川 端 里 香	
現 代 生 活 と 芸 術	講義			2						鈴 木 し お り	
										山 崎 正 明	
現 代 生 活 と 教 育	講義			2						杉 浦 勉	
現 代 生 活 と 心 と 体	講義				2					杉 岡 品 子	
現 代 生 活 と 物 理	講義				2					松 澤 衛	
										小 田 研	
現 代 生 活 と 地 球	講義			2						横 山 光	
現 代 生 活 と 環 境 科 学	講義				2					佐 々 木 浩 子	
北 海 道 の 文 化	講義				2					小 田 嶋 政 子	
日 本 国 憲 法	講義				2					河 森 計 二	教育学科
										佐 藤 静 也	芸術学科
										河 森 計 二	心理カウンセリング学科
情 報 社 会 及 び 情 報 倫 理	講義			2						小 杉 直 美	
情 報 処 理 (中 級)	演習					2				松 澤 衛	
										小 杉 直 美	
情 報 処 理 (上 級)	演習						2			松 澤 衛	
障 害 者 ス ポ ー ツ ・ パ ラ リ ン ピ ッ ク 概 論	講義・演習			2						伊 藤 政 勝	
										荒 井 秀 樹	
就業力養成科目											
キ ャ リ ア デ ザ イ ン I	講義	①								永 井 秀 岳	
										小 川 美 夏	
キ ャ リ ア デ ザ イ ン II	演習		①							浅 井 貴 也	
										今 井 博 康	
										岩 本 希	
										工 藤 ゆ かり	
										杉 浦 勉	
										千 葉 直 樹	
										本 間 美 幸	
										水 野 信 太 郎	
										小 川 美 夏	
								永 井 秀 岳			

科 目 名	授業形態	年次・単位数								教 員 名	備 考	
		1年次		2年次		3年次		4年次				
		前	後	前	後	前	後	前	後			
キャリアデザインⅢ	演習			①							阿 部 豊	
											石 塚 誠 之	
											澤 聡 一	
											杉 岡 品 子	
											富 田 玲 子	
											永 野 光 一	
											橋 本 菊 次 郎	
											水 野 信 太 郎	
											山 崎 正 明	
											小 川 美 夏	
キャリア演習Ⅰ	演習					①					小 坂 守 孝	
											千 葉 直 樹	
											二 宮 孝 行	
											水 野 信 太 郎	
											森 井 綾	
											小 川 美 夏	
											永 井 秀 岳	
											本 村 規 子	
キャリア演習Ⅱ	演習					①				小 川 美 夏		
キャリア演習Ⅲ	演習							1		小 川 美 夏		
キャリア演習Ⅳ	演習								1	小 川 美 夏		
就業力特別講義Ⅰ	講義				1						松 澤 衛	選択必修科目
											佐 藤 克 之	
											杉 浦 勉	
											竹 内 雅 明	
											水 野 信 太 郎	
											菊 池 隆 夫	
											佐々木 雅 史	
就業力特別講義Ⅱ	講義				1						小 室 晴 陽	選択必修科目
											菊 池 隆 夫	
インターンシップ	実習			← 2 →	← 2 →						キャリア支援センター長	集中講義
外国人留学生科目												
日 本 語	講義	2									田 光 子	
現 代 日 本 の 文 化	講義		2								菊 地 達 夫	集中講義

教育文化学部 教育学科 発展科目

○単位は必修

科 目 名	授業 形態	年次・単位数								教 員 名	備 考
		1年次		2年次		3年次		4年次			
		前	後	前	後	前	後	前	後		
心身・健康に関する科目群											
食生活と健康	講義	2								黒田 裕太	スポーツ教育学科 専門科目
スポーツ施設管理論	講義							2		水野 信太郎	スポーツ教育学科 専門科目
心理学概論	講義	2								澤 聡一	健康福祉学科・心理カウンセリング学科 専門科目
発達心理学	講義	2								新川 貴紀	心理カウンセリング学科 専門科目
人間関係の心理学	講義		2							小坂 守孝	心理カウンセリング学科 専門科目
乳幼児心理学	講義		2							新川 貴紀	心理カウンセリング学科 専門科目
福祉心理学	講義		2							佐藤 至英	心理カウンセリング学科 専門科目
育児支援の心理学	講義			2						風間 雅江	心理カウンセリング学科 専門科目
モチベーション心理学	講義			2						佐藤 至英	心理カウンセリング学科 専門科目
司法・犯罪心理学	講義				2					飯田 昭人	心理カウンセリング学科 専門科目
社会と生活に関する科目群											
社会教育概論	講義						2			谷川 松芳	スポーツ教育学科 専門科目
高齢社会の街づくり	講義						2			佐藤 克之	健康福祉学科 専門科目
食生活学	講義・演習				2					小田嶋 政子	健康福祉学科 専門科目
衣生活学	講義・演習				2					泉山 幸代	健康福祉学科 専門科目
住生活学	講義				2					佐藤 克之	健康福祉学科 専門科目
社会学	講義	2								森下 義亜	心理カウンセリング学科 専門科目
社会教育計画	講義							2		藤川 和信	
社会教育課題研究	講義							2		宗本 和博	
社会教育課題演習	演習								2	阿部 豊	
社会教育施設論	講義							2		阿部 豊	
文化と芸術に関する科目群											
美術史	講義				2					柴 勤	芸術学科 専門科目
ファッションデザイン概論	講義	2								大信田 静子 富田 玲子	芸術学科 専門科目
空間デザイン史	講義				2					水野 信太郎	芸術学科 専門科目
インテリアデザイン	演習	2								千里 政文	芸術学科 専門科目
ユニバーサルデザイン	講義		2							千里 政文	芸術学科 専門科目

教育文化学部 芸術学科 発展科目

○単位は必修

科 目 名	授業 形態	年次・単位数								教 員 名	備 考
		1年次		2年次		3年次		4年次			
		前	後	前	後	前	後	前	後		
心身・健康に関する科目群											
食生活と健康	講義	2								黒田 裕太	スポーツ教育学科 専門科目
スポーツ施設管理論	講義							2		水野 信太郎	スポーツ教育学科 専門科目
心理学概論	講義	2								澤 聡一	健康福祉学科・心理カウンセリング学科 専門科目
発達心理学	講義	2								新川 貴紀	心理カウンセリング学科 専門科目
人間関係の心理学	講義		2							小坂 守孝	心理カウンセリング学科 専門科目
乳幼児心理学	講義		2							新川 貴紀	心理カウンセリング学科 専門科目
福祉心理学	講義		2							佐藤 至英	心理カウンセリング学科 専門科目
育児支援の心理学	講義			2						風間 雅江	心理カウンセリング学科 専門科目
モチベーション心理学	講義			2						佐藤 至英	心理カウンセリング学科 専門科目
司法・犯罪心理学	講義				2					飯田 昭人	心理カウンセリング学科 専門科目
社会と生活に関する科目群											
社会教育概論	講義						2			谷川 松芳	スポーツ教育学科 専門科目
高齢社会の街づくり	講義						2			佐藤 克之	健康福祉学科 専門科目
食生活学	講義・演習				2					小田嶋 政子	健康福祉学科 専門科目
衣生活学	講義・演習				2					泉山 幸代	健康福祉学科 専門科目
住生活学	講義				2					佐藤 克之	健康福祉学科 専門科目
社会学	講義	2								森下 義亜	心理カウンセリング学科 専門科目
社会教育計画	講義						2			藤川 和信	
社会教育課題研究	講義						2			宗本 和博	
社会教育課題演習	演習							2		阿部 豊	
社会教育施設論	講義						2			阿部 豊	
文化と芸術に関する科目群											
音楽概論	講義		2							今井 敏勝	教育学科(音) 専門科目
音楽鑑賞法	講義			2						千葉 圭説	教育学科(音) 専門科目
音楽史	講義				2					鈴木 しおり 千葉 圭説	教育学科(音) 専門科目

Ⅲ
学
習

教育文化学部 心理カウンセリング学科 発展科目

○単位は必修

科 目 名	授業形態	年次・単位数								教 員 名	備 考
		1年次		2年次		3年次		4年次			
		前	後	前	後	前	後	前	後		
心身・健康に関する科目群											
食生活と健康	講義	2								黒田裕太	スポーツ教育学科 専門科目
スポーツ施設管理論	講義							2		水野信太郎	スポーツ教育学科 専門科目
社会と生活に関する科目群											
社会教育概論	講義					2				谷川松芳	スポーツ教育学科 専門科目
高齢社会の街づくり	講義					2				佐藤克之	健康福祉学科 専門科目
食生活学	講義・演習				2					小田嶋政子	健康福祉学科 専門科目
衣生活学	講義・演習				2					泉山幸代	健康福祉学科 専門科目
住生活学	講義				2					佐藤克之	健康福祉学科 専門科目
社会教育計画	講義							2		藤川和信	
社会教育課題研究	講義							2		宗本和博	
社会教育課題演習	演習								2	阿部豊	
社会教育施設論	講義							2		阿部豊	
文化と芸術に関する科目群											
音楽概論	講義		2							今井敏勝	教育学科(音) 専門科目
音楽鑑賞法	講義			2						千葉圭説	教育学科(音) 専門科目
音楽史	講義				2					鈴木しおり	教育学科(音) 専門科目
										千葉圭説	
美術史	講義				2					柴勤	芸術学科 専門科目
ファッションデザイン概論	講義	2								大信田静子	芸術学科 専門科目
										富田玲子	
空間デザイン史	講義				2					水野信太郎	芸術学科 専門科目
インテリアデザイン	演習	2								千里政文	芸術学科 専門科目
ユニバーサルデザイン	講義		2							千里政文	芸術学科 専門科目

教育文化学部 学部共通科目

○単位は必修

科 目 名	授業形態	年次・単位数								教 員 名	備 考
		1年次		2年次		3年次		4年次			
		前	後	前	後	前	後	前	後		
教 育 文 化 学	講義	②								風 間 雅 江 小 室 晴 陽 林 亨 浅 尾 秀 樹	
芸 術 と 心 理 学	講義		2							飯 田 昭 人	
生 涯 学 習 論	講義			2						佐々木 邦子	
生 涯 学 習 展 開 論	講義				2					阿 部 豊	
メ デ ィ ア デ ザ イン 概 論	講義	2								浅 井 貴 也 松 澤 衛	
心 理 学 的 支 援 法	講義				2					小 坂 守 孝	
青 少 年 学 習 コ ー チ ング 論	講義					2				佐々木 邦子	発展科目
リ カ レ ント 教 育 論	講義							2		佐々木 邦子	発展科目

教育学科 学科専門科目 コース共通科目

○単位は必修

科 目 名	授業形態	年次・単位数								教 員 名	備 考
		1年次		2年次		3年次		4年次			
		前	後	前	後	前	後	前	後		
学 習 コ ー チ ン グ 学 概 論	講義		2							杉 浦 勉	
専 門 演 習 I	演習				②					担 当 教 員	集中講義
専 門 演 習 II	演習					②				担 当 教 員	集中講義
卒 業 研 究	演習								←④→	担 当 教 員	集中講義
特 別 支 援 教 育 総 論	講義		②							瀧 澤 聡	スポーツ教育学科同時展開 一部集中講義
										石 塚 誠 之	
										伊 藤 政 勝	
										阿 部 達 彦	
										佐 藤 至 英	
細 谷 一 博											
知 的 障 害 者 の 心 理 ・ 生 理 ・ 病 理	講義		2							佐 藤 至 英	スポーツ教育学科同時展開
										石 塚 誠 之	
肢 体 不 自 由 者 の 心 理 ・ 生 理 ・ 病 理	講義		2							阿 部 達 彦	スポーツ教育学科同時展開
										笹 木 美 幸	
病 弱 者 の 心 理 ・ 生 理 ・ 病 理	講義			2						任 龍 在	スポーツ教育学科同時展開 集中講義
知 的 障 害 教 育 I	講義				②					青 山 眞 二	スポーツ教育学科同時展開
知 的 障 害 教 育 II	講義						2			瀧 澤 聡	スポーツ教育学科同時展開
肢 体 不 自 由 教 育 I	講義				2					阿 部 達 彦	スポーツ教育学科同時展開
肢 体 不 自 由 教 育 II	講義						2			石 川 大	スポーツ教育学科同時展開
病 弱 教 育	講義					2				中 澤 幸 子	スポーツ教育学科同時展開 集中講義
視 覚 ・ 聴 覚 障 害 者 の 心 理 ・ 生 理 ・ 病 理	講義						1			佐 藤 至 英	スポーツ教育学科同時展開
重 複 障 害 者 の 心 理 ・ 生 理 ・ 病 理	講義						1			任 龍 在	スポーツ教育学科同時展開 集中講義
発 達 障 害 者 等 の 心 理 ・ 生 理 ・ 病 理	講義				①					石 塚 誠 之	スポーツ教育学科同時展開
視 覚 ・ 聴 覚 障 害 者 の 教 育 課 程 及 び 指 導 法	講義						1			佐 藤 至 英	スポーツ教育学科同時展開
重 複 障 害 者 の 教 育 課 程 及 び 指 導 法	講義						1			阿 部 美 穂 子	スポーツ教育学科同時展開 集中講義
発 達 障 害 者 等 の 教 育 課 程 及 び 指 導 法	講義				①					瀧 澤 聡	スポーツ教育学科同時展開
特 別 支 援 教 育 実 習 事 前 指 導	講義						1			伊 藤 政 勝	
										石 川 大	
										石 塚 誠 之	
特 別 支 援 教 育 実 習 事 後 指 導	講義							1		伊 藤 政 勝	集中講義
										石 川 大	
										石 塚 誠 之	
特 別 支 援 教 育 実 習	実習							2	2	伊 藤 政 勝	集中講義
										石 川 大	
										石 塚 誠 之	
特 別 支 援 学 校 論 I	演習				2				伊 藤 政 勝	集中講義	
特 別 支 援 学 校 論 II	演習					2			伊 藤 政 勝	集中講義	
特 別 支 援 実 践 論 I	演習				2					伊 藤 政 勝	
										石 川 大	
										石 塚 誠 之	
特 別 支 援 実 践 論 II	演習				2					伊 藤 政 勝	
										石 川 大	
特 別 支 援 実 践 論 III	演習					2				伊 藤 政 勝	
										石 川 大	

教育学科 学科専門科目 初等教育コース専門科目

○単位は必修

科 目 名	授業 形態	年次・単位数								教 員 名	備 考
		1年次		2年次		3年次		4年次			
		前	後	前	後	前	後	前	後		
国語科概論(書写を含む)	講義		②							小杉直美	教(幼)同時展開
社会科学概論	講義	2								中川洋一 杉浦勉	選択必修科目
算数科概論	講義	②								三浦公裕	教(幼)同時展開
理科概論	講義		2							横山光	選択必修科目
生活科概論	講義	②								亀山比佐	教(幼)同時展開
音楽科概論	講義	②								澤田悦子	教(幼)同時展開
音楽実習Ⅰ	実習	1								澤田悦子	
音楽実習Ⅱ	実習		1							澤田悦子 伏見千悦子	
造形美術概論	講義		②							山崎正明	教(幼)同時展開
家庭科概論	講義		2							木下教子	選択必修科目
体育科概論	講義	②								長津詩織	
教職概論(幼・小)	講義	②								中川洋一	教(幼)同時展開
教育原理(幼・小)	講義	②								井上大樹	
教育心理学(幼・小)	講義		②							新川広樹	教(幼)同時展開
教育経営学(幼・小)	講義				②					佐々木邦子	教(幼)同時展開
教育課程論(幼・小)	講義				②					杉浦勉	教(幼)同時展開
国語科指導法Ⅰ	講義		②							二宮孝行	
国語科指導法Ⅱ	講義			2						二宮孝行	選択必修科目
国語科指導法Ⅲ	講義				2					二宮孝行	
社会科学指導法Ⅰ	講義			2						中川洋一	選択必修科目
社会科学指導法Ⅱ	講義				2					中川洋一	選択必修科目
社会科学指導法Ⅲ	講義					2				中川洋一	
算数科指導法Ⅰ	講義		②							三浦公裕	
算数科指導法Ⅱ	講義			2						三浦公裕	選択必修科目
算数科指導法Ⅲ	講義					2				三浦公裕	
理科指導法Ⅰ	講義		2							横山光	選択必修科目
理科指導法Ⅱ	講義					2				横山光	選択必修科目
理科指導法Ⅲ	講義						2			横山光	
生活科指導法Ⅰ	講義		②							西出勉	
生活科指導法Ⅱ	講義			2						西出勉	選択必修科目
生活科指導法Ⅲ	講義					2				西出勉	
音楽科指導法Ⅰ	講義		②							澤田悦子	
音楽科指導法Ⅱ	講義			2						澤田悦子	選択必修科目
音楽科指導法Ⅲ	講義					2				澤田悦子	
図画工作科指導法Ⅰ	講義			②						山崎正明	
図画工作科指導法Ⅱ	講義				2					山崎正明	選択必修科目
図画工作科指導法Ⅲ	講義						2			山崎正明	
家庭科指導法Ⅰ	講義			2						木下教子	選択必修科目
家庭科指導法Ⅱ	講義				2					木下教子 角田成子	選択必修科目
家庭科指導法Ⅲ	講義						2			木下教子 角田成子	

教育学科 学科専門科目 初等教育コース専門科目

○単位は必修

科 目 名	授業形態	年次・単位数								教 員 名	備 考
		1年次		2年次		3年次		4年次			
		前	後	前	後	前	後	前	後		
体育科指導法Ⅰ	講義			②						浅尾秀樹	
体育科指導法Ⅱ	講義				2					浅尾秀樹	選択必修科目
体育科指導法Ⅲ	講義					2				浅尾秀樹	
道徳教育論(小)	講義			②						二宮孝行	
特別活動論(小)	講義		②							諏江康夫	
教育方法論(情報機器・教材活用を含む)(幼・小)	講義				②					西出勉 横山光	教(幼)同時展開
生徒指導論(進路指導を含む)(小)	講義			②						佐々木邦子	
教育相談論(カウンセリングを含む)(幼・小)	講義				②					三浦公裕	教(幼)同時展開
教育実習事前指導(幼・小)	講義			1						中川洋一 二宮孝行 山崎正明 伏見千悦子	
教育実習事後指導(幼・小)	講義					1				中川洋一 二宮孝行 山崎正明 伏見千悦子	集中講義
教育実習(幼・小)	実習				4					中川洋一 二宮孝行 山崎正明 伏見千悦子	教(幼)同時展開 集中講義
教職実践演習(幼・小)	演習							2		中川洋一 二宮孝行 伏見千悦子 山崎正明	
小学校英語	講義			②						菅井留美子	
小学校教育研究Ⅰ	講義				②					二宮孝行	
小学校教育研究Ⅱ	講義					2				杉浦勉	
小学校教育研究Ⅲ	講義						2			横山光 二宮孝行	

教育学科 学科専門科目 幼児教育コース専門科目

○単位は必修

科 目 名	授業 形態	年次・単位数				教 員 名	備 考	
		1年次	2年次	3年次	4年次			
		前 後	前 後	前 後	前 後			
国語科概論(書写を含む)	講義		②				小杉直美	教(初)同時展開
算数科概論	講義	②					三浦公裕	教(初)同時展開
生活科概論	講義	②					亀山比佐	教(初)同時展開
音楽科概論	講義	②					澤田悦子	教(初)同時展開
音楽実習Ⅰ	実習	1					澤田悦子	
音楽実習Ⅱ	実習		1				澤田悦子	
造形美術概論	講義		②				山崎正明	教(初)同時展開
体育科概論	講義	②					長津詩織	
教職概論(幼・小)	講義	②					中川洋一	
教育原理(幼・小)	講義	②					白石淳	
保育原理	講義	②					工藤ゆかり	
教育心理学(幼・小)	講義		②				新川広樹	教(初)同時展開
教育経営学(幼・小)	講義				②		佐々木邦子	教(初)同時展開
教育課程論(幼・小)	講義				②		杉浦勉	教(初)同時展開
保育内容総論	演習	②					工藤ゆかり	
保育内容指導論	演習		②				工藤ゆかり	
保育内容(健康)	演習			②			長津詩織	
保育内容指導(健康)	演習				2		長津詩織	
保育内容(人間関係)	演習			②			工藤ゆかり	
保育内容指導(人間関係)	演習				2		近江さつき	
保育内容(環境)	演習			②			山崎正明	一部集中講義
保育内容指導(環境)	演習				2		西出勉 横山光	
保育内容(言葉)	演習			②			伏見千悦子 熊田広樹	一部集中講義
保育内容指導(言葉)	演習				2		伏見千悦子	
保育内容(表現)	演習			②			伏見千悦子 山崎正明	
保育内容指導(表現)	演習				2		澤田悦子	
こども理解	講義				②		吉田耕一郎 滝澤真毅	集中講義
こどもの表現あそび	演習				2		伏見千悦子	
こどもの体育あそび	演習				2		長津詩織	
こどもの言葉あそび	演習				2		伏見千悦子	
教育方法論(情報機器・教材活用を含む)(幼・小)	講義				②		西出勉 横山光	教(初)同時展開
教育相談論(カウンセリングを含む)(幼・小)	講義				②		三浦公裕	教(初)同時展開
教育実習事前指導(幼・小)	講義				1		山崎正明 伏見千悦子 中川洋一 二宮孝行	
教育実習事後指導(幼・小)	講義					1	山崎正明 伏見千悦子 中川洋一 二宮孝行	集中講義

教育学科 学科専門科目 幼児教育コース専門科目

○単位は必修

科 目 名	授業形態	年次・単位数								教 員 名	備 考	
		1年次		2年次		3年次		4年次				
		前	後	前	後	前	後	前	後			
教育実習(幼・小)	実習					4					山崎正明	教(初)同時展開 集中講義
											伏見千悦子	
											中川洋一	
											二宮孝行	
教職実践演習(幼・小)	演習								2		伏見千悦子	
											山崎正明	
											中川洋一	
											二宮孝行	
幼稚園教育研究Ⅰ	講義					②					山崎正明	
											伏見千悦子	
幼稚園教育研究Ⅱ	講義					2					澤田悦子	
											長津詩織	
幼稚園教育研究Ⅲ	講義							2		澤田悦子		
児童家庭福祉	講義			2						武田克江		
社会福祉	講義	2								鈴木幸雄		
相談援助	演習			2						三浦公裕		
社会的養護	講義		2							鈴木幸雄		
保育者論	講義		②							舟橋安幸		
保育の心理学Ⅰ	講義					2				藤本愉		
保育の心理学Ⅱ	演習							1		石塚誠之		
こどもの保健Ⅰa	講義		2							佐藤恵美子		
こどもの保健Ⅰb	講義			2						佐藤恵美子		
こどもの保健Ⅱ	演習				1					畑江郁子		
こどもの食と栄養	演習							2		木下教子		
家庭支援論	講義					2				木下教子		
保育課程論	講義							2		武田克江		
乳児保育	演習					2				武田克江		
障害児保育	演習							2		神田英治		
社会的養護内容	演習				1					佐藤恵美子		
保育相談支援	演習							1		舟橋安幸		
保育実習Ⅰ	実習					4					工藤ゆかり	集中講義
											澤田悦子	
											長津詩織	
保育実習Ⅱ	実習							2			工藤ゆかり	集中講義
											澤田悦子	
											長津詩織	
保育実習Ⅲ	実習							2			工藤ゆかり	集中講義
											澤田悦子	
											長津詩織	
保育実習指導Ⅰ	演習					2					工藤ゆかり	
											澤田悦子	
											長津詩織	
保育実習指導Ⅱ	演習							1			工藤ゆかり	
											澤田悦子	
											長津詩織	

教育学科 学科専門科目 幼児教育コース専門科目

○単位は必修

科 目 名	授業形態	年次・単位数								教 員 名	備 考
		1年次		2年次		3年次		4年次			
		前	後	前	後	前	後	前	後		
保 育 実 習 指 導 III	演習							1		工 藤 ゆかり	
										澤 田 悦子	
										長 津 詩 織	
保 育 実 践 演 習	演習								2	工 藤 ゆかり	
										澤 田 悦子	
										長 津 詩 織	

教育学科 学科専門科目 養護教諭コース専門科目

○単位は必修

科 目 名	授業形態	年次・単位数								教 員 名	備 考
		1年次		2年次		3年次		4年次			
		前	後	前	後	前	後	前	後		
衛生学	講義		②							佐々木 浩子	
衛生学実験	実験		1							佐々木 浩子	一部集中講義
公衆衛生学	講義			②						佐々木 浩子	
学校保健	講義		②							佐藤 朱美	
学校保健演習Ⅰ	演習				2					今野 洋子	選択必修科目
										佐藤 朱美	
学校保健演習Ⅱ	演習					2				今野 洋子	
										佐藤 朱美	
学校保健管理論	講義			2						佐藤 朱美	選択必修科目
学校保健組織活動論	講義						2			佐藤 朱美	
学校保健執務演習	演習			1						今野 洋子	
										佐藤 朱美	
養護実践学Ⅰ	講義	②								今野 洋子	
養護実践学Ⅱ	講義		2							今野 洋子	選択必修科目
養護活動実習Ⅰ	実習				②					今野 洋子	
										佐藤 朱美	
養護活動実習Ⅱ	実習					2				今野 洋子	選択必修科目
										佐藤 朱美	
養護実践学演習	演習			3						今野 洋子	選択必修科目
										佐藤 朱美	集中講義
健康相談活動の理論及び方法	講義		②							佐藤 朱美	
健康相談活動演習	演習			2						今野 洋子	選択必修科目
										佐藤 朱美	
栄養学(食品学を含む)	講義		②							土屋 律子	
解剖生理学	講義		②							沖田 孝一	
薬理概論	講義			②						中山 章	
微生物学(免疫学を含む)	講義	2								吉田 繁	選択必修科目
精神保健	講義				②					武藤 福保	
看護学概論	講義	②								丸岡 里香	
看護学各論	講義		②							畑江 郁子	
学校看護学	講義		2							丸岡 里香	
看護技術演習(救急処置を含む)Ⅰ	演習		②							丸岡 里香	
										畑江 郁子	
看護技術演習(救急処置を含む)Ⅱ	演習			2						丸岡 里香	選択必修科目
										畑江 郁子	
救急処置活動論	講義		2							丸岡 里香	
看護学臨床実習	実習			4						丸岡 里香	選択必修科目
										畑江 郁子	
養護教諭基礎セミナーⅠ	演習	2								今野 洋子	集中講義
										佐藤 朱美	
										畑江 郁子	
										丸岡 里香	
										大村 道子	

教育学科 学科専門科目 養護教諭コース専門科目

○単位は必修

科 目 名	授業形態	年次・単位数								教 員 名	備 考
		1年次		2年次		3年次		4年次			
		前	後	前	後	前	後	前	後		
養護教諭基礎セミナーⅡ	演習		2							今野洋子	集中講義
										佐藤朱美	
										畑江郁子	
										丸岡里香	
										大村道子	
養護教諭教育演習Ⅰ	演習			2						今野洋子	選択必修科目 集中講義
										佐藤朱美	
										畑江郁子	
										丸岡里香	
										大村道子	
養護教諭教育演習Ⅱ	演習				2					今野洋子	集中講義
										佐藤朱美	
										畑江郁子	
										丸岡里香	
										大村道子	
ヘルスアセスメント論	講義		2							今野洋子	選択必修科目
										佐藤朱美	
保健室経営演習Ⅰ	演習						2		今野洋子	選択必修科目	
保健室経営演習Ⅱ	演習							2	今野洋子	集中講義	
保健指導演習	演習			2					今野洋子	選択必修科目	
									佐藤朱美	集中講義	
健康診断演習	演習			2					今野洋子	集中講義	
									佐藤朱美		
教職概論	講義	②							中川洋一	教(音)・芸術学科同時展開	
教育原理	講義	②							井上大樹	教(音)・芸術学科同時展開	
教育心理学	講義		②						三浦公裕	教(音)・芸術学科同時展開	
教育経営学	講義			②					佐々木邦子	教(音)・芸術学科同時展開	
教育課程論	講義				②				諏江康夫	芸術学科同時展開	
道徳教育論	講義			②					杉浦勉	教(音)・芸術学科同時展開	
特別活動論	講義			②					諏江康夫	教(音)・芸術学科・ スポーツ教育学科同時展開	
教育方法論(情報機器・教材活用を含む)	講義				②				西出勉		
生徒指導論	講義				②				佐々木邦子		
教育相談論(カウンセリングを含む)	講義				②				三浦公裕	教(音)・芸術学科同時展開	
養護実習事前指導	講義			1					今野洋子		
									佐藤朱美		
養護実習事後指導	講義				1				今野洋子	集中講義	
									佐藤朱美		
養護実習	実習				4				今野洋子	集中講義	
									佐藤朱美		
教職実践演習(養護教諭)	演習							2	今野洋子		
									佐藤朱美		
養護教諭教育研究Ⅰ	講義					②			今野洋子		
養護教諭教育研究Ⅱ	講義						2		佐藤朱美		
養護教諭教育研究Ⅲ	講義							2	今野洋子	集中講義	

教育学科 学科専門科目 音楽コース専門科目

○単位は必修

科 目 名	授業形態	年次・単位数								教 員 名	備 考
		1年次		2年次		3年次		4年次			
		前	後	前	後	前	後	前	後		
ソルフェージュ	演習	②								岡 元 眞理子	
楽典	講義	②								今 井 敏 勝	
音楽概論	講義		2							今 井 敏 勝	選択必修科目・発展科目
音楽鑑賞法	講義			2						千 葉 圭 説	選択必修科目・発展科目
音楽史	講義				②					鈴 木 しおり	発展科目
										千 葉 圭 説	
和声学	講義			2						菅 原 克 弘	
作曲法	講義				2					菅 原 克 弘	選択必修科目
指揮法	演習					②				今 井 敏 勝	
合唱Ⅰ	演習		①							石 田 久 大	
合唱Ⅱ	演習			1						石 田 久 大	選択必修科目
合奏Ⅰ	演習			←②→						今 井 敏 勝	
										千 葉 圭 説	
合奏Ⅱ	演習					←2→				今 井 敏 勝	選択必修科目
										千 葉 圭 説	
合奏Ⅲ	演習							←2→		今 井 敏 勝	
										千 葉 圭 説	
生涯学習音楽指導論	講義				2					鈴 木 しおり	選択必修科目
音楽基礎演習Ⅰ	演習	②								橋 本 卓 三	一部集中講義
音楽基礎演習Ⅱ	演習		②							橋 本 卓 三	一部集中講義
音楽表現演習Ⅰ	演習			2						石 田 久 大	選択必修科目・一部集中講義
音楽表現演習Ⅱ	演習				2					石 田 久 大	選択必修科目・一部集中講義
器楽基礎演習Ⅰ	演習	②								今 井 敏 勝	一部集中講義
										千 葉 圭 説	
器楽基礎演習Ⅱ	演習		②							今 井 敏 勝	一部集中講義
										千 葉 圭 説	
器楽表現演習Ⅰ	演習			2						今 井 敏 勝	選択必修科目
										千 葉 圭 説	一部集中講義
器楽表現演習Ⅱ	演習				2					今 井 敏 勝	選択必修科目
										千 葉 圭 説	一部集中講義
ピアノ応用	講義				2					鈴 木 しおり	
ピアノ基礎演習Ⅰ	演習	②								鈴 木 しおり	一部集中講義
ピアノ基礎演習Ⅱ	演習		②							鈴 木 しおり	一部集中講義
ピアノ表現演習Ⅰ	演習			2						鈴 木 しおり	選択必修科目・一部集中講義
ピアノ表現演習Ⅱ	演習				2					鈴 木 しおり	選択必修科目・一部集中講義
ピアノ総合演習Ⅰ	演習					2				鈴 木 しおり	集中講義
										加 藤 久 美 子	
										南 山 雅 樹	
ピアノ総合演習Ⅱ	演習						2			鈴 木 しおり	集中講義
										加 藤 久 美 子	
										南 山 雅 樹	
コードと即興	講義				2					南 山 雅 樹	
音楽教育フィールド演習Ⅰ	演習			②						今 井 敏 勝	集中講義
										鈴 木 しおり	
										千 葉 圭 説	
										河 口 しほり	

教育学科 学科専門科目 音楽コース専門科目

○単位は必修

科 目 名	授業 形態	年次・単位数								教 員 名	備 考
		1年次		2年次		3年次		4年次			
		前	後	前	後	前	後	前	後		
音楽教育フィールド演習Ⅱ	演習			2						今井敏勝	選択必修科目 集中講義
										鈴木しおり	
										千葉圭説	
										河口しほり	
教 職 概 論	講義	②							中川洋一	教(養)・芸術学科同時展開	
教 育 原 理	講義	②							井上大樹	教(養)・芸術学科同時展開	
教 育 心 理 学	講義		②						三浦公裕	教(養)・芸術学科同時展開	
教 育 経 営 学	講義			②					佐々木邦子	教(養)・芸術学科同時展開	
教 育 課 程 論	講義				②				諏江康夫	スポーツ教育学科同時展開	
音 楽 科 教 育 法 Ⅰ	講義		②						今井敏勝		
音 楽 科 教 育 法 Ⅱ	講義			2					今井敏勝		
音 楽 科 教 育 法 Ⅲ	講義				2				河本洋一		
音 楽 科 教 育 法 Ⅳ	講義					2			枘谷隆男		
道 徳 教 育 論	講義		②						杉浦勉	教(養)・芸術学科同時展開	
特 別 活 動 論	講義		②						諏江康夫	教(養)・芸術学科・ スポーツ教育学科同時展開	
教育方法論(情報機器・教材活用を含む)	講義				②				西出勉	芸術学科同時展開	
生徒指導論(進路指導を含む)	講義			②					佐々木邦子	芸術学科同時展開	
教育相談論(カウンセリングを含む)	講義				②				三浦公裕	教(養)・芸術学科同時展開	
教 育 実 習 事 前 指 導	講義					1			今井敏勝		
									鈴木しおり		
教 育 実 習 事 後 指 導	講義						1		鈴木しおり		
									今井敏勝		
教 育 実 習 Ⅰ	実習						4	4	今井敏勝	集中講義	
									鈴木しおり		
教 育 実 習 Ⅱ	実習						2	2	今井敏勝	集中講義	
									鈴木しおり		
教 職 実 践 演 習 (中 ・ 高)	演習							2	今井敏勝		
									鈴木しおり		
音 楽 教 育 研 究 Ⅰ	演習				②				千葉圭説		
音 楽 教 育 研 究 Ⅱ	演習					2			鈴木しおり		
音 楽 教 育 研 究 Ⅲ	演習						2		今井敏勝		

Ⅲ
学
習

芸術学科 学科専門科目 基本科目

○単位は必修

科 目 名	授業 形態	年次・単位数								教 員 名	備 考
		1年次		2年次		3年次		4年次			
		前	後	前	後	前	後	前	後		
芸術理解											
美 術 概 論	講義		2							林 亨	選択必修科目
										森井 綾	
美 術 史	講義			2						柴 勤	選択必修科目・発展科目
美 学	講義				2					北村 清彦	
色 彩 計 画	演習		2							小屋 亮子	
ファッションデザイン概論	講義	2								大信田 静子	選択必修科目
										富田 玲子	発展科目
舞 台 芸 術 概 論	講義	2								村松 幹男	選択必修科目
										平井 伸之	
										飯塚 優子	
空 間 デ ザ イ ン 史	講義			2						水野 信太郎	発展科目
表現技術											
ドローイング I	演習	2								永野 光一	選択必修科目
空 間 デ ザ イ ン 基 礎	演習	2								小室 晴陽	選択必修科目
服 飾 基 礎 実 習	実習	2								富田 玲子	
クリエイティブシンキング	講義		2							浅井 貴也	選択必修科目
インテリアデザイン	演習	2								千里 政文	発展科目
ユニバーサルデザイン	講義		2							千里 政文	選択必修科目・発展科目
テクニカルスケッチ	演習		2							小室 晴陽	選択必修科目
										林 亨	
										勝田 信吾	
建 築 計 画	講義			2						小室 晴陽	
										東村 有三	
情報技術											
デジタルイメージ I	演習	②								浅井 貴也	
デジタルデザイン I	演習	②								森井 綾	
ウェブデザイン I	演習			2						浅井 貴也	選択必修科目
C A D 設 計	演習			2						小室 晴陽	
プログラミングによるCG	演習					2				松澤 衛	

科 目 名	授業 形態	年次・単位数								教 員 名	備 考	
		1年次		2年次		3年次		4年次				
		前	後	前	後	前	後	前	後			
アート教育・文化												
生涯学習と芸術	講義					2					浅川 泰	選択必修科目
学校教育と芸術	演習						2				船木 ゆづか 森井 綾	
博物館概論	講義		2								柴 勤	選択必修科目
博物館経営論	講義			2							柴 勤	
博物館資料論	講義				2						柴 勤	
博物館資料保存論	講義					2					園部 真幸	
博物館展示論	講義					2					細川 健裕 柴 勤	選択必修科目
博物館情報・メディア論	講義						2				小杉 直美	
博物館教育論	講義						2				中島 宏一	
博物館実習	実習								← 3 →		林 亨 横山 光	一部集中講義
デザイン概論	講義			2							勝田 信吾	選択必修科目
美術表現演習	演習				2						永野 光一 林 亨 森井 綾	選択必修科目
映像論	講義			2							松澤 衛	選択必修科目
写真	演習					2					松澤 衛	選択必修科目
ファッションコーディネート	演習			2							富田 玲子	選択必修科目
ファッション文化論	講義						2				富田 玲子 大信田 静子	選択必修科目
マンガ表現研究	演習					2					かじ さやか	選択必修科目
舞台芸術各論	講義		2								村松 幹男 飯塚 優子 福田 恭一	選択必修科目
戯曲研究	講義			2							イナダ ヒロシ	
服飾造形論	講義・演習	2									辻 美恵子	
生活材料学	講義				2						新貝 孝之	
都市と空間の法規	講義					2					村中 敬維	
住宅と空間の生産	講義						2				新貝 孝之	
平面表現												
ドローイングⅡ	演習		2								永野 光一	選択必修科目
絵画Ⅰ	演習	2									林 亨	
絵画Ⅱ	演習		2								八子 直子	
絵画Ⅲ	演習			2							井 桁 雅臣	
版画	演習					2					森 迫 暁夫	選択必修科目
グラフィックデザインⅠ	演習	2									澁谷 俊彦	
グラフィックデザインⅡ	演習		2								澁谷 俊彦 森井 綾	
グラフィックデザインⅢ	演習			2							田 恩 蘋	
デジタルイメージⅡ	演習		2								伊藤 隆介	選択必修科目
デジタルイメージⅢ	演習			2							浅井 貴也	
デジタルデザインⅡ	演習		2								森井 綾	選択必修科目
デジタルデザインⅢ	演習				2						川部 大輔	

科 目 名	授業形態	年次・単位数								教 員 名	備 考
		1年次		2年次		3年次		4年次			
		前	後	前	後	前	後	前	後		
デジタルビデオ編集	演習			2						森井綾 伊藤隆介	
ウェブデザインⅡ	演習				2					浅井貴也	
ファッション画	演習		2							森井綾 大信田静子	選択必修科目 一部集中講義
テキスタイルデザイン	実習		2							大信田静子	選択必修科目
パターンメイキング	演習	2								富田玲子	選択必修科目
インテリア設計Ⅰ	演習			2						千里政文	選択必修科目
立体表現											
彫刻Ⅰ	演習	2								永野光一	
彫刻Ⅱ	演習		2							永野光一	
彫刻Ⅲ	演習			2						藤本和彦	
陶芸Ⅰ	演習				2					對馬賢二	選択必修科目
陶芸Ⅱ	演習					2				對馬賢二	
木材工芸	演習					2				阿部吉伸	
舞台衣装Ⅰ	演習					2				富田玲子 大信田静子	集中講義
舞台衣装Ⅱ	演習						2			富田玲子 大信田静子	集中講義
服飾造形実習	実習				2					富田玲子	選択必修科目
建築空間のしくみ	講義				2					千里政文	
建築一般構造演習	演習						2			小室晴陽	
空間模型演習	演習				2					小室晴陽	選択必修科目
創作テキスタイル	演習							2		大信田静子	選択必修科目
3Dモーショングラフィックス	演習				2					松澤衛	
3DグラフィックスⅠ	演習				2					松澤衛	
3DグラフィックスⅡ	演習					2				松澤衛	
空間・身体表現											
ダンス	実技	1								村松幹男 田光子 平井伸之 竹内聡実	ポルト実施科目
俳優トレーニング	実習	1								平井伸之 村松幹男	ポルト実施科目
スタッフワーク	演習	2								村松幹男 田光子 平井伸之 五ノ井浩 鈴木静悟 相馬寛之 富井昭次 服部正巳 福田恭一 藤原宏行 百瀬俊介	選択必修科目 ポルト実施科目
朗読・ナレーション	演習	2								松本直人	

科 目 名	授業形態	年次・単位数								教 員 名	備 考
		1年次		2年次		3年次		4年次			
		前	後	前	後	前	後	前	後		
サウンドデザイン	演習					2				向山千晴	
トータルビューティ	演習						2			中田純子	
バックステージ研究Ⅰ	演習					2				村松幹男	選択必修科目 ポルト実施科目
										田光子	
										平井伸之	
										五ノ井浩	
										鈴木静悟	
										福田恭一	
										藤原宏行	
								吉田ひでお			
バックステージ研究Ⅱ	演習							2		村松幹男	選択必修科目 ポルト実施科目
										田光子	
										平井伸之	
										五ノ井浩	
										鈴木静悟	
										福田恭一	
										藤原宏行	
								吉田ひでお			
俳優論(演習を含む)	演習					2				村松幹男	
										平井伸之	
舞踊専門研究	演習							2	田光子		
リビングデザイン論	講義		2							小室晴陽	選択必修科目
住宅設計演習	演習				2					小室晴陽	
構造のかたちと力	講義					2				千里政文	
構造力学演習	演習							2		千里政文	
空間設備	講義							2		千里政文	
生活環境	講義							2		小室晴陽	
発想・企画・プレゼンテーション											
3次元造形演習	演習					2				松澤衛	
										永野光一	
デジタルコンテンツ制作	演習							2		弘田月彦	
										松澤衛	
ブランディングデザイン論	演習					2				富田玲子	選択必修科目
プレゼンテーションデザイン	演習			2						浅井貴也	
ディスプレイデザイン	実習							2		早坂眞梨子	
インテリア設計Ⅱ	演習					2				千里政文	選択必修科目
店舗デザイン	演習							2		担当教員	
舞台制作論	講義				2					イナダヒロシ	選択必修科目
演劇と映画	演習								2	松澤衛	選択必修科目
										村松幹男	
ステージ総合実習	実習							←2→		端谷真子	集中講義

科 目 名	授業 形態	年次・単位数				教 員 名	備 考			
		1年次	2年次	3年次	4年次					
		前 後	前 後	前 後	前 後					
総合・統合										
地 域 と 芸 術	演習			2		森 井 綾 浅 井 貴 也 大信田 静 子 小 室 晴 陽 千 里 政 文 富 田 玲 子 永 野 光 一 林 亨 松 澤 衛 村 松 幹 男	集中講義			
				1		浅 井 貴 也 大信田 静 子 小 室 晴 陽 千 里 政 文 富 田 玲 子 永 野 光 一 林 亨 松 澤 衛 村 松 幹 男 森 井 綾				
					1	浅 井 貴 也 大信田 静 子 小 室 晴 陽 千 里 政 文 富 田 玲 子 永 野 光 一 林 亨 松 澤 衛 村 松 幹 男 森 井 綾 田 恩 蕨		一部集中講義		
					1	小 室 晴 陽 浅 井 貴 也 大信田 静 子 千 里 政 文 富 田 玲 子 永 野 光 一 林 亨 松 澤 衛 村 松 幹 男 森 井 綾		集中講義		
				②		担 当 教 員		集中講義		
					②	担 当 教 員		集中講義		
						←④→ 担 当 教 員		集中講義		
		専 門 演 習 I	演習			②			担 当 教 員	集中講義
		専 門 演 習 II	演習					②	担 当 教 員	集中講義
卒 業 研 究	演習					←④→ 担 当 教 員	集中講義			

心理カウンセリング学科 学科専門科目

○単位は必修

科 目 名	授業 形態	年次・単位数								教 員 名	備 考
		1年次		2年次		3年次		4年次			
		前	後	前	後	前	後	前	後		
心 理 学 概 論	講義	②								澤 聡 一	発展科目 健康福祉学科同時展開
教育心理学概論(教育・学校心理学)	講義	2								飯 田 昭 人	
健 康 ・ 医 療 心 理 学	講義	2								入 江 智 也	
人 間 関 係 の 心 理 学	講義		2							小 坂 守 孝	発展科目
乳 幼 児 心 理 学	講義		2							新 川 貴 紀	発展科目
福 祉 心 理 学	講義		2							佐 藤 至 英	発展科目
育 児 支 援 の 心 理 学	講義			2						風 間 雅 江	発展科目
高 齢 者 心 理 学	講義			2						田 辺 毅 彦	健康福祉学科同時展開
児 童 心 理 学	講義			2						新 川 貴 紀	
青 年 心 理 学	講義			2						澤 聡 一	
知 覚 ・ 認 知 心 理 学	講義				2					伊 藤 博 晃 阿 部 純 一	
学習心理学(学習・言語心理学Ⅰ)	講義	2								山 田 弘 司	
コミュニケーション心理学(学習・言語心理学Ⅱ)	講義					2				風 間 雅 江	
感 情 ・ 人 格 心 理 学	講義				2					入 江 智 也	
生理心理学(神経・生理心理学Ⅰ)	講義	2								宇 野 英 樹	
神経心理学(神経・生理心理学Ⅱ)	講義				2					宇 野 英 樹	
社会心理学(社会・集団・家族心理学Ⅰ)	講義		2							渡 辺 舞	
家族心理学(社会・集団・家族心理学Ⅱ)	講義					2				飯 田 昭 人	
発 達 心 理 学	講義	2								新 川 貴 紀	発展科目
障 害 者 ・ 障 害 児 心 理 学	講義				2					風 間 雅 江	
司 法 ・ 犯 罪 心 理 学	講義				2					飯 田 昭 人	発展科目
産 業 ・ 組 織 心 理 学	講義						2			小 坂 守 孝	
臨 床 心 理 学 概 論	講義		②							飯 田 昭 人	
ポ ジ テ ィ ブ 心 理 学	講義					2				風 間 雅 江	
モ チ ベ ー シ ョ ン 心 理 学	講義			2						佐 藤 至 英	発展科目
心 理 的 ア セ ス メ ン ト	講義			2						小 坂 守 孝	
心 理 学 基 礎 演 習 Ⅰ	演習		①							飯 田 昭 人	
										入 江 智 也	
										風 間 雅 江	
										澤 聡 一	
心 理 学 基 礎 演 習 Ⅱ	演習		①							飯 田 昭 人	
										入 江 智 也	
										風 間 雅 江	
										澤 聡 一	
心 理 学 統 計 法	講義		②						佐 藤 至 英		
心 理 学 実 験	演習			4						風 間 雅 江	
										新 川 貴 紀	
										伊 藤 博 晃	
心 理 学 研 究 法	講義			②					澤 聡 一		
臨床心理援助技法論Ⅰ(精神分析療法)	講義					2			澤 聡 一		
臨床心理援助技法論Ⅱ(認知行動療法)	講義					2			小 坂 守 孝		
臨床心理援助技法論Ⅲ(ブリーフ・セラピー)	講義					2			新 川 貴 紀		

Ⅲ
学
習

心理カウンセリング学科 学科専門科目

○単位は必修

科 目 名	授業形態	年次・単位数								教 員 名	備 考	
		1年次		2年次		3年次		4年次				
		前	後	前	後	前	後	前	後			
心 理 演 習	演習					4					小坂守孝 飯田昭人 風間雅江 佐藤至英	
心 理 実 習	実習			← 2 →							新川貴紀 飯田昭人 風間雅江 小坂守孝 佐藤至英 澤 聡一	集中講義
ス ク ー ル カ ウ ン セ リ ン グ	講義						2				新川貴紀	
生 命 倫 理 学	講義						2				森口眞衣	
公 認 心 理 師 の 職 責	講義								2		新川貴紀 飯田昭人 入江智也 風間雅江 小坂守孝 澤 聡一 佐藤至英	
関 係 行 政 論	講義							2			飯田昭人 風間雅江 小坂守孝 澤 聡一 新川貴紀	
医学概論(人体の構造と機能及び疾病)	講義	2									大宮司 信	
医 学 知 識	講義		2								大宮司 信	健康福祉学科同時展開
社 会 学	講義	2									森下義亜	発展科目
現 代 社 会 と 福 祉 I	講義							2			伊藤新一郎	健康福祉学科同時展開
現 代 社 会 と 福 祉 II	講義								2		伊藤新一郎	健康福祉学科同時展開
地 域 福 祉 論 I	講義					2					尾形良子	健康福祉学科同時展開
地 域 福 祉 論 II	講義						2				尾形良子	健康福祉学科同時展開
社 会 保 障 論 I	講義		2								林 恭 裕	健康福祉学科同時展開
社 会 保 障 論 II	講義			2							林 恭 裕	健康福祉学科同時展開
公 的 扶 助 論	講義			2							林 恭 裕	健康福祉学科同時展開
社会福祉行政・福祉計画論	講義							2			伊藤新一郎	健康福祉学科同時展開
医 療 福 祉 論	講義						2				寺田 香	
障 害 者 福 祉 論	講義		2								梶 晴 美	健康福祉学科同時展開
権 利 擁 護 と 成 年 後 見 制 度	講義					2					森 田 弘 之	健康福祉学科同時展開
精神医学Ⅰ(精神疾患とその治療Ⅰ)	講義		2								武藤福保	
精神医学Ⅱ(精神疾患とその治療Ⅱ)	講義			2							武藤福保	
精 神 保 健 I	講義				2						武藤福保	
精 神 保 健 II	講義					2					橋本菊次郎	
ソ ー シ ャ ル ワ ー ク 概 説 I	講義	2									岩本 希	健康福祉学科同時展開
ソ ー シ ャ ル ワ ー ク 概 説 II	講義		2								岩本 希	健康福祉学科同時展開
精神保健福祉援助技術総論	講義			2							寺田 香	

心理カウンセリング学科 学科専門科目

○単位は必修

科 目 名	授業形態	年次・単位数								教 員 名	備 考
		1年次		2年次		3年次		4年次			
		前	後	前	後	前	後	前	後		
精神科リハビリテーション	講義					4				橋本 菊次郎	
精神保健福祉援助技術各論Ⅰ	講義				2					寺田 香	
精神保健福祉援助技術各論Ⅱ	講義					2				今井 博康	
精神保健福祉学Ⅰ	講義		2							今井 博康	
精神保健福祉学Ⅱ	講義			2						橋本 菊次郎	
精神保健福祉学Ⅲ	講義								2	橋本 菊次郎 今井 博康 寺田 香	
精神保健福祉援助演習Ⅰ	演習						2			橋本 菊次郎 寺田 香	
精神保健福祉援助演習Ⅱ	演習							2		今井 博康 尾形 多佳士	
精神保健福祉援助演習Ⅲ	演習								2	今井 博康 橋本 菊次郎	
精神保健福祉援助実習指導	演習								← 3 →	橋本 菊次郎 今井 博康 寺田 香	
精神保健福祉援助実習	実習								← 7 →	橋本 菊次郎 今井 博康 寺田 香	集中講義
就業力特別演習	演習				1					澤 聡一 橋本 菊次郎	
精神保健福祉援助技術特別講義	講義							1		寺田 香	
専門演習Ⅰ	演習				②					担当教員	集中講義
専門演習Ⅱ	演習					②				担当教員	集中講義
卒業研究	演習								←④→	担当教員	集中講義

Ⅲ
学
習

教育文化学部 芸術学科 教職に関する科目

○単位は必修

科 目 名	授業形態	年次・単位数								教 員 名	備 考
		1年次		2年次		3年次		4年次			
		前	後	前	後	前	後	前	後		
教 職 概 論	講義	②								中 川 洋 一	教育学科(養・音)同時展開
教 育 原 理	講義	②								井 上 大 樹	教育学科(養・音)同時展開
教 育 心 理 学	講義		②							三 浦 公 裕	教育学科(養・音)同時展開
教 育 経 営 学	講義			②						佐々木 邦子	教育学科(養・音)同時展開
教 育 課 程 論	講義				②					諏 江 康 夫	教育学科(養)同時展開
美 術 科 教 育 法 I	講義		②							花 輪 大 輔	
美 術 科 教 育 法 II	講義			②						花 輪 大 輔	
美 術 科 教 育 法 III	講義				②					林 亨	
美 術 科 教 育 法 IV	講義					2				林 亨	
道 徳 教 育 論	講義		②							杉 浦 勉	教育学科(養・音)同時展開
特 別 活 動 論	講義		②							諏 江 康 夫	教育学科(養・音)・ スポーツ教育学科同時展開
教育方法論(情報機器・教材活用を含む)	講義				②					西 出 勉	教育学科(音)同時展開
生徒指導論(進路指導を含む)	講義			②						佐々木 邦子	教育学科(音)同時展開
教育相談論(カウンセリングを含む)	講義				②					三 浦 公 裕	教育学科(養・音)同時展開
教 育 実 習 事 前 指 導	講義					①				林 亨	
教 育 実 習 事 後 指 導	講義						①			林 亨	
教 育 実 習 I	実習						4	4		林 亨	中一種必修・高一種選択必修科目 一部集中講義
教 育 実 習 II	実習						2	2		林 亨	高一種選択必修科目 集中講義
教 職 実 践 演 習 (中 ・ 高)	講義・演習							②		林 亨	

5) 各種資格

[生涯スポーツ学部／スポーツ教育学科]

①社会教育主事（任用資格）

1. 本学に社会教育主事資格取得に関する授業科目が開講され、定められた科目を履修することにより国家資格の社会教育主事（任用資格）を取得することができる。
2. 社会教育主事は、都道府県や市町村の教育委員会事務局の職員として生涯学習やスポーツ、レクリエーション指導を行う関係者に専門的・技術的な助言や指導を行う職種である。

<資格要件> 社会教育法第9条4の3

この資格は、「大学に2年以上在学し、62単位以上を修得し、かつ、大学において文部科学省令で定める社会教育に関する科目の単位を修得した者」で、1年以上社会教育主事補（地方自治体が任命する社会教育担当職員で社会教育主事を助ける職種）の職にあった者に与えられる。

法令に定める区分	法令単位	授業科目	開講年次	単位数	備考
生涯学習概論	4	生涯学習論	1	2	必修6科目 12単位 履修のこと
		生涯学習展開論	3	2	
社会教育計画	4	社会教育概論	3	2	
		社会教育計画	4	2	
社会教育演習、社会教育実習又は社会教育課題研究のうち一以上の科目	4	社会教育課題研究	4	2	
		社会教育課題演習	4	2	
社会教育特講Ⅰ (現代社会と社会教育)	12	リカレント教育論	4	2	2科目4単位 以上 履修のこと
		社会学	1	2	
		情報機器操作Ⅰ	1	2	
社会教育特講Ⅱ (社会教育活動・事業・施設)	12	社会教育施設論	4	2	2科目4単位 以上 履修のこと
		食生活と健康	1	2	
		高齢社会の街づくり	3	2	
社会教育特講Ⅲ (その他必要な科目)	12	青少年学習コーチング論	3	2	2科目4単位 以上 履修のこと
		人間関係の心理学	1	2	
		地域支援実習	2	2	
計	24単位以上				合計24単位以上

②健康運動実践指導者受験資格

健康運動実践指導者は、医学的基礎知識、運動生理学の知識、健康づくりのための運動指導の知識・技能を持ち、健康づくりを目的として作成された運動プログラムに基づいて、実践指導を行うインストラクターである。

<資格要件>

健康運動実践指導者資格取得を希望する学生は、下表に定める所定の単位を修得することによって、健康・体力づくり事業財団が実施する資格認定試験を受験することができる。

財団が定める科目	本学開講科目	開講年次	単位数
健康づくり施策概論	健康学	1	2
	生活習慣病概論	2	2
運動生理学	運動生理学	1	2
機能解剖とバイオメカニクス	機能解剖学	1	2
	スポーツ・バイオメカニクス	2	2
栄養摂取と運動	栄養と健康	1	2
健康づくりと運動プログラム	運動処方	3	2
	トレーニング論	1	2
運動指導の心理学的基礎	健康心理学	1	2
運動障害と予防・救急処置	スポーツ整形外科学	3	2
	救急処置	2	2
健康づくり運動の実際	生涯スポーツ指導演習（水泳・水中運動）	3	2
	生涯スポーツ（エアロビック）	1	1
	生涯スポーツ指導演習（エアロビック）	2	2
	生涯スポーツ（陸上競技）	1	1
	生涯スポーツ指導演習（陸上競技）	3	2
	生涯スポーツ指導演習（体づくり運動）	3	2
	トレーニング演習	1	2
体力の測定と評価	体力測定評価	2	2
	体力測定評価演習	3	2

<資格認定試験の受験>

所定の単位を取得した学生は、3年次において資格認定試験を受験することができる（受験料25,713円（税込））。資格認定試験は、指導実技試験と筆記試験の両方に合格する必要がある。

<資格登録申請>

資格認定試験に合格した場合、登録申請を行うことで、健康運動実践指導者の資格を取得することができる（登録料21,600円（税込））。

<登録費用>

登録は5年間有効で、所定の講習を受講することにより、更新することができる（登録更新料21,600円（税込））。

<資格取得後の考えられる進路> ※（ ）内は実績

- ・病院（溪仁会円山クリニック、北海道循環器病院）
- ・健康増進センター（札幌市中央健康づくりセンター）
- ・保健センター
- ・フィットネスクラブ（宮の森スポーツ、KONAMIスポーツ）

③健康運動指導士受験資格

健康運動指導士は、保健医療関係者と連携しつつ、個々人の心身の状態に応じた、安全で効果的な運動を実施するための運動プログラムの作成及び実践指導計画の調整等を行う役割を担う専門家である。

<資格要件>

健康運動指導士資格取得を希望する学生は、下表に定める所定の単位を修得することによって、健康・体力づくり事業財団が実施する資格認定試験を受験することができる。

財団が定める科目	本学開講科目	開講年次	単位数
健康管理概論	生活習慣病概論	2	2
健康づくり施策概論	健康学	1	2
生活習慣病（NCD）	生活習慣病概論	2	2
運動生理学	運動生理学	1	2
	運動処方	3	2
機能解剖とバイオメカニクス（運動・動作の力源）	スポーツ・バイオメカニクス	2	2
	機能解剖学	1	2
健康づくりの運動の理論	運動処方	3	2
	トレーニング論	1	2
	障がい者スポーツ論	3	2
運動障害と予防	スポーツ内科学	3	2
	スポーツ整形外科学	3	2
体力測定と評価	体力測定評価	2	2
	体力測定評価演習	3	2
健康づくり運動の実際	生涯スポーツ指導演習（体づくり運動）	3	2
	生涯スポーツ指導演習（陸上競技）	3	2
	生涯スポーツ指導演習（エアロビック）	2	2
	生涯スポーツ指導演習（水泳・水中運動）	3	2
	トレーニング演習	1	2
	健康産業施設実習	4	2
救急処置	救急処置	2	2
運動プログラムの実際	運動処方	3	2
	運動処方演習	4	2
運動負荷試験実習	運動処方演習	4	2
運動行動変容の理論と実際	中高年スポーツ論	2	2
	運動処方演習	4	2
運動とこころの健康増進	健康学	1	2
栄養摂取と運動	栄養と健康	1	2

<資格認定試験の受験>

健康運動指導士を養成校制度で受験する学生は、4年次の学期初めに行われる学内試験に合格する必要がある（健康運動実践指導者の有資格者は免除）。

所定の単位を取得した学生は、4年次において資格認定試験を受験することができる（受験料15,428円（税込））。

<資格登録申請>

資格認定試験に合格した場合、登録申請を行うことで、健康運動指導士の資格を取得することができる（登録料24,686円（税込））。

<登録費用>

登録は5年間有効で、所定の講習を受講することにより、更新することができる（登録更新料21,600円（税込））。

<健康産業施設実習>

①実習対象者

- ・3年次までに開講される所定の単位をすべて修得し、4年次に開講される所定の科目をすべて履修していること

②実習受け入れ先

- ・北翔大学北方圏生涯スポーツ研究センタースポーツクラブ（スポルクラブ）
- ・溪仁会円山クリニック
- ・美田内科循環器科クリニック 他

<資格取得後の考えられる進路> ※（ ）内は実績

- ・地域まるごと元気アッププログラム（コープさっぽろ）
- ・病院（溪仁会円山クリニック、北海道循環器病院）
- ・健康増進センター（札幌市健康づくりセンター、日本健康倶楽部）
- ・保健センター（苫小牧保健センター）
- ・介護予防施設（ジョイリハ）
- ・フィットネスクラブ（宮の森スポーツ）
- ・フリーインストラクターなど

④JATI認定トレーニング指導者受験資格

JATI認定トレーニング指導者（Accredited Training Instructor；JATI-ATI）は、一般人からアスリートまで幅広い目的や対象に応じて、科学的根拠に基づくトレーニング指導を行う専門家である。

<資格要件>

協会が定める科目（一般科目および専門科目）に対して本学で開講される科目の単位を修得した後、協会が主催する認定試験（一般科目および専門科目、受験料：両方30,000円（税別）、片方20,000円（税別））に合格し、JATIに入会すると（年会費10,000円（税別））、取得できる。

<所定修得科目>

一般科目

協会が定める科目	本学開設科目	年次	単位
体 力 学 総 論	ト レ ニ ン グ 論	1	2
機 能 解 剖	機 能 解 剖 学	1	2
バ イ オ メ カ ニ ク ス	ス ポ ー ツ ・ バ イ オ メ カ ニ ク ス	2	2
運 動 生 理 学	運 動 生 理 学	1	2
運 動 と 栄 養 (1)	栄 養 と 健 康	1	2
運 動 と 栄 養 (2)	ス ポ ー ツ 栄 養 学	2	2
運 動 と 栄 養 (3)	ス ポ ー ツ 栄 養 学	2	2
運 動 と 心 理	ス ポ ー ツ 心 理 学	1	2
運 動 と 医 学 (1)	救急処置、または、スポーツ医学基礎	2	2
運 動 と 医 学 (2)	スポーツ整形外科学、または、スポーツ医学基礎	3、または、2	2
運 動 と 医 学 (3)	ス ポ ー ツ 内 科 学	3	2
運 動 指 導 の 科 学	コ ー チ 学	1	2

専門科目

協会が定める科目	本学開設科目	年次	単位
ト レ ニ ン グ 指 導 者 論	コ ー チ 学	1	2
各 種 ト レ ニ ン グ 法 の 理 論 と プ ロ グ ラ ム	ト レ ニ ン グ 論	1	2
特 別 な 対 象 の た め の ト レ ニ ン グ と プ ロ グ ラ ム	ト レ ニ ン グ 論、または、運動処方	1、または、3	2
傷 害 の 受 傷 か ら 復 帰 ま で の ト レ ニ ン グ と プ ロ グ ラ ム	ス ポ ー ツ 医 学 基 礎	2	2
各 種 ト レ ニ ン グ 法 の 実 際	ト レ ニ ン グ 演 習	1	2
ト レ ニ ン グ 効 果 の 判 定 と 評 価	体 力 測 定 評 価	2	2
ト レ ニ ン グ の 運 営 と 情 報 活 用 I	ス ポ ー ツ 施 設 管 理 論	4	2
ト レ ニ ン グ の 運 営 と 情 報 活 用 II	コ ー チ 学	1	2

⑤JPSUスポーツトレーナー資格

体育・スポーツの専門性を活かしたさまざまな知識・技術を駆使し、運動実践・指導、ケガの予防、救急処置ができる人材の養成を目指す2017年に新設された資格である。健康運動指導士、アスレティックトレーナー、JATI資格などの基礎的な資格となる。

<資格要件>

協会が定める科目に対して本学で開講されている科目の単位を修得した後、協会が主催する認定試験（受験料：20,000円）に合格すると取得できる。

<一次救命処置（BLS）資格保持について>

本資格受験のためには、以下のBLS資格が必要である。

- ①最新の国際ガイドラインに準じた成人向けのCPRおよびAEDの講習会であること。
- ②CPRおよびAEDに関する講義及び実技の実習が含まれている講習であること。
- ③CPRおよびAEDに関する学科及び実技の評価（検定）の結果により、修了あるいは認定される資格であること。
- ④有効期限や認定日が記載されている修了証または認定証を発行している講習会であること（資格の有効期限を証明できるものが発行されていること）。

*上記の①～④の全てを満たしていれば対象講習会、主催団体および機関は問わない。

*BLS資格の有効期限は受験申込書に記載の際に卒業時（資格発行時）に有効であることが証明できるもの。

<申請費用>

受験料：20,000円（平成29年度実績）

<所定修得科目>

協会が定める科目			本学の開講科目						
科 目	内 容	科目数	授業科目名	開講年次	科目数				
スポーツトレーナーに必要な資質	コーチング 教育的指導と倫理 専門家との連携 スポーツトレーナー総論	1	スポーツ教育学概論	1	1				
体育スポーツ 実践・指導 (実技)	記録系競技実践・指導	1	生涯スポーツ (陸上競技)	1	1 ※				
			生涯スポーツ (水泳・水中運動)	1					
	球技系競技実践・指導	1	生涯スポーツ (バスケットボール)	1	1 ※				
			生涯スポーツ (バレーボール)	1					
			生涯スポーツ (野球・ソフトボール)	2					
			生涯スポーツ (バドミントン)	1					
			生涯スポーツ (テニス)	2					
	武道・格闘技系実践・指導	1	生涯スポーツ指導演習 (武道)	3	1				
	基礎運動実践・指導	1	生涯スポーツ (器械運動)	1	1 ※				
			生涯スポーツ (エアロビック)	1					
	トレーニング コンディショニング 実践・指導 (実技)	行動体力に関わる体力要素の実践・指導 例：筋力トレーニング 柔軟性トレーニング 敏捷性トレーニング パワートレーニング 持久力トレーニング	2	トレーニング演習	1	2			
				生涯スポーツ指導演習 (体づくり運動)	3				
現場実習				集団指導	1		地域支援実習	2	1 ※
							教育実習Ⅰ	4	
体力測定評価 (実技)	身体組成測定評価 筋力測定評価 柔軟性測定評価 敏捷性測定評価 パワー測定評価 持久力測定評価	1	体力測定評価演習	教育実習Ⅱ	4				
				健康産業施設実習	4				
救急処置法 (講義・実技)	心肺蘇生法 & AED 整形外科的疾患に対する救急処置 内科的疾患に対する救急処置 救急処置シミュレーション 運搬法	1	救急処置	アスレティックトレーニング指導実習	4				
				救急処置	2	1			
スポーツ科学 に関する知識	スポーツ生理学	運動と身体反応 環境と身体反応	1	運動生理学	1	1			
	スポーツ栄養学	減量・増量に関わる栄養 食事指導と教育	1	スポーツ栄養学	2	1			
	スポーツ心理学	スポーツにおける心理学の領域 スポーツ心理学的アプローチ	1	スポーツ心理学	1	1			
	トレーニング科学	各種トレーニングにおける身体反応 トレーニングのプログラムデザイン	1	トレーニング論	1	1			
	バイオメカニクス	バイオメカニクスの領域 各種運動の動きの見方	1	スポーツ・バイオメカニクス	2	1			
	機能解剖学	上肢の基礎解剖と運動 体幹の基礎解剖と運動 下肢の基礎解剖と運動	1	機能解剖学	1	1			
	コンディショニング	コンディショニングの基礎 年齢・性別のコンディショニング 各種コンディショニング方法	1	コンディショニング理論	3	1			
スポーツ医学 に関する知識	スポーツ医学 (内科)	内科的疾患・感染症とその対策 内科的メディカルチェック	1	スポーツ内科学	3	1			
	スポーツ医学 (運動器)	上肢・下肢・脊柱のスポーツ外傷・障害 整形外科的メディカルチェック	1	スポーツ整形外科学	3	1			
合 計		19	合 計		19				

※いずれか1科目を選択

⑥公認スポーツ指導者 共通科目 I・II・III

公認スポーツ指導者共通科目 I・II・IIIは、地域スポーツクラブ、学校、商業スポーツ施設等において、スポーツリーダー、各スポーツ競技別専門的指導者（指導員、コーチ、教師）、アシスタントマネージャー、アスレティックトレーナー等、主に日本体育協会公認スポーツ指導者資格取得に必要な共通科目である。

<資格要件>

公認スポーツ指導者共通科目 I・II・IIIまたは共通科目 I・IIの申請を希望する学生は、下表に定める本学所定の単位を取得し、卒業時のみ申請が可能である。

<所定修得科目>

一般科目

	協会が定める科目	本学開講科目	開講年次	単位数
共通 I	文化としてのスポーツ	生涯スポーツ学	1	2
	指導者の役割 I	コーチ学	1	2
	トレーニング論 I	体力測定評価	2	2
		トレーニング論	1	2
	スポーツ指導者に必要な医学的知識 I	生涯スポーツ学	1	2
		スポーツ医学基礎	2	2
	スポーツと栄養	栄養と健康	1	2
	指導計画と安全管理	コーチ学	1	2
ジュニア期のスポーツ	ジュニアスポーツ論	3	2	
地域におけるスポーツ振興	スポーツマネジメント	2	2	
共通 II	社会の中のスポーツ	スポーツ社会学	4	2
	スポーツと法	スポーツマネジメント	2	2
	スポーツの心理 I	スポーツ心理学	1	2
	スポーツ組織の運営と事業	スポーツマネジメント	2	2
	対象に合わせたスポーツ指導	生涯スポーツ学	1	2
共通 III	指導者の役割 II	コーチ学	1	2
	アスリートの栄養・食事	栄養と健康	1	2
	スポーツの心理 II	スポーツ心理学	1	2
	身体のしくみと働き	基礎解剖学	1	2
		生理学	1	2
	トレーニング論 II	体力測定評価演習	3	2
		トレーニング論	1	2
	競技者育成のための指導法	コーチ学	1	2
スポーツ指導者に必要な医学的知識 II	スポーツ医学基礎	2	2	

共通科目 I・II：①取得単位の確認はない（卒業）。

②修了証明書は申請した学生に発行する。

（修了証明書と併せてスポーツリーダーとして認定される。）

③修了証明書発行料として6,000円（税別）が必要となる。

共通科目 I・II・III：①取得単位の確認がある。

②修了証明書は申請した学生に発行する。

（修了証明書と併せてスポーツリーダーとして認定される。）

③修了証明書発行料として10,000円（税別）が必要となる。

⑦ジュニアスポーツ指導員受験資格

ジュニアスポーツ指導員とは、地域スポーツクラブ等において、幼・少年期の子どもたちに遊びを通じた身体づくり、動きづくりの指導を行う人材である。

<資格要件>

本学で「日本体育協会公認スポーツ指導員」の共通科目Ⅰ・Ⅱの単位と下表に定められた科目（専門科目）の単位を取得した後、日本体育協会が主催する検定試験に合格しなければならない。
受験料：10,000円（税別）

協会が定める科目		本学開講科目		開講年次	単位数
基礎	ジュニア期のスポーツの考え方	ジュニアスポーツ論		3	2
	ジュニアスポーツ指導員の役割	ジュニアスポーツ論		3	2
	子どもの発達とコミュニケーションスキル	ジュニアスポーツ論		3	2
乳幼児期	動きの発達とスキルの獲得 （基本的動作の習得） 運動あそび・ゲームの実際	ジュニアスポーツ論		3	2
		生涯スポーツ指導演習（体づくり運動）		3	2
		生涯スポーツ（陸上競技）		1	1
		生涯スポーツ（バスケットボール）		1	1
児童前期	動きの発達とスキルの獲得 （動作の習熟） 運動あそび・ゲームの実際	生涯スポーツ（器械運動）		1	1
		生涯スポーツ指導演習（水泳・水中運動）		3	2
児童後期	動きの発達とスキルの獲得 （スポーツスキルの上達） スポーツスキル獲得の実際				
青年前期	動きの発達とスキルの獲得 （より専門性の高いスポーツスキルの習得） スポーツスキル獲得の実際				
指導実習	指導実習	就業力特別演習Ⅲ	（どちらか1科目）	4	1
		教育実習Ⅰ		4	4

<申請費用>

専門科目コース修了証明書発行料：3,000円（税別）

資格登録料は、初回登録時4年間13,000円（以後、更新義務研修を受講）である。

<資格取得後の考えられる進路>

- ・ 幼児スポーツ指導員（幼児活動研究会など）

⑧公認アシスタントマネジャー受験資格

アシスタントマネジャーとは、総合型地域スポーツクラブなどの運営に必要なマネジメントの基礎知識を有する人材で、総合型の地域スポーツクラブなどにおいて、クラブ員が充実したクラブライフを送ることができるよう、クラブマネジャーを補佐し、クラブ運営のために諸活動をサポートする。

<資格要件>

アシスタントマネジャー資格を取得するためには、日本体育協会公認スポーツ指導者共通科目Ⅰ・Ⅱを取得し、次表に定める本学所定の単位を取得した後、日本体育協会が主催する検定試験に合格しなければならない。そして、卒業時に所定の申請手続きを完了した者が認定される。

協会が定める科目	本学開講科目	開講年次	単位数
地域スポーツクラブとは	ス ポ ー ツ マ ネ ジ メ ン ト	2	2
地域スポーツクラブの現状	ス ポ ー ツ マ ネ ジ メ ン ト	2	2
クラブマネジャーの役割	ス ポ ー ツ マ ネ ジ メ ン ト	2	2
	ス ポ ー ツ マ ー ケ テ ィ ン グ	4	2
クラブのつくり方	ス ポ ー ツ マ ネ ジ メ ン ト	2	2
	ス ポ ー ツ マ ー ケ テ ィ ン グ	4	2
クラブの運営	地 域 支 援 実 習	2	2

<申請費用>

検定料：10,000円（税別）、専門科目コース修了証明書発行料：3,000円（税別）

資格申請料（初回登録時4年間）：13,000円（以後、更新義務研修を受講）

<資格取得後の考えられる進路>

- ・総合型地域スポーツクラブマネージャー
- ・公共・民間スポーツ施設
- ・青少年・スポーツ関連団体（（公財）さっぽろ青少年女性活動協会、（一財）さっぽろ健康スポーツ財団など）
- ・市町村教育委員会（社会教育関係業務）
- ・学校教育現場（体育科教員として課外活動などの実践場面）

⑨公認エアロビック指導員受験資格

「日本体育協会公認エアロビック指導員」は、地域においてスポーツ活動を行っているグループ、サークル、スポーツ教室等で、エアロビックの基礎的な指導を行うための公的な資格である。資格取得後は指導者としてさらに資質を向上させるため、日本エアロビック連盟主催の各種セミナーや講習会等へ参加することができる。さらに、一定期間指導者としての実績を積むと、上級エアロビック指導員へのステップアップも可能である。

<資格要件>

エアロビック指導員の資格を取得するためには、本学で「日本体育協会公認指導員」共通科目Ⅰ・Ⅱの単位と下表に定められた科目（専門科目）の単位を取得した後に、日本体育協会および日本エアロビック連盟が実施する「日本体育協会公認エアロビック指導員専門科目検定試験（理論試験・実技試験）」に合格しなければならない。

協会が定める科目	本学開講科目	開講年次	単位数
種目の特性に応じた基礎理論1	生涯スポーツ（エアロビック）	1	1
種目の特性に応じた基礎理論2	生涯スポーツ指導演習（エアロビック）	2	2
実技	生涯スポーツ（エアロビック）	1	1
指導実習	生涯スポーツ指導演習（エアロビック）	2	2

<資格登録申請>

検定試験の合格者は、登録申請を行うことにより、「日本体育協会公認エアロビック指導員」の資格を取得することができる。この際、日本体育協会の定める登録料を納入しなければならない。この資格は4年間有効で、日本エアロビック連盟所定の講習会を受講することにより、登録を更新することができる。

<申請費用>

受験料：10,000円（税別）、専門科目コース修了証明書発行料：3,000円（税別）

登録料：20,000円（税別）、初回手数料：3,000円（税別）

<資格取得後の考えられる進路>

- ・公共・民間スポーツ施設

⑩公認アスレティックトレーナー受験資格

アスレティックトレーナーは、スポーツドクター及びコーチとの緊密な協力のもとに、競技者の健康管理、傷害予防、スポーツ外傷・障害の救急処置、アスレティックリハビリテーション及びトレーニング、コンディショニング等を担当する専門家である。

アスレティックトレーナーの資格取得を希望する学生は、下表に定める本学所定の単位を取得し、日本体育協会公認スポーツ指導者共通科目Ⅰ・Ⅱ・Ⅲを申請する。加えて、日本赤十字社救急法救急員資格を別に取得する必要がある。以上をもって、アスレティックトレーナー専門科目検定試験を受験することができる。

協会が定める科目	本学開講科目	開講年次	単位数
アスレティックトレーナーの役割	アスレティックトレーナー概論	1	2
スポーツ科学	トレーニング演習	1	2
	スポーツ・バイオメカニクス	2	2
	運動生理学	1	2
	メンタルトレーニング演習	3	2
運動器の解剖と機能	機能解剖学	1	2
	スポーツ解剖学	2	2
スポーツ外傷・障害の基礎知識	スポーツ整形外科学	3	2
	臨床スポーツ医学	3	2
健康管理とスポーツ医学	スポーツ内科学	3	2
	スポーツ外傷・障害の評価理論	2	2
検査・測定と評価	スポーツ外傷・障害の評価演習	2	2
	テーピング演習	2	2
予防とコンディショニング	コンディショニング理論	3	2
	コンディショニング演習	3	2
	アスレティックリハビリテーション理論	2	2
アスレティックリハビリテーション	アスレティックリハビリテーション演習Ⅰ	3	2
	アスレティックリハビリテーション演習Ⅱ	3	2
	救急処置	2	2
救急処置	救急処置	2	2
スポーツと食事	スポーツ栄養学	2	2
現場実習	アスレティックトレーニング指導実習	4	4

<申請費用>

受験料：理論試験15,000円（税別）、実技試験30,000円（税別）

専門科目コース修了証明書発行手数料：10,000円（税別）

⑪初級障がい者スポーツ指導員

地域で活動する18歳以上の指導者で、主に初めてスポーツに参加する障がい者に対し、スポーツの喜びや楽しさを重視したスポーツの導入を支援する者。また、障がいの基本内容を理解し、スポーツの導入に必要な基本的知識・技術を身につけ、実践に当たっては、健康や安全管理を重視した指導が出来る者。さらに、地域の大会や行事に参加するとともに、指導者組織の事業にも積極的に参加するなど地域の障がい者スポーツの振興を支える者。

<資格要件>

障がい者スポーツ指導員初級の資格取得を希望する学生は、学内で実施される開講科目によって協会基準カリキュラムを修了し、資格取得申請をした者を、協会会長が認定する。

協会が定める科目	本学開講科目	開講年次	単位数
障がい者福祉施策と障がい者スポーツ ボランティア論 障がい者スポーツの意義と理念 安全管理	障がい者スポーツ論	3	2
障がいの理解とスポーツ 日本障がい者スポーツ協会資格認定制度 全国障がい者スポーツ大会の概要 生涯に応じたスポーツの工夫・実施 障がい者との交流（実技）	生涯スポーツ（障がい者スポーツ）	4	1

<申請費用>

申請時に申請・認定料5,500円および登録料3,800円（参考：前年度）を納入する。

登録期間は、1年間である。

<資格取得後の考えられる進路>

- ・障がい者スポーツの指導
- ・障がい者スポーツ大会の運営役員、ボランティア
- ・障がい者スポーツセンター
- ・福祉施設の指導員
- ・特別支援学校教員として体育・スポーツの指導

⑫レクリエーション・インストラクター

レクリエーション・インストラクターとは、ニュースポーツやゲーム、音楽、芸術などの様々なレクリエーション活動を通じて、余暇時間の有効利用から地域の交流・活性化を支援する指導者のことで、日本レクリエーション協会の公認指導者資格である。

スポーツ指導者をはじめ、保育士、幼稚園教諭、小・中学校教諭、介護福祉士、職場等でレクリエーションを担当する人、地域活動（介護予防、子育て支援、子ども会活動、子どもの居場所づくり等）に関わる人が本資格を取得している。

<資格要件>

レクリエーション・インストラクターの資格は、下表に定める本学所定の単位を修得し、登録申請（登録料等が必要）をすることで取得することができる。

区分	協会が定める科目	本学開講科目	開講年次	単位数
理論	レクリエーションの基礎理論	レジャー・レクリエーション論	2	2
	レクリエーション支援論			
	レクリエーション事業論			
実技	コミュニケーション・ワーク	レクリエーション実技	2	1
	目的にあわせたレクリエーション・ワーク			
	対象にあわせたレクリエーション・ワーク 演習 1 2	野外教育実習	2	2
現場実習	現場実習	地域支援実習	2	2

<申請費用>

16,457円必要となる（公認料5,142円、登録料11,315円）。

資格の有効期限は2年間であり、2年に一度更新が必要である。更新料を支払うことで有効期限が延長される。資格更新に必要な費用は11,315円である。

<資格取得後の考えられる進路>

- ・総合型地域スポーツクラブ
- ・青少年・スポーツ関連団体（（公財）さっぽろ青少年女性活動協会、（一財）さっぽろ健康スポーツ財団など）
- ・独立行政法人国立青少年教育振興機構（国立大雪青少年交流の家、国立日高青少年自然の家など）
- ・市町村教育委員会（社会教育関係業務）
- ・地域活動を目的としたNPO
- ・学校教育現場

⑬レクリエーション・コーディネーター受験資格

レクリエーション・コーディネーターとは、生涯スポーツを中心とした様々なプログラムの提案や実践を行ないながら、地域の人材や団体をコーディネートし、市民サービス型事業の推進役として活躍する指導者のことで、レクリエーション・インストラクターの上位資格となる日本レクリエーション協会の公認指導者資格である。

<資格要件>

レクリエーション・コーディネーターの資格を取得するには、レクリエーション・インストラクターの資格が必要（同時取得も可）。下表に定める本学所定の単位を修得した後（見込みも可）、本学で実施する「学内審査筆記試験」に合格し、登録申請（登録料等が必要）を行うことでレクリエーション・コーディネーターの資格を取得することができる。

(1)所定修得科目

科目名	協会が定める科目		本学開設科目	
	学習項目	授業科目	年次	単位
レクリエーション支援の理念と方法	レクリエーションの基礎理論	レジャー・レクリエーション論	2	2
	レクリエーション活動の展開方法 ※3単位以上、「レクリエーション実技」は必修	レクリエーション実技	2	1
		野外教育実習	2	2
		雪上活動実習	2	1
活動領域および支援対象の理解	活動領域の理解 ※3単位以上、「スポーツ社会学」は必修	スポーツ社会学	4	2
		社会教育概論	3	2
	支援対象の理解 ※3単位以上、「スポーツ教育学概論」は必修	スポーツ教育学概論	1	2
		スポーツ心理学	1	2
		運動生理学	1	2
		スポーツ内科学	3	2
レクリエーション・コーディネート技術および演習	事業でのレクリエーション・インストラクション技術の活用 事業やプログラムの意図に応じたレク活動のアレンジ・創作 事業の企画と運営	スポーツマネジメント	2	2
		野外教育指導演習	3	2
現場実習		地域支援実習	2	2

(2)申請費用

29,243円（公認料 10,285円、登録料 16,458円、学内審査料 2,500円）が必要となる。

なお、インストラクターと同時に申請した場合、コーディネーターの公認料と登録料は減額され、2つの申請費用は以下のとおりとなる。

資格名	公認料	登録料	学内審査料	合計
レクリエーション・インストラクター	5,142円	11,315円	-	29,241円
レクリエーション・コーディネーター	5,142円	5,142円	2,500円	

(3)その他

登録申請後、有効期限は2年間である。以後は2年ごとの更新となり、更新にかかる費用は16,458円（登録料）である。

<資格取得後の考えられる進路>

- ・総合型地域スポーツクラブ
- ・青少年・スポーツ関連団体（（公財）さっぽろ青少年女性活動協会、（一財）さっぽろ健康スポーツ財団など）
- ・独立行政法人国立青少年教育振興機構（国立大雪青少年交流の家、国立日高青少年自然の家など）
- ・市町村教育委員会（社会教育関係業務）
- ・地域活動を目的としたNPO
- ・学校教育現場

⑭ キャンプインストラクター

キャンプインストラクター資格とは、総合的な自然体験であるキャンプの楽しさを主に野外活動を通して指導する人に与えられる公益社団法人日本キャンプ協会が認定する公的資格である。またキャンプディレクター2級資格の基礎資格となる。

<資格要件>

(公社)日本キャンプ協会キャンプインストラクター課程認定校である本学の所定科目を履修し、本学で実施する「キャンプインストラクター試験」に合格し、登録申請を行なうことによりキャンプインストラクター資格を取得することができる。

科目名	本学開講科目	開講年次	単位数
理論	野外教育論	2	2
実技・指導実習	野外教育実習	2	2
合計			4

<資格登録申請>

登録申請にあたっては、登録諸費13,000円を添えて申請する。

登録期間は1年間で、日本キャンプ協会所定の更新料等を振り込むことで更新される。

⑮ キャンプディレクター 2 級受験資格

キャンプディレクター 2 級資格は、野外活動を実践しようとする人に対して、適切なキャンプ全体の指導とプログラムの企画運営を行なうことができる指導者に与えられる公益社団法人日本キャンプ協会が認定する公的資格である。

< 資格要件 >

(公社)日本キャンプ協会キャンプディレクター 2 級課程認定校である本学の所定科目を履修し、本学で実施する「キャンプディレクター 2 級試験」に合格し、登録申請を行うことによりキャンプディレクター 2 級資格を取得することができる。

科目名	本学開講科目	開講年次	単位数
理論	野外教育論	2	2
実技・指導実習Ⅰ	野外教育実習	2	2
応用実技・指導実習Ⅱ	雪上活動実習	2	1
	野外教育指導演習	3	2
合計			7

< 資格登録申請 >

登録申請にあたって：①キャンプインストラクター資格保有者は登録諸費10,000円を添えて申請する。

②キャンプインストラクター資格を持っていない者は登録諸費20,000円を添えて申請する。

登録期間は1年間で、日本キャンプ協会所定の更新料等を振り込むことで更新される。

[生涯スポーツ学部／健康福祉学科]

①介護福祉士国家試験受験資格

北翔大学 介護福祉士養成課程履修規程

(目的)

第1条 この規程は、北翔大学学則（以下「学則」という。）第70条の規定に基づき、北翔大学（以下「本学」という。）に置く社会福祉士及び介護福祉士法（昭和62年法律第30号）に規定する介護福祉士の受験資格を得るための課程（以下「養成課程」という。）の履修に関し必要な事項を定めるものとする。

(養成課程の設置)

第2条 前条に規定する養成課程の名称は、「北翔大学介護福祉士養成課程」と称する。

2 前項の養成課程は、本学生涯スポーツ学部健康福祉学科に置く。

(位置)

第3条 前項の養成課程の位置は、北海道江別市文京台23番地とする。

(学生定員及び学級数)

第4条 養成課程の学生定員及び学級数は、次のとおりとする。

定員 1学年 30人

学級数 1学年 1学級

(教育課程)

第5条 養成課程の教育課程は、社会福祉士及び介護福祉士法並びに社会福祉士介護福祉士学校指定規則（平成20年文部科学省令・厚生労働省令第2号）の規定に基づき、介護福祉士養成課程履修科目対照表に定める次の各号に掲げる領域の区分により開講する授業科目をもって編成する。

- (1) 「人間と社会」領域
- (2) 「介護」領域
- (3) 「こころとからだのしくみ」領域
- (4) 「医療的ケア」領域

(養成課程の履修及び単位の修得方法)

第6条 生涯スポーツ学部健康福祉学科に所属し、介護福祉士養成課程を履修して介護福祉士の受験資格を得ようとする者は、前条に規定する4領域から介護福祉士養成課程履修科目対照表の定めるところにより必要な単位を修得しなければならない。

2 前項に規定する授業科目の単位の計算方法は、学則第45条の規定によるものとする。

(介護実習の履修方法等)

第7条 介護福祉士養成課程履修科目対照表に掲げる授業科目のうち介護実習Ⅰ及び介護実習Ⅱを履修する者は、各年次の定められた期日までに介護実習の履修を登録しなければならない。

2 前項の登録に基づき、介護実習Ⅰ及び介護実習Ⅱの実習施設を指定し、その結果を当該学生に通知する。

(単位の授与、他の大学等における授業科目の履修、入学前の既修得単位等の認定、試験及び成績判定の取扱)

第8条 履修した授業科目の単位の授与、他の大学等における授業科目の履修、入学前の既修得単位等の認定、試験及び成績判定の取り扱いは、学則第48条、第50条、第51条、第54条及び第55条の規定を適用するものとする。

2 前項の規定にかかわらず、介護福祉士養成課程履修科目対照表に掲げる授業科目のうち介護実習Ⅰ及び介護実習Ⅱの学則第48条第3項の適用については、同条同項中「3分の1」とあるのは、「5分の1」と読み替えて適用するものとする。

(介護福祉士受験資格の取得)

第9条 介護福祉士受験資格は、第6条第1項に規定する所定の単位を修得するほか、学則第46条第1項に規定する所定の単位を修得し、第67条及び第68条の規定により卒業の認定を受け、本学を卒業した者に与えられる。

(養成課程の実習科目の履修に係る費用の納入)

第10条 養成課程の実習科目を履修する者は、所定の期日までに北翔大学学費等納付金規程の定めるところにより所定の実習費その他必要な経費を納付しなければならない。

(雑則)

第11条 この規程に定めるもののほか、養成課程の履修に関し必要な事項は、学習支援委員会の議を経て、学長が別に定める。

(改正)

第12条 この規程の改正は、教授会の議を経て、学長が行う。

附 則

1 この規程は、平成9年4月1日から施行する。

附 則 (社会福祉士介護福祉士学校職業能力開発校等養成施設指定規則改正に伴う改正)

1 この規程は、平成12年4月1日から施行する。

2 平成12年3月31日に在学する者については、なお従前の例による。

附 則 (学則変更に伴う改正)

1 この規程は、平成13年4月1日から施行する。

2 平成13年3月31日に在学する者については、なお従前の例による。

附 則 (指定養成施設の名称の変更、学則の改正及び規程の整備に伴う改正)

1 この規程は、平成16年4月1日から施行する。

2 平成16年3月31日に在学する者については、なお従前の例による。

附 則 (校名変更及び事務局機構改正に伴う改正)

1 この規程は、平成17年4月1日から施行する。

附 則 (校名変更に伴う改正)

1 この規程は、平成19年4月1日から施行する。

附 則 (別表の改正に伴う改正)

1 この規程は、平成19年4月1日から施行する。

2 平成19年3月31日に在学する者については、なお従前の例による。

附 則 (関連する法令等の改正、介護福祉学科を地域福祉学科に名称変更すること、本学機構の改編及び教育課程の改正に伴う改正)

1 この規程は、平成21年4月1日から施行する。

2 平成21年3月31日に在籍する者については、なお従前の例による。

附 則（教育課程の変更に伴う改正）

1 この規程は、平成23年4月1日から施行する。

2 平成23年3月31日に在籍する者については、なお従前の例による。

附 則（法改正による介護福祉士受験資格取得に係る教育課程の変更に伴う改正）

1 この規程は、平成24年4月1日から施行する。

2 平成24年3月31日に在籍する者については、なお従前の例による。

附 則（生涯スポーツ学部健康福祉学科の設置及び教育課程の変更に伴う改正）

1 この規程は、平成26年4月1日から施行する。

2 平成26年3月31日に在籍する者については、なお従前の例による。

附 則（教育課程の変更に伴う改正）

1 この規程は、平成30年4月1日から施行する。

2 平成30年3月31日に在籍する者については、なお従前の例による。

介護福祉士養成課程履修科目対照表

指定規則に定める科目区分			左記に対応する本学開講授業科目等					
領域	教育内容	時間数	授業科目名	開講年次	単位数	備考		
人間と社会	人間の尊厳と自立	30以上	ソーシャルワーク概説Ⅰ	1	2			
	人間関係とコミュニケーション	30以上	ソーシャルワーク論Ⅰ	1	2			
	社会の理解	60以上	社会学	1	2			
	人間と社会に関する選択科目	-	社会保障論Ⅰ	2	2	8単位 以上 選択		
			地域福祉論Ⅰ	3	2			
			心理学概論	1	2			
			健康学	1	2			
			日本国憲法	2	2			
			北海道の文化	2	2			
			高齢社会の街づくり	3	2			
介護福祉と生活文化			3	2				
生活の中の介護福祉	1	2						
介護実践管理論	4	2						
小計	240以上	小計		16				
介護	介護の基本	180	介護概論Ⅰ	1	2			
			介護概論Ⅱ	2	2			
			高齢者福祉論Ⅰ	1	2			
			高齢者福祉論Ⅱ	2	2			
			生活学概論	2	2			
	コミュニケーション技術	60	介護技術演習Ⅰ	1	1			
			相談援助演習Ⅰ	2	2			
			生活支援技術	300	介護技術演習Ⅱ	2	2	
					介護技術演習Ⅲ	2	2	
					介護技術演習Ⅳ	3	1	
					介護技術演習Ⅴ	3	1	
					レクリエーション実技	2	1	
			食生活学	3	2			
	衣生活学	3	2					
	住生活学	3	2					
介護過程	150	介護過程Ⅰ(基礎)	2	1				
		介護過程Ⅱ(高齢者)	2	1				
		介護過程Ⅲ(身体障害者)	2	1				
		介護過程Ⅳ(知的・精神障害者、内部疾患者)	3	1				
		介護過程Ⅴ(在宅支援)	3	1				
介護総合演習	120	介護基礎演習	2	1				
		介護実習指導Ⅰ	2	1				
		介護実習指導Ⅱ	3	2				
介護実習	450	介護実習指導Ⅲ	4	1				
		介護実習Ⅰ	2	4				
介護実習Ⅱ	3	6						
小計	1,260	小計		48				
こころとからだのしくみ	発達と老化の理解	60	老年医学	2	2			
			精神保健	1	2			
	認知症の理解	60	認知症論	2	2			
			認知症ケア論	2	2			
	障害の理解	60	障害者福祉論	2	2			
			障害のある人の理解	3	2			
	こころとからだのしくみ	120	医学概論	1	2			
医学知識			1	2				
生活心理学			1	2				
高齢者心理学	2	2						
小計	300	小計		20				
医療的ケア	医療的ケア(講義)	50	医療的ケアⅠ	3	2			
			医療的ケアⅡ	3	2			
	医療的ケア(演習)	-	医療的ケア演習	4	1			
小計	50	小計		5				
合計	1,850以上	合計		89				

②社会福祉士国家試験受験資格

北翔大学 社会福祉士受験資格取得に関する履修規程

第1条 この規程は、北翔大学学則（以下「学則」という。）第71条の規定に基づき、北翔大学（以下「本学」という。）に置く社会福祉士及び介護福祉士法（昭和62年法律第30号）に規定する社会福祉士の受験資格を得るための科目の履修に関し必要な事項を定めるものとする。

第2条 本学生涯スポーツ学部健康福祉学科において、所定の科目を履修し、単位を取得した者は社会福祉士の受験資格が得られる。

第3条 社会福祉士（社会福祉士及び介護福祉士法第2条第1項）とは、その名称を用いて専門的知識及び技術をもって、身体上若しくは精神上の障害があること又は環境上の理由により日常生活を営むのに支障がある者の福祉に関する相談に応じ、助言、指導、福祉サービスを提供する者又は医師その他の保健医療サービスを提供する者その他の関係者との連絡及び調整その他の援助を行うことを業とする者をいう。

第4条 社会福祉士受験資格（社会福祉士及び介護福祉士法第7条第1号）は、大学において厚生労働大臣の指定する社会福祉に関する科目を修めて卒業した者に与えられる。本学において社会福祉士の受験資格を得ようとする者は別表1の科目・単位を修得しなければならない。

第5条 相談援助実習、相談援助実習指導Ⅰ及び相談援助実習指導Ⅱを履修する者は、学則第88条第1項及び学費等納付金規程に定める実習に要する費用を、所定の期日までに納付しなければならない。

第6条 この規程の改正は、教授会の議を経て、学長が行う。

附 則

1 この規程は、平成9年4月1日から施行する。

2 この規程は、平成10年4月1日から施行する。

附 則（社会福祉士介護福祉士学校職業能力開発校等養成施設指定規則改正及び校名変更に伴う改正）

1 この規程は、平成12年4月1日から施行する。

2 平成12年3月31日に在学する者については、なお従前の例による。

附 則（校名変更に伴う改正）

1 この規程は、平成17年4月1日から施行する。

附 則（校名変更に伴う改正）

1 この規程は、平成19年4月1日から施行する。

附 則（別表の改正に伴う改正）

1 この規程は、平成19年4月1日から施行する。

2 平成19年3月31日に在学する者については、なお従前の例による。

附 則（関係する法令等の改正、介護福祉学科を地域福祉学科に、生活福祉学科を医療福祉学科に名称変更すること、福祉心理学科のコース変更及び教育課程の改正に伴う改正）

1 この規程は、平成21年4月1日から施行する。

2 平成21年3月31日に在籍する者については、なお従前の例による。

3 平成20年度以前の教育課程の科目を修得することにより社会福祉士の受験資格を得ようとする者が、平成21年度の教育課程の科目を修得する場合は、別表2により修得しなければならない。

4 平成21年度及び22年度入学の編入学生が社会福祉士の受験資格を得るために平成21年度の教育課程の科目を修得する場合は別表2により修得しなければならない。

附 則（生涯スポーツ学部健康福祉学科の設置及び教育課程の変更に伴う改正）

1 この規程は、平成26年4月1日から施行する。

2 平成26年3月31日に在籍する者については、なお従前の例による。

別表1 社会福祉士受験資格に関する科目一覧表

法定基準 法定科目	本学基準			備考
	授業科目	開講年次	単位数	
人体の構造と機能及び疾病	医学概論	1	2	
心理学理論と心理的支援	心理学概論	1	2	
社会理論と社会システム	社会学	1	2	
現代社会と福祉	現代社会と福祉Ⅰ	4	2	
	現代社会と福祉Ⅱ	4	2	
社会調査の基礎	社会福祉調査論	2	2	
相談援助の基盤と専門職	ソーシャルワーク概説Ⅰ	1	2	
	ソーシャルワーク概説Ⅱ	1	2	
相談援助の理論と方法	ソーシャルワーク論Ⅰ	1	2	
	ソーシャルワーク論Ⅱ	2	2	
	ソーシャルワーク論Ⅲ	2	2	
	ソーシャルワーク論Ⅳ	3	2	
地域福祉の理論と方法	地域福祉論Ⅰ	3	2	
	地域福祉論Ⅱ	3	2	
福祉行財政と福祉計画	社会福祉行政・福祉計画論	4	2	
福祉サービスの組織と経営	社会福祉運営管理論	3	2	
社会保障	社会保障論Ⅰ	2	2	
	社会保障論Ⅱ	2	2	
高齢者に対する支援と介護保険制度	高齢者福祉論Ⅰ	1	2	
	高齢者福祉論Ⅱ	2	2	
障害者に対する支援と障害者自立支援制度	障害者福祉論	2	2	
児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度	児童・家庭福祉論	1	2	
低所得者に対する支援と生活保護制度	公的扶助論	2	2	
保健医療サービス	医療福祉論	3	2	
就労支援サービス	就労支援論	3	1	
権利擁護と成年後見制度	権利擁護と成年後見制度	3	2	
更生保護制度	司法福祉論	3	1	
	相談援助演習Ⅰ	2	2	
相談援助演習	相談援助演習Ⅱ	2	2	
	相談援助演習Ⅲ	3*	2	
	相談援助演習Ⅳ	3*	2	
	相談援助演習Ⅴ	3*	2	
	相談援助実習指導Ⅰ	2*	2	
相談援助実習指導	相談援助実習指導Ⅱ	3*	4	
	相談援助実習	3*	6	
合計			74	

*介護福祉士養成課程在籍者は、相談援助実習指導Ⅰを3年次、相談援助演習Ⅲ、相談援助演習Ⅳ、相談援助演習Ⅴ、相談援助実習指導Ⅱ、相談援助実習を4年次で履修する。

③社会福祉主事（任用資格）

社会福祉主事とは、福祉事務所現業員として任用される者に要求される資格（任用資格）であり、民間社会福祉施設職員等の資格にも準用されている。

社会福祉主事任用資格の必要な職種は以下のとおりである。

行政	福祉事務所	現業員、査察指導員、家庭児童福祉主事 [児童福祉事業従事2年以上等]、 家庭相談員 [児童福祉事業従事2年以上等]、母子相談員、老人福祉指導主事
	各種相談所	身体障害者福祉司 [身体障害者福祉事業従事2年以上等] ※ 知的障害者福祉司 [知的障害者福祉事業従事2年以上等] ※
		児童福祉司 [児童福祉事業従事2年以上等] ※
民間社会福祉施設	施設長、生活指導員 等	

[] 内は、社会福祉主事任用資格に加えて必要な要件

※ 社会福祉主事任用資格取得以外にも資格を得られる方法がある

<取得方法>社会福祉法第19条

社会福祉主事任用資格の取得方法は複数ある。健康福祉学科の場合は、国家資格である社会福祉士を取得するか、大学において社会福祉に関する科目（厚生労働大臣の指定する社会福祉に関する科目）を3科目以上修めて卒業するか、のいずれかになる。

※厚生労働大臣の指定する社会福祉に関する科目

社会福祉概論、社会保障論、社会福祉行政論、公的扶助論、身体障害者福祉論、老人福祉論、児童福祉論、家庭福祉論、知的障害者福祉論、精神障害者保健福祉論、社会学、心理学、社会福祉施設経営論、社会福祉援助技術論、社会福祉事業史、地域福祉論、保育理論、社会福祉調査論、医学一般、看護学、公衆衛生学、栄養学、家政学、倫理学、教育学、経済学、経済政策、社会政策、法学、民法、行政法、医療社会事業論、リハビリテーション論、介護概論

上記指定科目と本学科における開講科目との対応表は、表1の通りである。

表1 厚生労働大臣の指定する社会福祉に関する科目と本学科おける開講科目との対応表*

厚生労働大臣指定科目	本学科の開講科目
社会福祉概論	現代社会と福祉Ⅰ 及び 現代社会と福祉Ⅱ
社会保障論	社会保障論Ⅰ 及び 社会保障論Ⅱ
社会福祉行政論	社会福祉行政・福祉計画論
公的扶助論	公的扶助論
身体障害者福祉論	
老人福祉論	高齢者福祉論Ⅰ 及び 高齢者福祉論Ⅱ
児童福祉論	児童・家庭福祉論
家庭福祉論	
知的障害者福祉論	
精神障害者保健福祉論	
社会学	社会学
心理学	心理学概論
社会福祉施設経営論	
社会福祉援助技術論	ソーシャルワーク概説Ⅰ 及び ソーシャルワーク概説Ⅱ
社会福祉事業史	
地域福祉論	地域福祉論Ⅰ 及び 地域福祉論Ⅱ
保育理論	
社会福祉調査論	社会福祉調査論
医学一般	医学概論
看護学	
公衆衛生学	
栄養学	
家政学	
倫理学	
教育学	
経済学	
経済政策	
社会政策	
法学	
民法	
行政法	
医療社会事業論	医療福祉論
リハビリテーション論	リハビリテーション論
介護概論	介護概論Ⅰ** 及び 介護概論Ⅱ**

※ 厚生労働省社会・援護局長通知（社援発第0328第3号 平成25年3月28日）「社会福祉法第19条第1項第1号に基づく厚生労働大臣の指定する社会福祉に関する科目の読み替えの範囲等の一部改正について」をもとに作成

※※ 介護福祉士養成課程にのみ開講

④社会教育主事（任用資格）

1. 本学に社会教育主事資格取得に関する授業科目が開講され、定められた科目を履修することにより国家資格の社会教育主事（任用資格）を取得することができる。
2. 社会教育主事は、都道府県や市町村の教育委員会事務局の職員として生涯学習やスポーツ、レクリエーション指導を行う関係者に専門的・技術的な助言や指導を行う職種である。

<資格要件> 社会教育法第9条4の3

この資格は、「大学に2年以上在学し、62単位以上を修得し、かつ、大学において文部科学省令で定める社会教育に関する科目の単位を修得した者」で、1年以上社会教育主事補（地方自治体が任命する社会教育担当職員で社会教育主事を助ける職種）の職にあった者に与えられる。

法令に定める区分	法令単位	授業科目	開講年次	単位数	備考
生涯学習概論	4	生涯学習論	1	2	必修6科目 12単位 履修のこと
		生涯学習展開論	3	2	
社会教育計画	4	社会教育概論	3	2	
		社会教育計画	4	2	
社会教育演習、社会教育実習又は社会教育課題研究のうち一以上の科目	4	社会教育課題研究	4	2	
		社会教育課題演習	4	2	
社会教育特講Ⅰ （現代社会と社会教育）	12	リカレント教育論	4	2	2科目4単位 以上 履修のこと
		社会学	1	2	
		情報機器操作Ⅰ	1	2	
社会教育特講Ⅱ （社会教育活動・事業・施設）	12	社会教育施設論	4	2	2科目4単位 以上 履修のこと
		食生活と健康	1	2	
		高齢社会の街づくり	3	2	
社会教育特講Ⅲ （その他必要な科目）	12	青少年学習コーチング論	3	2	2科目4単位 以上 履修のこと
		人間関係の心理学	1	2	
		地域支援実習	2	2	
計	24単位以上				合計24単位以上

⑤身体障害者福祉司（任用資格）

身体障害者福祉司は、身体障害者更生相談所や福祉事務所などの公的機関で働く専門職（公務員）である。身体障害者の福祉に関して福祉事務所に技術指導を行い、身体障害者の相談・調査・更生援護の要否や種類の判断、本人への指導等の業務のうち、専門的技術が必要な仕事を行う。

任用する場合にいくつかの要件があり、本学科学生の場合は、以下の要件に該当する。

- ①社会福祉士の資格を有している者
- ②社会福祉主事として、身体障害者の更生援護その他の福祉に関する事業に2年以上従事した者

⑥知的障害者福祉司（任用資格）

知的障害者福祉司は 知的障害者更生相談所や福祉事務所などの公的機関で働く専門職（公務員）である。知的障害者の福祉に関して福祉事務所に技術指導を行い、知的障害者の相談・調査・更生援護の要否や種類の判断、本人への指導等の業務のうち、専門的技術が必要な仕事を行う。

任用する場合にいくつかの要件があり、本学科学生の場合は、以下の要件に該当する。

- ①社会福祉士の資格を有している者
- ②社会福祉主事として、知的障害者の更生援護その他の福祉に関する事業に2年以上従事した者

⑦児童福祉司（任用資格）

児童相談所に置かれる専門職（公務員）で、児童相談所長の指示により、児童の保護その他児童の福祉に関する事項について、相談に応じ、専門的技術に基づいて必要な指導を行なう。

任用する場合にいくつかの要件があり、本学科学生の場合は、以下の要件に該当する。

- ①社会福祉士の資格を有している者
- ②社会福祉主事として、児童福祉事業に2年以上従事した者
- ③大学において、心理学、教育学もしくは社会学を専修する学科又はこれらに相当する課程を修めて卒業した者であって、厚生労働省令で定める施設において1年以上児童その他の者の福祉に関する相談に応じ、助言、指導その他の援助を行う者

⑧児童指導員（任用資格）

児童福祉施設の設備及び運営に関する基準（厚生省令第63号）に基づき、児童養護施設、福祉型障害児入所施設、医療型障害児入所施設、福祉型児童発達支援センター、医療型児童発達支援センター、情緒障害児短期治療施設などに置かれる専門職である。

児童指導員の資格要件としては幾つかあるが、本学科学生の場合は、以下の要件に該当する。

- ①社会福祉士の資格を有する者
- ②学校教育法の規定による大学の学部で、社会福祉学、心理学、教育学もしくは社会学を専修する学科又はこれらに相当する課程を修めて卒業した者

⑨健康運動実践指導者受験資格

健康運動実践指導者は、医学的基礎知識、運動生理学の知識、健康づくりのための運動指導の知識・技能を持ち、健康づくりを目的として作成された運動プログラムに基づいて、実践指導を行うインストラクターである。

<資格要件>

健康運動実践指導者資格取得を希望する学生は、下表に定める所定の単位を修得することによって、健康・体力づくり事業財団が実施する資格認定試験を受験することができる。

財団が定める科目	本学開講科目	開講年次	単位数
健康づくり施策概論	健康学	1	2
	生活習慣病概論	2	2
運動生理学	健康運動実践論	1	2
機能解剖とバイオメカニクス	健康運動実践論	1	2
栄養摂取と運動	栄養と健康	1	2
健康づくりと運動プログラム	運動処方	3	2
	トレーニング論	1	2
運動指導の心理学的基礎	健康学	1	2
運動障害と予防・救急処置	スポーツ整形外科学	3	2
	救急処置	2	2
健康づくり運動の実際	生涯スポーツ指導演習（水泳・水中運動）	3	2
	生涯スポーツ（エアロビック）	1	1
	生涯スポーツ指導演習（エアロビック）	2	2
	生涯スポーツ（陸上競技）	1	1
	生涯スポーツ（ニュースポーツ）	2	1
	トレーニング演習	1	2
体力の測定と評価	体力測定評価	2	2
	体力測定評価演習	3	2

<資格認定試験の受験>

所定の単位を取得した学生は、3年次において資格認定試験を受験することができる（受験料25,713円（税込））。資格認定試験は、指導実技試験と筆記試験の両方に合格する必要がある。

<資格登録申請>

資格認定試験に合格した場合、登録申請を行うことで、健康運動実践指導者の資格を取得することができる（登録料21,600円（税込））。

<登録費用>

登録は5年間有効で、所定の講習を受講することにより、更新することができる（登録更新料21,600円（税込））。

<資格取得後の考えられる進路> ※（ ）内は実績

- ・病院（溪仁会円山クリニック、北海道循環器病院）
- ・健康増進センター（札幌市中央健康づくりセンター）
- ・保健センター
- ・フィットネスクラブ（宮の森スポーツ、KONAMIスポーツ）

⑩公認スポーツ指導者 共通科目Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ

公認スポーツ指導者共通科目Ⅰ・Ⅱ・Ⅲは、地域スポーツクラブ、学校、商業スポーツ施設等において、スポーツリーダー、各スポーツ競技別専門の指導者（指導員、コーチ、教師）、アシスタントマネージャー、アスレティックトレーナー等、主に日本体育協会公認スポーツ指導者資格取得に必要な共通科目である。

<資格要件>

公認スポーツ指導者共通科目Ⅰ・Ⅱ・Ⅲまたは共通科目Ⅰ・Ⅱの申請を希望する学生は、下表に定める本学所定の単位を取得し、卒業時のみ申請が可能である。

<所定修得科目>

一般科目

	協会が定める科目	本学開講科目	開講年次	単位数
共通Ⅰ	文化としてのスポーツ指導者の役割Ⅰ	生涯スポーツ学 コーチ学	1	2
	トレーニング論Ⅰ	体力測定評価	2	2
		トレーニング論	1	2
	スポーツ指導者に必要な医学的知識Ⅰ	生涯スポーツ学	1	2
		スポーツ医学基礎	2	2
	スポーツと栄養	栄養と健康	1	2
	指導計画と安全管理	コーチ学	1	2
	ジュニア期のスポーツ	ジュニアスポーツ論	3	2
地域におけるスポーツ振興	スポーツマネジメント	2	2	
共通Ⅱ	社会の中のスポーツ	スポーツ社会学	4	2
	スポーツと法	スポーツマネジメント	2	2
	スポーツの心理Ⅰ	スポーツ心理学	1	2
	スポーツ組織の運営と事業	スポーツマネジメント	2	2
	対象に合わせたスポーツ指導	生涯スポーツ学	1	2
共通Ⅲ	指導者の役割Ⅱ	コーチ学	1	2
	アスリートの栄養・食事	栄養と健康	1	2
	スポーツの心理Ⅱ	スポーツ心理学	1	2
	身体のしくみと働き	基礎解剖学	1	2
		生理学	1	2
	トレーニング論Ⅱ	体力測定評価演習	3	2
		トレーニング論	1	2
	競技者育成のための指導法	コーチ学	1	2
スポーツ指導者に必要な医学的知識Ⅱ	スポーツ医学基礎	2	2	

共通科目Ⅰ・Ⅱ：①取得単位の確認はない（卒業）。

②修了証明書は申請した学生に発行する。

（修了証明書と併せてスポーツリーダーとして認定される。）

③修了証明書発行料として6,000円（税別）が必要となる。

共通科目Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ：①取得単位の確認がある。

②修了証明書は申請した学生に発行する。

（修了証明書と併せてスポーツリーダーとして認定される。）

③修了証明書発行料として10,000円（税別）が必要となる。

⑪ジュニアスポーツ指導員受験資格

ジュニアスポーツ指導員とは、地域スポーツクラブ等において、幼・少年期の子どもたちに遊びを通した身体づくり、動きづくりの指導を行う人材である。

<資格要件>

本学で「日本体育協会公認スポーツ指導員」の共通科目Ⅰ・Ⅱの単位と下表に定められた科目（専門科目）の単位を取得した後、日本体育協会が主催する検定試験に合格しなければならない。
受験料：10,000円（税別）

協会が定める科目		本学開講科目	開講年次	単位数
基礎	ジュニア期のスポーツの考え方	ジュニアスポーツ論	3	2
	ジュニアスポーツ指導員の役割	ジュニアスポーツ論	3	2
	子どもの発達とコミュニケーションスキル	ジュニアスポーツ論	3	2
乳幼児期	動きの発達とスキルの獲得（基本的動作の習得） 運動あそび・ゲームの実際	ジュニアスポーツ論	3	2
		生涯スポーツ（ニュースポーツ）	2	1
		生涯スポーツ（陸上競技）	1	1
		生涯スポーツ（バスケットボール）	1	1
児童前期	動きの発達とスキルの獲得（動作の習熟） 運動あそび・ゲームの実際	生涯スポーツ（器械運動）	1	1
		生涯スポーツ指導演習（水泳・水中運動）	3	2
児童後期	動きの発達とスキルの獲得（スポーツスキルの上達） スポーツスキル獲得の実際			
青年前期	動きの発達とスキルの獲得（より専門性の高いスポーツスキルの習得） スポーツスキル獲得の実際			
指導実習	指導実習	就業力特別演習Ⅲ	4	1

<申請費用>

専門科目コース修了証明書発行料：3,000円（税別）

資格登録料は、初回登録時4年間13,000円（以後、更新義務研修を受講）である。

<資格取得後の考えられる進路>

- ・幼児スポーツ指導員（幼児活動研究会など）

⑫公認アシスタントマネジャー受験資格

アシスタントマネジャーとは、総合型地域スポーツクラブなどの運営に必要なマネジメントの基礎知識を有する人材で、総合型の地域スポーツクラブなどにおいて、クラブ員が充実したクラブライフを送ることができるよう、クラブマネジャーを補佐し、クラブ運営のために諸活動をサポートする。

<資格要件>

アシスタントマネジャー資格を取得するためには、日本体育協会公認スポーツ指導者共通科目Ⅰ・Ⅱを取得し、次表に定める本学所定の単位を取得した後、日本体育協会が主催する検定試験に合格しなければならない。そして、卒業時に所定の申請手続きを完了した者が認定される。

協会が定める科目	本学開講科目	開講年次	単位数
地域スポーツクラブとは	スポーツマネジメント	2	2
地域スポーツクラブの現状	スポーツマネジメント	2	2
クラブマネジャーの役割	スポーツマネジメント	2	2
	レクリエーションマネジメント	3	2
クラブの作り方	スポーツマネジメント	2	2
	レクリエーションマネジメント	3	2
クラブの運営	地域支援実習	2	2

<申請費用>

検定料：10,000円（税別）、専門科目コース修了証明書発行料：3,000円（税別）

資格申請料（初回登録時4年間）：13,000円（以後、更新義務研修を受講）

<資格取得後の考えられる進路>

- ・総合型地域スポーツクラブマネージャー
- ・公共・民間スポーツ施設
- ・青少年・スポーツ関連団体（（公財）さっぽろ青少年女性活動協会、（一財）さっぽろ健康スポーツ財団など）
- ・市町村教育委員会（社会教育関係業務）
- ・学校教育現場（体育科教員として課外活動などの実践場面）

⑬公認エアロビック指導員受験資格

「日本体育協会公認エアロビック指導員」は、地域においてスポーツ活動を行っているグループ、サークル、スポーツ教室等で、エアロビックの基礎的な指導を行うための公的な資格である。資格取得後は指導者としてさらに資質を向上させるため、日本エアロビック連盟主催の各種セミナーや講習会等へ参加することができる。さらに、一定期間指導者としての実績を積むと、上級エアロビック指導員へのステップアップも可能である。

<資格要件>

エアロビック指導員の資格を取得するためには、本学で「日本体育協会公認指導員」共通科目Ⅰ・Ⅱの単位と下表に定められた科目（専門科目）の単位を取得した後に、日本体育協会および日本エアロビック連盟が実施する「日本体育協会公認エアロビック指導員専門科目検定試験（理論試験・実技試験）」に合格しなければならない。

協会が定める科目	本学開講科目	開講年次	単位数
種目の特性に応じた基礎理論 1	生涯スポーツ（エアロビック）	1	1
種目の特性に応じた基礎理論 2	生涯スポーツ指導演習（エアロビック）	2	2
実 技	生涯スポーツ（エアロビック）	1	1
指 導 実 習	生涯スポーツ指導演習（エアロビック）	2	2

<資格登録申請>

検定試験の合格者は、登録申請を行うことにより、「日本体育協会公認エアロビック指導員」の資格を取得することができる。この際、日本体育協会の定める登録料を納入しなければならない。この資格は4年間有効で、日本エアロビック連盟所定の講習会を受講することにより、登録を更新することができる。

<申請費用>

受験料：10,000円（税別）、専門科目コース修了証明書発行料：3,000円（税別）

登録料：20,000円（税別）、初回手数料：3,000円（税別）

<資格取得後の考えられる進路>

- ・ 公共・民間スポーツ施設

⑭初級障がい者スポーツ指導員

地域で活動する18歳以上の指導者で、主に初めてスポーツに参加する障がい者に対し、スポーツの喜びや楽しさを重視したスポーツの導入を支援する者。また、障がいの基本内容を理解し、スポーツの導入に必要な基本的知識・技術を身につけ、実践に当たっては、健康や安全管理を重視した指導が出来る者。さらに、地域の大会や行事に参加するとともに、指導者組織の事業にも積極的に参加するなど地域の障がい者スポーツの振興を支える者。

<資格要件>

障がい者スポーツ指導員初級の資格取得を希望する学生は、学内で実施される開講科目によって協会基準カリキュラムを修了し、資格取得申請をした者を、協会会長が認定する。

協会が定める科目	本学開講科目	開講年次	単位数
障がい者福祉施策と障がい者スポーツ ボランティア論	障がい者スポーツ論	3	2
障がい者スポーツの意義と理念			
安全管理			
障がいの理解とスポーツ			
日本障がい者スポーツ協会資格認定制度			
全国障がい者スポーツ大会の概要			
生涯に応じたスポーツの工夫・実施 障がい者との交流（実技）	生涯スポーツ（障がい者スポーツ）	4	1

<申請費用>

申請時に申請・認定料5,500円および登録料3,800円（参考：前年度）を納入する。

登録期間は、1年間である。

<資格取得後の考えられる進路>

- ・障がい者スポーツの指導
- ・障がい者スポーツ大会の運営役員、ボランティア
- ・障がい者スポーツセンター
- ・福祉施設の指導員
- ・特別支援学校教員として体育・スポーツの指導

⑮レクリエーション・インストラクター

レクリエーション・インストラクターとは、ニュースポーツやゲーム、音楽、芸術などの様々なレクリエーション活動を通じて、余暇時間の有効利用から地域の交流・活性化を支援する指導者のことで、日本レクリエーション協会の公認指導者資格である。

スポーツ指導者をはじめ、保育士、幼稚園教諭、小・中学校教諭、介護福祉士、職場等でレクリエーションを担当する人、地域活動（介護予防、子育て支援、子ども会活動、子どもの居場所づくり等）に関わる人が本資格を取得している。

<資格要件>

レクリエーション・インストラクターの資格は、下表に定める本学所定の単位を修得し、登録申請（登録料等が必要）をすることで取得することができる。

区分	協会が定める科目	本学開講科目	開講年次	単位数
理論	レクリエーションの基礎理論 レクリエーション支援論 レクリエーション事業論	レジャー・レクリエーション論	1	2
実技	コミュニケーション・ワーク 目的にあわせたレクリエーション・ワーク	レクリエーション実技	2	1
	対象にあわせたレクリエーション・ワーク 演習 1・2	生涯スポーツ（ニュースポーツ）	2	1
現場実習	現場実習	地域支援実習	2	2

<申請費用>

16,457円必要となる（公認料5,142円、登録料11,315円）。

資格の有効期限は2年間であり、2年に一度更新が必要である。更新料を支払うことで有効期限が延長される。資格更新に必要な費用は11,315円である。

<資格取得後の考えられる進路>

- ・総合型地域スポーツクラブ
- ・青少年・スポーツ関連団体（（公財）さっぽろ青少年女性活動協会、（一財）さっぽろ健康スポーツ財団など）
- ・独立行政法人国立青少年教育振興機構（国立大雪青少年交流の家、国立日高青少年自然の家など）
- ・市町村教育委員会（社会教育関係業務）
- ・地域活動を目的としたNPO
- ・学校教育関連

[教育文化学部／教育学科]

①保育士

北翔大学 保育士養成課程履修規程

(目的)

第1条 この規程は、北翔大学学則（以下「学則」という。）第72条の2第2項の規定に基づき、北翔大学（以下「本学」という。）に置く児童福祉法（昭和22年法律第164号）に規定する保育士の資格を得させるための課程（以下「養成課程」という。）の履修に関し必要な事項を定めるものとする。

(養成課程の設置)

第2条 前条に規定する養成課程の名称は、「北翔大学保育士養成課程」と称する。

2 前項の養成課程は、本学教育文化学部教育学科幼児教育コースとする。

(位置)

第3条 前条の養成課程の位置は、北海道江別市文京台23番地とする。

(学生定員及び学級数)

第4条 養成課程の学生定員及び学級数は、次のとおりとする。

- (1) 学生定員 50人
- (2) 総定員 200人
- (3) 学級数 1学年 1学級

(養成課程の履修資格)

第5条 教育学科に所属し、保育士の資格を得ようとする学生で、養成課程を履修することができる者は、原則として、次の各号に該当すると認めたとする。

- (1) 学力が優良で、出席が常である者
- (2) 学則第66条に規定する本学の卒業要件を満たす見込みがある者

(教育課程)

第6条 養成課程の教育課程は、児童福祉法施行規則（昭和23年厚生省令第11号）の規定に基づき、厚生労働大臣の定める告示（平成22年7月13日厚生労働省告示第278号をいう。以下「告示」という。）に定める次の各号に掲げる科目の区分により開講する授業科目をもって編成する。

(1) 必修科目

- イ 保育の本質・目的に関する科目
- ロ 保育の対象の理解に関する科目
- ハ 保育の内容・方法に関する科目
- ニ 保育の表現技術
- ホ 保育実習
- ヘ 総合演習

(2) 選択必修科目

- イ 保育の本質・目的に関する科目
- ロ 保育の対象の理解に関する科目

- ハ 保育の内容・方法に関する科目
- ニ 保育の表現技術
- ホ 保育実習

(3) 教養科目

2 前項各号に規定する授業科目の名称及び単位数は、保育士養成課程履修科目対照表に定める別表第1「必修科目」、別表第2「選択必修科目」及び別表第3「教養科目」のとおりとする。

(養成課程の履修及び単位の修得方法)

第7条 保育士の資格を得ようとする者は、別表第1に掲げる授業科目60単位、別表第2に掲げる授業科目から同表の定めるところにより9単位以上及び別表第3に掲げる授業科目から同表の定めるところにより8単位以上を修得しなければならない。

2 前項に規定する授業科目の単位の計算方法は、学則第45条の規定によるものとする。

(養成課程の履修登録及び取消)

第8条 養成課程を履修しようとする学生は、各学期の始めの所定の期日までに、保育士養成課程の履修を登録しなければならない。

2 前項の登録をしていない学生は、養成課程を履修することができない。

3 養成課程を履修している学生が、養成課程の履修を中止しようとするときは、各学期の始めの所定の期日までに保育士養成課程の履修を取消さなければならない。

(履修科目の登録)

第9条 養成課程を履修し、第6条に規定する養成課程の授業科目を履修するときは、履修しようとする授業科目を登録しなければならない。

2 前項の履修登録及び授業科目の履修は、学則第47条の規定によるものとする。

(保育実習の履修資格)

第10条 養成課程を履修する学生で、保育実習Ⅰを履修することができる者は、原則として、当該実習を開始する前に、第7条第1項に定める別表第1に掲げる授業科目のうち、次に掲げる授業科目を履修している者とする。

(1) 保育原理 2単位

(2) 保育実習指導Ⅰ 2単位

(3) 保育内容総論 2単位

(保育実習の履修方法等)

第11条 別表第1及び別表第2に掲げる授業科目のうち保育実習Ⅰ、保育実習Ⅱ及び保育実習Ⅲを履修する者は、各年次の所定の期日までに「保育実習履修願」を教職センターに提出しなければならない。

2 前項の願出に基づき、保育実習Ⅰ、保育実習Ⅱ及び保育実習Ⅲの実習施設を指定し、その結果を当該学生に通知する。

(保育実習の履修の取消又は停止)

第12条 保育実習の履修は、本人の性行不良、学力劣等その他の事由により保育士として適格性を欠くと認められる場合は、これを取り消し又は停止することができるものとする。

(単位の授与、他の大学等における授業科目の履修、入学前の既修得単位等の認定、試験及び成績判定の取扱)

第13条 履修した授業科目の単位の授与、他の大学等における授業科目の履修、入学前の既修得単位

等の認定、試験及び成績判定の取り扱いは、学則第48条、第50条、第51条、第54条及び第55条の規定を適用するものとする。ただし、別表第1及び別表第2に掲げる授業科目の第50条及び第51条の規定の適用については、当該他の大学又は短期大学が指定保育士養成施設の場合に限るものとする。

(保育士資格の取得及び保育士登録)

第14条 保育士となる資格は、第7条第1項に規定する所定の単位を修得するほか、学則第46条第3項に規定する所定の単位を修得し、第67条の規定により卒業の認定を受け、本学を卒業した者に与えられる。

2 前項の保育士となる資格を有する者が保育士となるには、児童福祉法第18条の18に規定する所定の登録を受けなければならない。

(養成課程の履修に係る費用の納付)

第15条 養成課程を履修しようとする者及び履修している者は、第8条に規定する保育士養成課程の履修登録を行い、第9条に規定する履修科目の登録の際に、北翔大学学費等納付金規程の定めるところにより所定の保育士養成課程履修費を納付しなければならない。

(雑則)

第16条 この規程に定めるもののほか、養成課程の履修に関し必要な事項は、別に定める。

(改正)

第17条 この規程の改正は、教授会の議を経て、学長が行う。

附 則

この規程は、平成26年4月1日から施行する。

別表第1 「必修科目」

系列	告示別表第1による教科目				左記に対応する本学開設授業科目等				
	教科目	授業形態	単位数	授業科目名	授業形態	単位数		備考	
						必修	選択		
保育の本質・目的に関する科目	保育原理	講義	2	保育原理	講義	2			
	教育原理	講義	2	教育原理(幼・小)	講義	2			
	児童家庭福祉	講義	2	児童家庭福祉	講義	2			
	社会福祉	講義	2	社会福祉	講義	2			
	相談援助	演習	1	相談援助	演習	2			
	社会的養護	講義	2	社会的養護	講義	2			
保育の対象の理解に関する科目	保育者論	講義	2	保育者論	講義	2			
	保育の心理学Ⅰ	講義	2	保育の心理学Ⅰ	講義	2			
	保育の心理学Ⅱ	演習	1	保育の心理学Ⅱ	演習	1			
	子どもの保健Ⅰ	講義	4	こどもの保健Ⅰa	講義	2			
				こどもの保健Ⅰb	講義	2			
	子どもの保健Ⅱ	演習	1	こどもの保健Ⅱ	演習	1			
保育の内容・方法に関する科目	子どもの食と栄養	演習	2	こどもの食と栄養	演習	2			
	家庭支援論	講義	2	家庭支援論	講義	2			
	保育課程論	講義	2	保育課程論	講義	2			
	保育内容総論	演習	1	保育内容総論	演習	2			
	保育内容演習	演習	5	保育内容(健康)	演習	2			
				保育内容(人間関係)	演習	2			
				保育内容(環境)	演習	2			
				保育内容(言葉)	演習	2			
				保育内容(表現)	演習	2			
	乳児保育	演習	2	乳児保育	演習	2			
障害児保育	演習	2	障害児保育	演習	2				
社会的養護内容	演習	1	社会的養護内容	演習	1				
保育相談支援	演習	1	保育相談支援	演習	1				
保育の表現技術	保育の表現技術	演習	4	こどもの表現あそび	演習	2			
				こどもの体育あそび	演習	2			
				こどもの言葉あそび	演習	2			
保育実習	保育実習Ⅰ	実習	4	保育実習Ⅰ	実習	4			
	保育実習指導Ⅰ	演習	2	保育実習指導Ⅰ	演習	2			
総合演出	保育実践演習	演習	2	保育実践演習	演習	2			
合計			51単位	必要修得単位数 合計			60単位		

別表第2 「選択必修科目」

告示別表第2による教科目				左記に対応する本学開設授業科目等				
系列	教科目	授業形態	単位数	授業科目名	授業形態	単位数		備考
						必修	選択	
保育の本質・目的に関する科目	各指定保育士養成施設において設定		15 単 位 以 上	保育内容指導論	演習	2		
保育の対象の理解に関する科目				こども理解	講義	2		
保育の内容・方法に関する科目				幼稚園教育研究Ⅱ	講義		2	
保育の表現技術				保育内容指導（健康）	演習		2	
				保育内容指導（人間関係）	演習		2	
				保育内容指導（環境）	演習		2	
				保育内容指導（言葉）	演習		2	
保育実習				保育実習Ⅱ又は保育実習Ⅲ	実習	2	保育実習Ⅱ	実習
	保育実習Ⅲ	実習					2	
	保育実習指導Ⅱ又は保育実習指導Ⅲ	演習	1	保育実習指導Ⅱ	演習		1	1単位以上 選択必修
				保育実習指導Ⅲ	演習		1	
合計			18単位以上	必要修得単位数 合計		9単位以上		

別表第3 「教養科目」

告示による教科目				左記に対応する本学開設授業科目等				
系列	教科目	授業形態	単位数	授業科目名	授業形態	単位数		備考
						必修	選択	
教養科目	外国語、 体育以外の 科目	不問	6 以 上	日本国憲法	講義		2	
				情報機器操作Ⅰ	演習	2		
				生涯学習論	講義		2	
	外国語	演習	2	英語コミュニケーションⅠ	演習	2		
	体育	講義 実技	1 1	健康体育（実技を含む）	講義・ 実技	2		
合計			10単位以上	必要修得単位数 合計		8単位以上		
総計			79単位以上	必要修得単位数 総計		77単位以上		

備考：1) 別表第1から別表第3までに掲げる授業科目から、必修科目及び選択必修科目を履修して修得する単位を含め、所要の授業科目を履修して77単位以上を修得すること。

②社会教育主事（任用資格）

1. 本学に社会教育主事資格取得に関する授業科目が開講され、定められた科目を履修することにより国家資格の社会教育主事（任用資格）を取得することができる。
2. 社会教育主事は、都道府県や市町村の教育委員会事務局の職員として生涯学習やスポーツ、レクリエーション指導を行う関係者に専門的・技術的な助言や指導を行う職種である。

<資格要件> 社会教育法第9条4の3

この資格は、「大学に2年以上在学し、62単位以上を修得し、かつ、大学において文部科学省令で定める社会教育に関する科目の単位を修得した者」で、1年以上社会教育主事補（地方自治体が任命する社会教育担当職員で社会教育主事を助ける職種）の職にあった者に与えられる。

法令に定める区分	法令単位	授業科目	開講年次	単位数	備考
生涯学習概論	4	生涯学習論	2	2	必修6科目 12単位 履修のこと
		生涯学習展開論	2	2	
社会教育計画	4	社会教育概論	3	2	
		社会教育計画	4	2	
社会教育演習、社会教育実習又は社会教育課題研究のうち一以上の科目	4	社会教育課題研究	4	2	
		社会教育課題演習	4	2	
社会教育特講Ⅰ (現代社会と社会教育)	12	リカレント教育論	4	2	2科目4単位 以上 履修のこと
		社会学	1	2	
		情報機器操作Ⅰ	1	2	
社会教育特講Ⅱ (社会教育活動・事業・施設)	12	社会教育施設論	4	2	2科目4単位 以上 履修のこと
		食生活と健康	1	2	
		高齢社会の街づくり	3	2	
社会教育特講Ⅲ (その他必要な科目)	12	青少年学習コーチング論	3	2	2科目4単位 履修のこと
		人間関係の心理学	1	2	
計	24単位以上				合計24単位以上

[教育文化学部／芸術学科]

①社会教育主事（任用資格）

1. 本学に社会教育主事資格取得に関する授業科目が開講され、定められた科目を履修することにより国家資格の社会教育主事（任用資格）を取得することができる。
2. 社会教育主事は、都道府県や市町村の教育委員会事務局の職員として生涯学習やスポーツ、レクリエーション指導を行う関係者に専門的・技術的な助言や指導を行う職種である。

<資格要件> 社会教育法第9条4の3

この資格は、「大学に2年以上在学し、62単位以上を修得し、かつ、大学において文部科学省令で定める社会教育に関する科目の単位を修得した者」で、1年以上社会教育主事補（地方自治体が任命する社会教育担当職員で社会教育主事を助ける職種）の職にあった者に与えられる。

法令に定める区分	法令単位	授業科目	開講年次	単位数	備考
生涯学習概論	4	生涯学習論	2	2	必修6科目 12単位 履修のこと
		生涯学習展開論	2	2	
社会教育計画	4	社会教育概論	3	2	
		社会教育計画	4	2	
社会教育演習、社会教育実習又は社会教育課題研究のうち一以上の科目	4	社会教育課題研究	4	2	
		社会教育課題演習	4	2	
社会教育特講Ⅰ （現代社会と社会教育）	12	リカレント教育論	4	2	2科目4単位 以上 履修のこと
		社会学	1	2	
		情報機器操作Ⅰ	1	2	
社会教育特講Ⅱ （社会教育活動・事業・施設）	12	社会教育施設論	4	2	2科目4単位 以上 履修のこと
		食生活と健康	1	2	
		高齢社会の街づくり	3	2	
社会教育特講Ⅲ （その他必要な科目）	12	青少年学習コーチング論	3	2	2科目4単位 履修のこと
		人間関係の心理学	1	2	
計	24単位以上				合計24単位以上

②学芸員（任用資格）

学芸員は、博物館資料の収集、保管・展示及び調査研究、その他これらと関連する事業を行う「博物館法」に定められた、博物館におかれる専門的職員である。

履修科目等博物館法施行規則第1条第1項に基づき、下記の科目の単位を修得した者は、学芸員となる資格を有する。

<資格要件>

学芸員となる資格を有するには、下表にある本学所定の単位を修得し、本学を卒業することによって取得することができる。

法令に定める科目	法令単位	本学開設科目	開講年次	必修単位
生涯学習概論	2	生涯学習論	2	2
博物館概論	2	博物館概論	1	2
博物館経営論	2	博物館経営論	2	2
博物館資料論	2	博物館資料論	2	2
博物館資料保存論	2	博物館資料保存論	3	2
博物館展示論	2	博物館展示論	3	2
博物館情報・メディア論	2	博物館情報・メディア論	3	2
博物館教育論	2	博物館教育論	3	2
博物館実習	3	博物館実習	4	3
計	19	計		19

③一級建築士及び二級・木造建築士

一級建築士試験は、建築士法第13条の規定に基づいて、国土交通大臣により行われるものです。試験の実施に関する事務は、建築士法第15条の2第1項の規定に基づき、国土交通大臣から中央指定試験機関の指定を受けた公益財団法人建築技術教育普及センターが行います。二級建築士試験及び木造建築士試験は、建築士法第13条の規定に基づいて、都道府県知事により行われるものです。試験の実施に関する事務は、建築士法第15条の6第1項の規定に基づき、都道府県知事から都道府県指定試験機関の指定を受けた公益財団法人建築技術教育普及センターが行います。

建築士法の改正に伴い、建築士試験の受験資格要件が「所定の学校の課程を修めて卒業後、所定の実務経験」から「国土交通大臣が指定する建築に関する科目（以下「指定科目」という。）を修めて卒業後、所定の実務経験」に変更されました。この指定科目については、試験を受けようとする者が各学校等において修得した指定科目の単位数によって必要となる実務経験年数が異なります。

一級建築士

- ・必要な実務経験年数4年：指定科目の分類（単位数）①～⑩から要件40単位以上

二級・木造建築士

- ・必要な実務経験年数0年：指定科目の分類（単位数）①～⑩から要件40単位以上
- ・必要な実務経験年数1年：指定科目の分類（単位数）①～⑩から要件30単位以上
- ・必要な実務経験年数2年：指定科目の分類（単位数）①～⑩から要件20単位以上

<資格要件>

一級建築士及び二級・木造建築士試験の受験資格は、次表にある指定科目の分類(単位数)の必要単位数を取得し、芸術学科を卒業することで、実務経験年数に応じた受験資格を得ることができる。

北翔大学 教育文化学部 芸術学科（平成28年4月1日以降の入学者）

指定科目の分類（単位数）		指定科目として申請する開講科目				
二級・木造	一級	分類	科目名	履修学年	必修・選択	単位数
①建築設計製図 実務0～2年 (5単位以上)	①建築設計製図 (7単位以上)	①	空間デザイン基礎	1	選択	2
		①	住宅設計演習	2	選択	2
		①	インテリア設計Ⅰ	2	選択	2
		①	C A D 設計	2	選択	2
		①	インテリア設計Ⅱ	3	選択	2
		①	店舗デザイン	3	選択	2
②～④ 建築計画、 建築環境工学又は 建築設備 実務0～2年 (7単位以上)	②建築計画 (7単位以上)	②	リビングデザイン論	1	選択	2
		②	ユニバーサルデザイン	1	選択	2
		②	空間デザイン史	2	選択	2
		②	高齢社会の街づくり	3	選択	2
		②	建築計画	2	選択	2
	③建築環境工学 (2単位以上)	③	生活環境	3	選択	2
④建築設備 (2単位以上)	④	空間設備	3	選択	2	
⑤～⑦構造力学、 建築一般構造又は 建築材料 実務0～2年 (6単位以上)	⑤構造力学 (4単位以上)	⑤	構造のかたちと力	3	選択	2
		⑤	構造力学演習	4	選択	2
	⑥建築一般構造 (3単位以上)	⑥	建築空間のしくみ	2	選択	2
		⑥	建築一般構造演習	3	選択	2
⑦建築材料 (2単位以上)	⑦	生活材料学	2	選択	2	
⑧建築生産 (1単位以上)	⑧建築生産 (2単位以上)	⑧	住宅と空間の生産	3	選択	2
⑨建築法規 (1単位以上)	⑨建築法規 (1単位以上)	⑨	都市と空間の法規	3	選択	2
⑩その他 (適宜)	⑩その他 (適宜)	⑩	インテリアデザイン	1	選択	2
		⑩	テクニカルスケッチ	2	選択	2
		⑩	空間模型演習	2	選択	2
総単位数（①～⑩の単位数合計）						46

④インテリアプランナー

インテリアプランナーとは、インテリアプランニングにおける企画・設計・工事監理を行うインテリアに関する知識と技術に習熟した専門家のことであり、公益財団法人建築技術教育普及センターが行う試験（「学科試験」及び「設計製図試験」）に合格し、登録を受けた資格者のことで、さらに更新講習制度によりその能力を審査・証明されている資格者のことをいう。

<インテリアプランナー登録に必要な実務経験年数短縮の方法>

インテリアプランナーとしての登録には、通常インテリアに関する2年以上の実務経験が必要となるが、下表に示す区分A「インテリア関連科目」・B「インテリア専門科目」・C「インテリア（建築）設計」から所定の単位を修得し、芸術学科を卒業した場合、必要実務経験が0年に短縮される。

必要単位数 $A + B + C = 36$ 単位以上、 $B = (24 - C)$ 単位以上、 $C = 2$ 単位以上

区分	本学における開設科目					
	科目名	学年	単位数	必修・選択	必要単位数	
A インテリア 関連科目	色 彩 計 画	2	2	選択必修	A (36 - B - C) 単位以上	
	ド ロ ー イ ン グ I	1	2			
	テ ク ニ カ ル ス ケ ッ チ	2	2			
	空 間 デ ザ イ ン 史	2	2			
	グ ラ フ ィ ッ ク デ ザ イ ン I	1	2			
	リ ビ ン グ デ ザ イ ン 論	1	2			
小計			12			
B インテリア 専門科目	イ ン テ リ ア デ ザ イ ン	1	2	選択必修	B (24 - C) 単位以上	
	生 活 環 境	3	2			
	空 間 設 備	3	2			
	生 活 材 料 学	2	2			
	建 築 空 間 の し く み	2	2			
	構 造 の か た ち と 力	3	2			
	住 宅 と 空 間 の 生 産	3	2			
	都 市 と 空 間 の 法 規	3	2			
	空 間 デ ザ イ ン 基 礎	1	2			
	C A D 設 計	2	2			
	空 間 模 型 演 習	2	2			
ユ ニ バ ー サ ル デ ザ イ ン	1	2				
小計			24			
C インテリア (建築) 設計	住 宅 設 計 演 習	2	2	選択必修	C 2単位以上	
	イ ン テ リ ア 設 計 I	2	2			
	イ ン テ リ ア 設 計 II	3	2			
	店 舗 デ ザ イ ン	3	2			
小計			8			

[教育文化学部／心理カウンセリング学科]

①公認心理師国家試験受験資格

北翔大学 公認心理師受験資格取得に関する履修規程

(目的)

第1条 この規程は、北翔大学学則（以下「学則」という。）第72条の3の規定に基づき、北翔大学（以下「本学」という。）に置く公認心理師法（平成27年法律第68号）に規定する公認心理師の受験資格を得るための科目の履修に関し必要な事項を定めるものとする。

(公認心理師受験資格)

第2条 公認心理師の受験資格を得ようとする者は、本学教育文化学部心理カウンセリング学科において、所定の科目を履修し、単位を修得しなければならない。

(定義)

第3条 公認心理師（公認心理師法第2条）とは、その名称を用いて、保健医療、福祉、教育その他の分野において、心理学に関する専門的知識及び技術をもって、次に掲げる行為を行うことを業とする者をいう。

- (1) 心理に関する支援を要する者の心理状態を観察し、その結果を分析すること
- (2) 心理に関する支援を要する者に対し、その心理に関する相談に応じ、助言、指導その他の援助を行うこと
- (3) 心理に関する支援を要する者の関係者に対し、その相談に応じ、助言、指導その他の援助を行うこと
- (4) 心の健康に関する知識の普及を図るための教育及び情報の提供を行うこと

(公認心理師受験資格の取得と必要な科目)

第4条 公認心理師受験資格（公認心理師法第7条第1号）は、以下の者に与えられる。

- (1) 大学において心理学その他の公認心理師となるために必要な科目（別表1）を修めて卒業し、かつ、大学院において心理学その他の公認心理師となるために必要な科目を修めてその課程を修了した者。
- (2) 大学において心理学その他の公認心理師となるために必要な科目（別表1）を修め、卒業後一定期間の実務経験を積んだ者。

(改正)

第5条 この規程の改正は、教授会の議を経て、学長が行う。

附 則

この規程は、平成30年4月1日から施行する。

別表1 公認心理師受験資格に関する科目一覧表

施行規則に定める基準	本学基準				
	指定科目名	授業科目	開講年次	単位数	備考
公認心理師の職責	公認心理師の職責		4	2	
心理学概論	心理学概論		1	2	
臨床心理学概論	臨床心理学概論		2	2	
心理学研究法	心理学研究法		2	2	
心理学統計法	心理学統計法		2	2	
心理学実験	心理学実験		2	4	
知覚・認知心理学	知覚・認知心理学		2	2	
学習・言語心理学	学習心理学(学習・言語心理学Ⅰ)		1	2	
	コミュニケーション心理学(学習・言語心理学Ⅱ)		3	2	
感情・人格心理学	感情・人格心理学		2	2	
神経・生理心理学	生理心理学(神経・生理心理学Ⅰ)		1	2	
	神経心理学(神経・生理心理学Ⅱ)		2	2	
社会・集団・家族心理学	社会心理学(社会・集団・家族心理学Ⅰ)		1	2	
	家族心理学(社会・集団・家族心理学Ⅱ)		3	2	
発達心理学	発達心理学		1	2	
障害者・障害児心理学	障害者・障害児心理学		2	2	
心理的アセスメント	心理的アセスメント		2	2	
心理学的支援法	心理学的支援法		2	2	
健康・医療心理学	健康・医療心理学		1	2	
福祉心理学	福祉心理学		1	2	
教育・学校心理学	教育心理学概論(教育・学校心理学)		1	2	
司法・犯罪心理学	司法・犯罪心理学		2	2	
産業・組織心理学	産業・組織心理学		3	2	
人体の構造と機能及び疾病	医学概論(人体の構造と機能及び疾病)		1	2	
精神疾患とその治療	精神医学Ⅰ(精神疾患とその治療Ⅰ)		2	2	
	精神医学Ⅱ(精神疾患とその治療Ⅱ)		2	2	
関係行政論	関係行政論		4	2	
心理演習	心理演習		3	4	
心理実習	心理実習		2~3	2	80時間
	合計			62	

②精神保健福祉士国家試験受験資格

北翔大学 精神保健福祉士受験資格取得に関する履修規程

(目的)

第1条 この規程は、北翔大学学則（以下「学則」という。）第72条の規定に基づき、北翔大学（以下「本学」という。）に置く精神保健福祉士法（平成9年法律第131号）に規定する精神保健福祉士の受験資格を得るための科目の履修に関し必要な事項を定めるものとする。

(精神保健福祉士受験資格の取得)

第2条 本学教育文化学部心理カウンセリング学科において、所定の科目を履修し、単位を取得した者は精神保健福祉士の受験資格が得られる。

(定義)

第3条 精神保健福祉士（精神保健福祉士法第2条）とは、その名称を用いて専門的知識及び技術をもって、精神科病院その他の医療施設において精神障害の医療を受け、又は精神障害者の社会復帰の促進を図ることを目的とする施設を利用している者の地域相談支援の利用に関する相談その他の社会復帰に関する相談に応じ、助言、指導、日常生活への適応のために必要な訓練その他の援助を行うことを業とする者をいう。

(履修及び単位の修得方法)

第4条 精神保健福祉士受験資格（精神保健福祉士法第7条第1号）は、大学において厚生労働大臣の指定する精神障害者の保健及び福祉に関する科目を修めて卒業した者に与えられる。本学において精神保健福祉士の受験資格を得ようとする者は別表の科目・単位を修得しなければならない。

(実習科目の履修に係る費用の納入)

第5条 精神保健福祉援助実習、精神保健福祉援助実習指導を履修する者は、学則第88条第1項及び学費等納付金規程に定める実習に要する費用を、所定の期日までに納付しなければならない。

(改正)

第6条 この規程の改正は、教授会の議を経て、学長が行う。

附 則

- 1 この規程は、平成24年4月1日から施行する。
- 2 平成24年3月31日に在籍する者については、なお従前の例による。
- 3 平成24年度及び25年度入学の編入学生が精神保健福祉士の受験資格を得るために平成24年度以降の教育課程の科目を履修する場合は別表1により修得しなければならない。

附 則（人間福祉学部医療福祉学科の教育課程の一部変更に伴う改正）

- 1 この規程は平成25年4月1日から施行し、平成24年度入学生及び編入学生から適用する。
- 2 別表については、平成25年3月31日に在籍する者については、なお従前の例による。
- 3 平成25年度入学の編入学生が精神保健福祉士の受験資格を得るために平成25年度以降の教育課程の科目を履修する場合は別表1により修得しなければならない。

附 則（教育文化学部心理カウンセリング学科の設置及び教育課程の変更に伴う改正）

- 1 この規程は、平成26年4月1日から施行する。
- 2 平成26年3月31日に在籍する者については、なお従前の例による。

3 精神保健福祉士の受験資格を得るために平成24年度及び平成25年度の教育課程の科目を履修する場合（平成24年度及び平成25年度編入学生を含む）は別表2により修得しなければならない。

附 則（教育文化学部心理カウンセリング学科の教育課程の変更及び別表2の削除に伴う改正）

- 1 この規程は、平成30年4月1日から施行する。
- 2 平成30年3月31日に在籍する者については、なお従前の例による。

別表 精神保健福祉士受験資格に関する科目一覧表

法定基準 指定科目	本学基準		備考
	授業科目	単位数	
人体の構造と機能及び疾病※	医学概論(人体の構造と機能及び疾病)	2	※印の指定 科目から1 科目選択
心理学理論と心理的支援※	心理学概論	2	
社会理論と社会システム※	社会学	2	
現代社会と福祉	現代社会と福祉Ⅰ	2	
	現代社会と福祉Ⅱ	2	
地域福祉の理論と方法	地域福祉論Ⅰ	2	
	地域福祉論Ⅱ	2	
社会保障	社会保障論Ⅰ	2	
	社会保障論Ⅱ	2	
低所得者に対する支援と生活保護制度	公的扶助論	2	
福祉行財政と福祉計画	社会福祉行政・福祉計画論	2	
保健医療サービス	医療福祉論	2	
権利擁護と成年後見制度	権利擁護と成年後見制度	2	
障害者に対する支援と障害者自立支援制度	障害者福祉論	2	
精神疾患とその治療	精神医学Ⅰ(精神疾患とその治療Ⅰ)	2	
	精神医学Ⅱ(精神疾患とその治療Ⅱ)	2	
精神保健の課題と支援	精神保健Ⅰ	2	
	精神保健Ⅱ	2	
精神保健福祉相談援助の基盤(基礎)	ソーシャルワーク概説Ⅰ	2	
	ソーシャルワーク概説Ⅱ	2	
精神保健福祉相談援助の基盤(専門)	精神保健福祉援助技術総論	2	
精神保健福祉の理論と相談援助の展開	精神科リハビリテーション	4	
	精神保健福祉援助技術各論Ⅰ	2	
	精神保健福祉援助技術各論Ⅱ	2	
精神保健福祉に関する制度とサービス	精神保健福祉学Ⅰ	2	
	精神保健福祉学Ⅱ	2	
精神障害者の生活支援システム	精神保健福祉学Ⅲ	2	
精神保健福祉援助演習(基礎)	精神保健福祉援助演習Ⅰ	2	
精神保健福祉援助演習(専門)	精神保健福祉援助演習Ⅱ	2	
	精神保健福祉援助演習Ⅲ	2	
精神保健福祉援助実習指導	精神保健福祉援助実習指導	3	
精神保健福祉援助実習	精神保健福祉援助実習	7	
合計		68	

③認定心理士

公益社団法人日本心理学会では、4年制大学における心理学科、またはそれに準ずる課程を修了し、心理学の専門家としての職務を遂行するのに必要な最小限の標準的、基礎的学力と技能を修得していると認定された人々に対して「認定心理士」の資格を認定している。

<資格要件>

認定心理士の資格取得を希望する学生は、下表に定める本学所定の単位を履修することによって、諸手続きを済ませた後に認定心理士の資格を取得することができる。

規定に定める領域		本学開設科目		
基礎科目(注1)		授業科目	年次	単位
a	心理学概論	心理学概論	1	2
		教育心理学概論(教育・学校心理学)	1	2
b	心理学研究法	心理学研究法	2	2
		心理的アセスメント	2	2
		心理学統計法	2	2
c	心理学実験・実習	心理学実験	2	4
選択科目(注2)		授業科目	年次	単位
d	知覚心理学 学習心理学	学習心理学(学習・言語心理学Ⅰ)	1	2
		知覚・認知心理学	2	2
e	生理心理学 比較心理学	生理心理学(神経・生理心理学Ⅰ)	1	2
		神経心理学(神経・生理心理学Ⅱ)	2	2
f	教育心理学 発達心理学	発達心理学	1	2
		乳幼児心理学	1	2
		児童心理学	2	2
		青年心理学	2	2
g	臨床心理学 人格心理学	臨床心理学概論	2	2
		ポジティブ心理学	3	2
		司法・犯罪心理学	2	2
		障害者・障害児心理学	2	2
		心理学的支援法	2	2
		臨床心理援助技法論Ⅰ(精神分析療法)	3	2
		臨床心理援助技法論Ⅱ(認知行動療法)	3	2
		臨床心理援助技法論Ⅲ(ブリーフ・セラピー)	3	2
		スクールカウンセリング	3	2
		心理演習	3	4
		福祉心理学	1	2
		モチベーション心理学	2	2
		育児支援の心理学	2	2
		人間関係の心理学	1	2
h	社会心理学 産業心理学	社会心理学(社会・集団・家族心理学Ⅰ)	1	2
		産業・組織心理学	3	2
		家族心理学(社会・集団・家族心理学Ⅱ)	3	2
		コミュニケーション心理学(学習・言語心理学Ⅱ)	3	2
その他の科目(注3)		授業科目	年次	単位
i	心理学関連科目 卒業研究	専門演習Ⅰ	3	2
		専門演習Ⅱ	3	2
		卒業研究	4	4
計		36単位以上		

- 注1) 基礎科目においては、a領域が4単位以上、b領域とc領域は合わせて8単位以上を修得し、合計12単位以上であること。
- 注2) 選択科目においては、5領域のうち3領域以上でそれぞれが少なくとも4単位以上、5領域の合計が16単位以上であること。3領域においては規定の最低4単位のうち少なくとも2単位分は「基本主題」に対応した単位でなければならない。
- 注3) その他の科目においては、心理学に関連したテーマであること。認定に必要な単位として最大4単位までを認める。

<申請費用>

審査料に10,000円必要となる。合格した場合、認定料として30,000円必要となる。

<資格取得後の考えられる進路>

認定心理士は公益社団法人日本心理学会が認定する、心理学の基礎資格であり、職能の資格ではないが、医療機関における心理職（精神科病院、精神科クリニック、小児科クリニック、児童療育施設など）他の求人実績がある。

④福祉心理士

日本福祉心理学会が認定する資格であり、福祉サービスを利用する人のアセスメントを行ったり、サービス利用者やその家族、そして、そこで働く職員の福祉心理相談・支援を行ったりするうえで専門家として求められる基礎学力と技能を修得していると、本学会が認定した人のことである。

<資格要件>

福祉心理士の資格取得を希望する学生は、下表に定める本学所定の科目の単位を修得した後、日本福祉心理学会の正会員あるいは準会員となることによって、福祉心理士の資格を取得することができる。

領域	指 定 科 目	規定単位	開設科目	開設年次	単位	備考	
基礎科目	心 理 学	2	心 理 学 概 論	1	2	指定科目のうち、2科目について、各2単位以上	
	福 祉 心 理 学	2	福 祉 心 理 学	1	2		
	社 会 福 祉 学	2	現 代 社 会 と 福 祉 I	4	2		
心理学関係科目	臨 床 心 理 学	2	臨 床 心 理 学 概 論	2	2	指定科目のうち、4科目8単位を含み、合計12単位以上	
	心 理 検 査 方 法	2	心 理 的 ア セ ス メ ン ト	2	2		
	カウセリング(心理相談)	2	心 理 学 的 支 援 法	2	2		
	心 理 療 法	2	臨 床 心 理 援 助 技 法 論 I (精 神 分 析 療 法)	3	2		
	児 童 心 理	2	児 童 心 理 学	2	2		
	発 達 心 理	2	発 達 心 理 学	1	2		
	障 害 者 の 心 理	2	障 害 者 ・ 障 害 児 心 理 学	2	2		
	高 齢 者 の 心 理	2	高 齢 者 心 理 学	2	2		
				学 習 心 理 学 (学 習 ・ 言 語 心 理 学 I)	1		2
				教 育 心 理 学 概 論 (教 育 ・ 学 校 心 理 学)	1		2
				生 理 心 理 学 (神 經 ・ 生 理 心 理 学 I)	1		2
				社 会 心 理 学 (社 会 ・ 集 団 ・ 家 族 心 理 学 I)	1		2
				人 間 関 係 の 心 理 学	1		2
				乳 幼 児 心 理 学	1		2
				育 児 支 援 の 心 理 学	2		2
				青 年 心 理 学	2		2
				心 理 学 統 計 法	2		2
				心 理 学 実 験	2		4
				心 理 学 研 究 法	2		2
				知 覚 ・ 認 知 心 理 学	2		2
				司 法 ・ 犯 罪 心 理 学	2		2
				臨 床 心 理 援 助 技 法 論 II (認 知 行 動 療 法)	3		2
				臨 床 心 理 援 助 技 法 論 III (ブ リ ー フ ・ セ ラ ピ ー)	3		2
				家 族 心 理 学 (社 会 ・ 集 団 ・ 家 族 心 理 学 II)	3		2
				産 業 ・ 組 織 心 理 学	3		2
				コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 心 理 学 (学 習 ・ 言 語 心 理 学 II)	3		2
				ス ク ー ル カ ウ ン セ リ ン グ	3		2
			ポ ジ テ ィ ブ 心 理 学	3	2		
			モ チ ベ ー シ ョ ン 心 理 学	2	2		

領域	指 定 科 目	規定単位	開設科目	開設年次	単位	備考		
社会福祉関係科目	相 談 援 助	2	心 理 演 習	3	4	指定科目のうち、いずれか2単位を含み、合計12単位以上		
	精神保健福祉援助技術	2	精神保健福祉援助技術総論	2	2			
			現代生活と福祉	2	2			
			地域福祉論Ⅰ	3	2			
			現代社会と福祉Ⅱ	4	2			
			地域福祉論Ⅱ	3	2			
			社会保障論Ⅰ	2	2			
			社会保障論Ⅱ	2	2			
			公 的 扶 助 論	2	2			
			社会福祉行政・福祉計画論	4	2			
			医 療 福 祉 論	3	2			
			権利擁護と成年後見制度	3	2			
			障 害 者 福 祉 論	2	2			
			ソーシャルワーク概説Ⅰ	1	2			
			ソーシャルワーク概説Ⅱ	1	2			
			精神保健福祉援助技術各論Ⅰ	2	2			
			精神保健福祉援助技術各論Ⅱ	3	2			
			精 神 保 健 福 祉 学 Ⅰ	2	2			
			精 神 保 健 福 祉 学 Ⅱ	2	2			
			精 神 保 健 福 祉 学 Ⅲ	4	2			
			精神保健福祉援助演習Ⅰ	3	2			
			精神保健福祉援助演習Ⅱ	4	2			
			精神保健福祉援助演習Ⅲ	4	2			
			精神保健福祉援助実習指導	3～4	3			
			精神保健福祉援助実習	3～4	7			
	医療・保健 関係科目			精神医学Ⅰ（精神疾患とその治療Ⅰ）	2		2	*
				精神医学Ⅱ（精神疾患とその治療Ⅱ）	2		2	
			精 神 保 健 Ⅰ	3	2			
			精 神 保 健 Ⅱ	3	2			
			精神科リハビリテーション	3	4			
計				総計32単位以上				

*心理学関係科目のうち2科目4単位、および社会福祉関係科目のうち2科目4単位の計4科目8単位については、医療・保健関係科目（精神医学、神経内科学、リハビリテーション論、精神保健学などの科目）をもって代替できる。

<申請費用>

所定の申請期間に、指定された書類を提出して、認定審査を受ける（認定審査料20,000円）。

審査に合格した場合、認定料（10,000円）を納付すると、日本福祉心理学会理事長より資格認定証が交付される。

<資格取得後の考えられる進路>

- ・ 児童に関する福祉機関（児童養護施設・児童自立支援施設など）
- ・ 障害児・者に関する福祉機関（障害者自立支援法に基づく事業所など）
- ・ 高齢者に関する福祉機関

⑤社会福祉主事（任用資格）

社会福祉主事とは、福祉事務所現業員として任用される者に要求される資格（任用資格）であり、民間社会福祉施設職員等の資格にも準用されている。

社会福祉主事任用資格の必要な職種は以下のとおりである。

行政	福祉事務所	現業員、査察指導員、家庭児童福祉主事 [児童福祉事業従事2年以上等]、家庭相談員 [児童福祉事業従事2年以上等]、母子相談員、老人福祉指導主事
	各種相談所	身体障害者福祉司 [身体障害者福祉事業従事2年以上等] ※ 知的障害者福祉司 [知的障害者福祉事業従事2年以上等] ※ 児童福祉司 [児童福祉事業従事2年以上等] ※
民間社会福祉施設		施設長、生活指導員 等

[] 内は、社会福祉主事任用資格に加えて必要な要件

※ 社会福祉主事任用資格取得以外にも資格を得られる方法がある

<取得方法>社会福祉法第19条

社会福祉主事任用資格の取得方法には、複数ある。心理カウンセリング学科の場合は、国家資格である精神保健福祉士を取得するか、大学において社会福祉に関する科目（厚生労働大臣の指定する社会福祉に関する科目）を3科目以上修めて卒業するか、のいずれかになる。

※厚生労働大臣の指定する社会福祉に関する科目

社会福祉概論、社会保障論、社会福祉行政論、公的扶助論、身体障害者福祉論、老人福祉論、児童福祉論、家庭福祉論、知的障害者福祉論、精神障害者保健福祉論、社会学、心理学、社会福祉施設経営論、社会福祉援助技術論、社会福祉事業史、地域福祉論、保育理論、社会福祉調査論、医学一般、看護学、公衆衛生学、栄養学、家政学、倫理学、教育学、経済学、経済政策、社会政策、法学、民法、行政法、医療社会事業論、リハビリテーション論、介護概論

上記指定科目と本学科における開講科目との対応表は、表1の通りである。

表1 厚生労働大臣の指定する社会福祉に関する科目と本学科おける開講科目との対応表

厚生労働大臣指定科目	本学科の開講科目
社会福祉概論	現代社会と福祉Ⅰ 及び 現代社会と福祉Ⅱ
社会保障論	社会保障論Ⅰ 及び 社会保障論Ⅱ
社会福祉行政論	社会福祉行政・福祉計画論
公的扶助論	公的扶助論
身体障害者福祉論	
老人福祉論	
児童福祉論	
家庭福祉論	
知的障害者福祉論	
精神障害者保健福祉論	精神医学Ⅰ(精神疾患とその治療Ⅰ)及び精神医学Ⅱ(精神疾患とその治療Ⅱ)
社会学	社会学
心理学	心理学概論
社会福祉施設経営論	
社会福祉援助技術論	ソーシャルワーク概説Ⅰ 及び ソーシャルワーク概説Ⅱ
社会福祉事業史	
地域福祉論	地域福祉論Ⅰ 及び 地域福祉論Ⅱ
保育理論	
社会福祉調査論	
医学一般	医学概論(人体の構造と機能及び疾病)
看護学	
公衆衛生学	
栄養学	
家政学	
倫理学	
教育学	
経済学	
経済政策	
社会政策	
法学	
民法	
行政法	
医療社会事業論	医療福祉論
リハビリテーション論	
介護概論	

※ 厚生労働省社会・援護局長通知(社援発第0328第3号 平成25年3月28日)「社会福祉法第19条第1項第1号に基づく厚生労働大臣の指定する社会福祉に関する科目の読み替えの範囲等の一部改正について」をもとに作成

⑥社会教育主事（任用資格）

1. 本学に社会教育主事資格取得に関する授業科目が開講され、定められた科目を履修することにより国家資格の社会教育主事（任用資格）を取得することができる。
2. 社会教育主事は、都道府県や市町村の教育委員会事務局の職員として生涯学習やスポーツ、レクリエーション指導を行う関係者に専門的・技術的な助言や指導を行う職種である。

<資格要件> 社会教育法第9条4の3

この資格は、「大学に2年以上在学し、62単位以上を修得し、かつ、大学において文部科学省令で定める社会教育に関する科目の単位を修得した者」で、1年以上社会教育主事補（地方自治体が任命する社会教育担当職員で社会教育主事を助ける職種）の職にあった者に与えられる。

法令に定める区分	法令単位	授業科目	開講年次	単位数	備考
生涯学習概論	4	生涯学習論	2	2	必修6科目 12単位 履修のこと
		生涯学習展開論	2	2	
社会教育計画	4	社会教育概論	3	2	
		社会教育計画	4	2	
社会教育演習、社会教育実習又は社会教育課題研究のうち以上の科目	4	社会教育課題研究	4	2	
		社会教育課題演習	4	2	
社会教育特講Ⅰ (現代社会と社会教育)	12	リカレント教育論	4	2	2科目4単位 以上 履修のこと
		社会学	1	2	
		情報機器操作Ⅰ	1	2	
社会教育特講Ⅱ (社会教育活動・事業・施設)	12	社会教育施設論	4	2	2科目4単位 以上 履修のこと
		食生活と健康	1	2	
		高齢社会の街づくり	3	2	
社会教育特講Ⅲ (その他必要な科目)	12	青少年学習コーチング論	3	2	2科目4単位 履修のこと
		人間関係の心理学	1	2	
計	24単位以上				合計24単位以上

⑦児童福祉司（任用資格）

児童相談所に置かれる専門職（公務員）で、児童相談所長の指示により、児童の保護その他児童の福祉に関する事項について、相談に応じ、専門的技術に基いて必要な指導を行う。

任用する場合にいくつかの要件があり、本学科学生の場合は、以下の要件に該当する。

- ①社会福祉主事として、児童福祉事業に2年以上従事した者
- ②大学において、心理学、教育学もしくは社会学専修する学科又はこれらに相当する課程を修めて卒業した者であって、厚生労働省令で定める施設において1年以上児童その他の者の福祉に関する相談に応じ、助言、指導その他の援助を行う者

⑧児童指導員（任用資格）

児童福祉施設の設備及び運営に関する基準（厚生省令第63号）に基づき、児童養護施設、福祉型障害児入所施設、医療型障害児入所施設、福祉型児童発達支援センター、医療型児童発達支援センター、情緒障害児短期治療施設に置かれる専門職である。

児童指導員の資格要件として、幾つかあるが本学科学生の場合は、以下の要件に該当する。

- ①精神保健福祉士の資格を有する者
- ②学校教育法の規程による大学の学部で、社会福祉学、心理学、教育学もしくは社会学を専修する学科又はこれらに相当する課程を修めて卒業した者

6) 北翔大学 教職課程履修規程

(目的)

第1条 この規程は、北翔大学学則（平成9年4月1日施行。以下「学則」という。）第69条第3項の規定に基づき、北翔大学（以下「本学」という。）に置く教育職員免許法（昭和24年法律第147号）に規定する教育職員免許状（以下「免許状」という。）授与の所要資格を得させるための課程（以下「教職課程」という。）の履修に関し必要な事項を定めるものとする。

(免許状の種類)

第2条 本学において、取得することができる免許状の種類及び免許教科又は特別支援教育領域は、次の表に掲げるとおりとする。

学部・学科		免許状の種類	免許教科又は特別支援教育領域
生涯 スポーツ 学部	スポーツ教育学科	中学校教諭1種免許状	保健体育
		高等学校教諭1種免許状	保健体育
		特別支援学校教諭1種免許状	知的障害者・肢体不自由者・病弱者
教 文 学 部 育 化 部	教 育 学 科	初等教育コース 幼稚園教諭1種免許状	
		小学校教諭1種免許状	
		特別支援学校教諭1種免許状	知的障害者・肢体不自由者・病弱者
	幼 児 教 育 コ ー ス	幼稚園教諭1種免許状	
		特別支援学校教諭1種免許状	知的障害者・肢体不自由者・病弱者
		養護教諭コース 養護教諭1種免許状	
	音 楽 コ ー ス	中学校教諭1種免許状	音楽
		高等学校教諭1種免許状	音楽
		特別支援学校教諭1種免許状	知的障害者・肢体不自由者・病弱者
	芸 術 学 科	中学校教諭1種免許状	美術
高等学校教諭1種免許状		美術	

2 前項に規定する免許状の種類中、特別支援学校教諭1種免許状は、幼稚園、小学校、中学校又は高等学校の教諭の普通免許状を有していなければ、取得することができない。

(教職課程の履修資格)

第3条 前条に規定する免許状を得ようとする学生で、教職課程を履修することができる者は、原則として、次の各号に該当すると認められた者とする。

- (1) 学力が優良で、出席が常である者
- (2) 学則第66条に規定する本学の卒業要件を満たす見込みがある者
- (3) 教育職員免許法第5条に規定する免許状の授与が見込まれる者

(教職課程の教育課程)

第4条 本学に置く教職課程の教育課程は、第2条に規定する免許状の種類に応じて、次の各号に掲げる科目の区分により開講する授業科目をもって編成する。

- (1) 教科に関する科目
- (2) 教職に関する科目
- (3) 教科又は教職に関する科目
- (4) 特別支援教育に関する科目
- (5) 養護に関する科目
- (6) 養護又は教職に関する科目
- (7) 教育職員免許法施行規則第66条の6に規定する科目

(教職課程の履修及び単位の修得方法)

第5条 教職課程を履修し、第2条に規定する免許状を得ようとする者は、次の表に掲げる免許状の種類及び免許教科の区分に応じ、それぞれ前条各号に定める科目の区分に定める単位を修得しなければならない。

学部	学科	免許状の種類 (免許教科)	教科(養護)に関する科目	教職に関する科目	教科(養護)又は教職に関する科目	特別支援教育に関する科目	免許法施行規則科目	合計単位数	
生涯スポーツ学部	スポーツ教育学科	中学校教諭1種免許状(保健体育)	33	34	8	/	6	73	
		高等学校教諭1種免許状(保健体育)	33	30	16			69	
		特別支援学校教諭1種免許状	/	/	/			28	28
教育文化学部	教育学科	初等教育コース	幼稚園教諭1種免許状	12	40	10	/	8	60
			小学校教諭1種免許状	18	46	10		8	72
			特別支援学校教諭1種免許状	/	/	/		28	28
	教育学科	幼児教育コース	幼稚園教諭1種免許状	12	40	10	/	8	60
			特別支援学校教諭1種免許状	/	/	/		28	28
			養護教諭コース	養護教諭1種免許状	34	28		7	8
	教育学科	音楽コース	中学校教諭1種免許状(音楽)	30	34	8	/	8	72
			高等学校教諭1種免許状(音楽)	30	30	16			68
			特別支援学校教諭1種免許状	/	/	/			28
	芸術学科	芸術学科	中学校教諭1種免許状(美術)	30	34	8	/	8	72
高等学校教諭1種免許状(美術)			28	30	16	67			

※「教科(養護)又は教職に関する科目」は、「教科(養護)に関する科目」及び「教職に関する科目」の免許法施行規則に定める最低修得単位数を超えて修得した単位を含んで修得する。

2 前項に規定する免許状の種類及び免許教科の区分に応じて開設する授業科目、単位数及び単位修得の方法は、別表第1から別表第7に定めるとおりとする。

(教職課程の履修登録及び取消)

第6条 教職課程を履修しようとする学生は、各学期の始めの所定の期日までに教職課程の履修を登録しなければならない。

2 前項の登録をしていない学生は、教職課程を履修することができない。

3 教職課程を履修している学生が、教職課程の履修を中止しようとするときは、各学期の始めの所定の期日までに教職課程の履修を取り消さなければならない。

(教職に関する科目の履修登録)

第7条 教職課程を履修し、第4条第2号に規定する教職に関する科目(学則第41条第3項ただし書の規定に該当する授業科目を除く。以下同じ。)を履修するときは、履修しようとする授業科目を登録しなければならない。

2 前項の履修登録及び授業科目の履修は、学則第47条の規定によるものとする。

(教育実習、特別支援教育実習及び養護実習の履修資格)

第8条 教職課程を履修する学生のうち、幼稚園教諭1種免許状を取得しようとする者で、第5条第2項に定める別表第3に掲げる授業科目中、(2)「教職に関する科目」欄の「教育実習(幼・小)」を履修することができる者は、原則として、当該実習開始の前年度までに、次に掲げる授業科目を履修し、所定の単位を修得して、教職センター運営委員会において認められた者とする。

(1) 第4条第1号に規定する「教科に関する科目」のうち、次に掲げる科目及び単位

イ 国語科概論(書写を含む) 2単位

ロ 算数科概論 2単位

(2) 第4条第2号に規定する「教職に関する科目」のうち、次に掲げる科目及び単位

イ 教職概論（幼・小） 2単位

ロ 教育原理（幼・小） 2単位

ハ 保育内容総論 2単位

ニ 保育内容指導論 2単位

ホ 保育内容（健康） 2単位

ヘ 保育内容（人間関係） 2単位

ト 保育内容（環境） 2単位

チ 保育内容（言葉） 2単位

リ 保育内容（表現） 2単位

ヌ 教育実習事前指導（幼・小） 1単位

(3) 第4条第7号に規定する「教育職員免許法施行規則第66条の6に規定する科目」のうち、次に掲げる科目及び単位

イ 日本国憲法 2単位

ロ 健康体育（実技を含む） 2単位

2 教職課程を履修する学生のうち、小学校教諭1種免許状を取得しようとする者で、第5条第2項に定める別表第4に掲げる授業科目中、(2)「教職に関する科目」欄の「教育実習（幼・小）」を履修することができる者は、原則として、当該実習開始の前年度までに、次に掲げる授業科目を履修し、所定の単位を修得して、教職センター運営委員会において認められた者とする。

(1) 第4条第1号に規定する「教科に関する科目」のうち、次に掲げる科目及び単位

イ 国語科概論（書写を含む） 2単位

ロ 算数科概論 2単位

(2) 第4条第2号に規定する「教職に関する科目」のうち、次に掲げる科目及び単位

イ 教職概論（幼・小） 2単位

ロ 教育原理（幼・小） 2単位

ハ 国語科指導法Ⅰ 2単位

ニ 社会科指導法Ⅰ 2単位

ホ 算数科指導法Ⅰ 2単位

ヘ 理科指導法Ⅰ 2単位

ト 生活科指導法Ⅰ 2単位

チ 音楽科指導法Ⅰ 2単位

リ 図画工作科指導法Ⅰ 2単位

ヌ 家庭科指導法Ⅰ 2単位

ル 体育科指導法Ⅰ 2単位

ヲ 道徳教育論（小） 2単位

ワ 特別活動論（小） 2単位

カ 教育実習事前指導（幼・小） 1単位

(3) 第4条第7号に規定する「教育職員免許法施行規則第66条の6に規定する科目」のうち、次に掲げる科目及び単位

- イ 日本国憲法 2単位
- ロ 健康体育（実技を含む） 2単位

3 教職課程を履修する学生のうち、中学校教諭及び高等学校教諭1種免許状を取得しようとする者で、第5条第2項に定める別表第1、別表第6及び別表第7に掲げる授業科目中、(2)「教職に関する科目」欄の「教育実習Ⅰ」及び「教育実習Ⅱ」を履修することができる者は、原則として、当該実習開始の前年度までに、次に掲げる授業科目を履修し、所定の単位を修得して、教職センター運営委員会において認められた者とする。

(1) 第4条第1号に規定する「教科に関する科目」のうち、得ようとする免許教科ごとに、次に掲げる科目及び単位

- イ 「保健体育」：スポーツ運動学 2単位
- 生理学 2単位
- ロ 「音楽」：音楽概論 2単位
- ソルフェージュ 2単位
- ハ 「美術」：美術概論 2単位
- ドローイングⅠ 2単位

(2) 第4条第2号に規定する「教職に関する科目」(各教科の指導法を除く。)のうち、次に掲げる科目及び単位

- イ 教職概論 2単位
- ロ 教育原理 2単位
- ハ 道徳教育論 2単位
- ニ 特別活動論 2単位
- ホ 教育実習事前指導 1単位

(3) 第4条第2号に規定する「教職に関する科目」(各教科の指導法に限る。)のうち、得ようとする免許教科ごとに、次に掲げる科目及び単位

- イ 「保健体育」：保健体育科教育法Ⅰ 2単位
- 保健体育科教育法Ⅱ 2単位
- ロ 「音楽」：音楽科教育法Ⅰ 2単位
- 音楽科教育法Ⅱ 2単位
- ハ 「美術」：美術科教育法Ⅰ 2単位
- 美術科教育法Ⅱ 2単位

(4) 第4条第7号に規定する「教育職員免許法施行規則第66条の6に規定する科目」のうち、得ようとする免許教科ごとに、次に掲げる科目及び単位

- イ 「保健体育」：日本国憲法 2単位
- 体育原理 2単位
- ロ 「音楽」：日本国憲法 2単位
- 健康体育（実技を含む） 2単位
- ハ 「美術」：日本国憲法 2単位
- 健康体育（実技を含む） 2単位

4 教職課程を履修する学生のうち、特別支援学校教諭1種免許状を取得しようとする者で、第5条第2項に定める別表第2に掲げる授業科目中、(1)「特別支援教育に関する科目」欄の「特別支援教

育実習」を履修することができる者は、原則として、当該実習開始の前年度までに、次に掲げる授業科目を履修し、所定の単位を修得して、教職センター運営委員会において認められた者とする。また、「特別支援教育実習」を履修する年度末までに、幼稚園、小学校、中学校、又は高等学校教諭免許状取得のための教育実習を終了している者又は終了見込みの者に限る。

(1) 第4条第4号に規定する「特別支援教育に関する科目」のうち、次に掲げる科目及び単位

イ 特別支援教育実習事前指導 1単位

5 教職課程を履修する学生のうち、養護教諭1種免許状を取得しようとする者で、第5条第2項に定める別表第5に掲げる授業科目中、(2)「教職に関する科目」欄の「養護実習」を履修することができる者は、原則として、当該実習開始の前年度までに、次に掲げる授業科目を履修し、所定の単位を修得して、教職センター運営委員会において認められた者とする。

(1) 第4条第5号に規定する「養護に関する科目」のうち、次に掲げる科目及び単位

イ 養護実践学Ⅰ 2単位

ロ 看護学臨床実習 4単位

(2) 第4条第2号に規定する「教職に関する科目」のうち、次に掲げる科目及び単位

イ 教職概論 2単位

ロ 教育原理 2単位

ハ 道德教育論 2単位

ニ 特別活動論 2単位

ホ 養護実習事前指導 1単位

(3) 第4条第7号に規定する「教育職員免許法施行規則第66条の6に規定する科目」のうち、次に掲げる科目及び単位

イ 日本国憲法 2単位

ロ 健康体育（実技を含む） 2単位

（教育実習、特別支援教育実習及び養護実習の履修方法等）

第9条 教育実習、特別支援教育実習及び養護実習を履修する学生は、所定の期日までに「教育実習・特別支援教育実習・養護実習履修願」を教職センターに提出しなければならない。

2 前項の願い出に基づき、教育実習（幼・小）、教育実習Ⅰ、教育実習Ⅱ、特別支援教育実習及び養護実習の実習施設を指定し、その結果を当該学生に通知する。

（教育実習、特別支援教育実習及び養護実習の履修制限等）

第10条 教職課程を履修する学生の実習について、受入れ学校の事情その他特別な事由により、実習指導等に支障が生ずる恐れがある場合は、教育実習（幼・小）、教育実習Ⅰ、教育実習Ⅱ、特別支援教育実習及び養護実習の履修年次を変更し、又は履修方法等を制限することがある。

（教育実習、特別支援教育実習及び養護実習の履修の取り消し又は停止）

第11条 教育実習（幼・小）、教育実習Ⅰ、教育実習Ⅱ、特別支援教育実習及び養護実習の履修は、本人の性行不良、学力劣等その他の事由により教員としての適格性を欠くと認められる場合は、これを取り消し又は停止することができるものとする。

(教職実践演習の履修資格について)

第12条 教職課程を履修する学生のうち、幼稚園教諭1種免許状、小学校教諭1種免許状、中学校教諭1種免許状、高等学校教諭1種免許状、養護教諭1種免許状を取得しようとする者で、第5条第2項に定める別表1、別表第3～第7に掲げる授業科目中、(2)「教職に関する科目」欄の「教職実践演習(幼・小)」、「教職実践演習(中・高)」、「教職実践演習(養護教諭)」を履修することができる者は、それぞれの免許状取得に必要な(1)「教科に関する科目」、「養護に関する科目」、(2)「教職に関する科目」及び(3)「教科又は教職に関する科目」の全てを修得済み又は当該科目と同一の開講時期に修得見込みの者に限る。

(教職課程の履修に係る費用の納付)

第13条 教職課程を履修しようとする学生及び履修している学生は、第6条に規定する教職課程の履修登録を行い、北翔大学学費等納付金規程の定めるところにより、所定の教職課程履修費を納付しなければならない。

2 前項に定める教職課程履修費を所定の期日までに納付しないときは、教職課程の履修を取り消したものとみなす。

(教育職員免許状の申請手続き)

第14条 教育職員免許状の申請に関する手続きは、教職センターにおいて行う。

(雑則)

第15条 この規程に定めるもののほか、教職課程の履修に関し必要な事項は、教職センター運営委員会の議を経て、学長が別に定める。

(改正)

第16条 この規程の改正は、教授会の議を経て、学長が行う。

附 則

1 この規程は、平成14年4月1日から施行し、平成14年度入学者から適用する。

2 平成13年度以前の入学生については、従前の規程による。

附 則 (生涯学習システム学部健康プランニング学科に置かれている教職課程の免許状のうち、保健の免許教科を廃止し、新たに家庭の免許教科を加えること及び学則の一部改正により教育課程の一部が変更されたことに伴い教科に関する科目等の一部改正に伴う改正)

1 この規程は、平成16年4月1日から施行し、平成16年度入学者から適用する。

2 平成16年3月31日に本学に在学する者については、なお従前の例による。

附 則 (校名変更、教育課程の一部が変更されたこと及び機構改正に伴う改正)

1 この規程は、平成17年4月1日から施行する。

2 平成17年3月31日に本学に在学する者については、なお従前の例による。

附 則 (規程の整備等に伴う改正)

1 この規程は、平成17年7月12日から施行し、平成17年度入学者から適用する。

2 平成17年3月31日に本学に在学する者については、なお従前の例による。

附 則 (生涯学習システム学部学習コーチング学科設置及び教育課程の改正に伴う改正)

1 この規程は、平成18年4月1日から施行する。

2 平成18年3月31日に本学に在学する者については、なお従前の例による。

附 則（生涯学習システム学部学習コーチング学科に置かれている教職課程の免許状のうち、養護学校教諭1種免許状を特別支援学校教諭1種免許状に改めること及び教育課程の変更に伴う改正）

- 1 この規程は、平成19年4月1日から施行する。
- 2 平成19年3月31日に本学に在学する者については、なお従前の例による。

附 則（校名変更に伴う改正）

この規程は、平成19年4月1日から施行する。

附 則（生涯学習システム学部芸術メディア学科教育課程改正に伴う改正）

- 1 この規程は、平成20年4月1日から施行する。
- 2 平成20年3月31日に本学に在学する者については、なお従前の例による。

附 則（生涯スポーツ学部スポーツ教育学科の設置、介護福祉学科を地域福祉学科に名称変更すること、生活福祉学科の課程認定取り下げ、機構改編及び教育課程の改正に伴う改正）

- 1 この規程は、平成21年4月1日から施行する。
- 2 平成21年3月31日に本学に在籍する者については、なお従前の例による。

附 則（法令改正、教育課程改正及び機構改編に伴う改正）

- 1 この規程は、平成22年4月1日から施行する。
- 2 平成22年3月31日に本学に在籍する者については、なお従前の例による。

附 則（規程の整備及び法令改正に伴う改正）

- 1 この規程は、平成23年4月1日から施行する。
- 2 平成23年3月31日に本学に在籍する者については、なお従前の例による。

附 則（規程の整備に伴う改正）

- 1 この規程は、平成24年4月1日から施行する。
- 2 平成24年3月31日に本学に在籍する者については、なお従前の例による。

附 則（教育課程の変更及び規程の整備に伴う改正）

- 1 この規程は、平成25年4月1日から施行する。
- 2 平成25年3月31日に本学に在籍する者については、なお従前の例による。

附 則（生涯スポーツ学部スポーツ教育学科に、新たに特別支援学校教諭1種免許状の課程を加えること、人間福祉学部地域福祉学科、福祉心理学科及び生涯学習システム学部芸術メディア学科、学習コーチング学科を廃止し、中・高一種（家庭）、高一種（福祉）（工芸）（情報）の課程認定を取り下げること、教育文化学部教育学科及び芸術学科を設置すること、教育課程の改正及び規程の整備に伴う改正）

- 1 この規程は、平成26年4月1日から施行する。
- 2 平成26年3月31日に本学に在籍する者については、なお従前の例による。

附 則（授業科目の一部について履修資格を定めたこと及び規程の整備に伴う改正）

- 1 この規程は、平成27年4月1日から施行する。但し、第13条については、平成26年度入学生から適用する。

附 則（教育課程の変更及び規程の整備に伴う改正）

- 1 この規程は、平成30年4月1日から施行する。
- 2 平成30年3月31日に本学に在籍する者については、第4条第3号に規定する「教科又は教職に関する科目」及び第4条第6号に規定する「養護又は教職に関する科目」を除き、なお従前の例による。

別表第1 (第5条第2項関係) 生涯スポーツ学部 スポーツ教育学科

中学校教諭1種免許状「保健体育」及び高等学校教諭1種免許状「保健体育」の授業科目及び単位修得方法

(1) 教科に関する科目 (第4条第1号)

免許法施行規則に定める科目区分等及び最低修得単位数		左記に対応する本学開設授業科目及び単位数		
科目名	単位数	授 業 科 目	中単位数	高単位数
体育実技	各1単位以上	生涯スポーツ指導演習 (体づくり運動)	②	②
		生涯スポーツ指導演習 (器械運動)	②	②
		生涯スポーツ指導演習 (陸上競技)	②	②
		生涯スポーツ (水泳・水中運動)	①	①
		生涯スポーツ指導演習 (バスケットボール)	②	②
		生涯スポーツ指導演習 (バレーボール)	②	②
		生涯スポーツ (野球・ソフトボール)	①	①
		生涯スポーツ (バドミントン)	1	1
		生涯スポーツ指導演習 (サッカー)	2	2
		生涯スポーツ (冬季スポーツ)	①	①
		生涯スポーツ指導演習 (ダンス)	②	②
		生涯スポーツ指導演習 (武道)	②	②
		計	20	野外教育実習
「体育原理、体育心理学、体育経営管理学、体育社会学、体育史」及び運動学 (運動方法学を含む。)	以上	体育原理	②	②
		スポーツ心理学	②	②
		スポーツマネジメント	2	2
		スポーツ社会学	2	2
		スポーツ運動学	②	②
		スポーツ史	2	2
生理学 (運動生理学を含む。)		生理学	②	②
衛生学及び公衆衛生学		運動生理学	②	②
学校保健 (小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。)		衛生学及び公衆衛生学	②	②
学校保健		学校保健	②	②
合 計	20	合 計 必 要 修 得 単 位 数	33	33

(2) 教職に関する科目 (第4条第2号)

免許法施行規則に定める科目区分等及び最低修得単位数		左記に対応する本学開設授業科目及び単位数			
科目名	単位数	授 業 科 目	中単位数	高単位数	
教職の意義等に関する科目	2	教職の意義及び教員の役割	教職概論	②	②
		教員の職務内容 (研修、サービス及び身分保障等を含む。)			
		進路選択に資する各種の機会の提供等			
教育の基礎理論に関する科目	6	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原理	②	②
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程 (障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。)	教育心理学	②	②
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項	教育経営学	②	②
教育課程及び指導法に関する科目	高6中12	教育課程の意義及び編成の方法	教育課程論	②	②
		各教科の指導法	保健体育科教育法Ⅰ	②	②
			保健体育科教育法Ⅱ	②	②
			保健体育科教育法Ⅲ	②	②
		道徳の指導法	道徳教育論	②	②
		特別活動の指導法	特別活動論	②	②
教育の方法及び技術 (情報機器及び教材の活用を含む。)	教育方法論 (情報機器・教材活用を含む)	②	②		
生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	4	生徒指導の理論及び方法	生徒指導論 (進路指導を含む)	②	②
		進路指導の理論及び方法			
		教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法			
教育実習	中5高3	教育実習事前指導	①	①	
		教育実習事後指導	①	①	
		教育実習Ⅰ	④	* 4	
		教育実習Ⅱ	④	* 2	
教職実践演習	2	教職実践演習 (中・高)	②	②	
合 計：中学校 31、高等学校 23		合 計 必 要 修 得 単 位 数		34	30

備考：高等学校教諭1種免許状取得のためには*印の科目から1科目を選択して履修すること。

(3) 教科又は教職に関する科目 (第4条第3号)

免許法施行規則に定める科目区分等及び最低修得単位数		左記に対応する本学開設授業科目及び単位数		
科目名	単位数	授業科目	中単位数	高単位数
教科又は教職に関する科目	中8 高16	道徳教育論		2
合計		合計必要修得単位数	8	16

備考：(1)「教科に関する科目」及び(2)「教職に関する科目」左欄の免許法施行規則に定める最低修得単位数を超えて修得した単位を含み、中学校教諭1種免許状は8単位以上、高等学校教諭1種免許状は16単位以上修得する。

(4) 教育職員免許法施行規則第66条の6に規定する科目 (第4条第7号)

免許法施行規則に定める科目区分等及び最低修得単位数		左記に対応する本学開設授業科目及び単位数		
科目名	単位数	授業科目	中単位数	高単位数
日本国憲法	2	日本国憲法	②	②
体育	2	生涯スポーツ指導演習(体づくり運動) 体育原理		
外国語コミュニケーション	2	英語コミュニケーションI	②	②
情報機器の操作	2	情報機器操作I	②	②
合計	8	合計必要修得単位数	6	6

備考：「体育」の科目は、(1)「教科に関する科目」のうち、「生涯スポーツ指導演習(体づくり運動)」及び「体育原理」の修得をもって充てる。

備考：1) 本学が開設する授業科目欄中、○数字は必修科目の単位数を、*印は選択必修科目を示す。

2) 中学校教諭1種免許状にあっては、(1)～(4)までの本学開設科目授業科目の「中単位数」欄に掲げる授業科目から、必修科目を履修して修得する単位を含め、所要の授業科目を履修して73単位以上を修得すること。

3) 高等学校教諭1種免許状にあっては、(1)～(4)までの本学開設授業科目の「高単位数」欄に掲げる授業科目から、必修科目及び選択必修科目を履修して修得する単位を含め、所要の授業科目を履修して69単位以上を修得すること。

別表第2（第5条第2項関係） 生涯スポーツ学部 スポーツ教育学科、教育文化学部 教育学科

特別支援学校教諭1種免許状の授業科目及び単位修得方法

(1) 特別支援教育に関する科目（第4条第4号）

免許法施行規則に定める科目区分等及び最低修得単位数		左記に対応する本学開設授業科目及び単位数			備考		
科目名	単位数	授業科目	単位数	中心となる領域 含む領域			
特別支援教育の基礎理論に関する科目	2	特別支援教育総論	②				
特別支援教育領域に関する科目	16	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	知的障害者の心理・生理・病理	②	知的障害者		
			肢体不自由者の心理・生理・病理	②	肢体不自由者	病弱者、視覚障害者	
			病弱者の心理・生理・病理	②	病弱者		
			知的障害教育Ⅰ	②	知的障害者		
			知的障害教育Ⅱ	②	知的障害者		
			肢体不自由教育Ⅰ	②	肢体不自由者		
免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目	5	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目	肢体不自由教育Ⅱ	②	肢体不自由者		
				病弱教育	②	病弱者	
				視覚・聴覚障害者の心理・生理・病理	①	視覚障害者	聴覚障害者
		心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目		重複障害者の心理・生理・病理	①	重複・LD等領域	重複・LD
				発達障害者等の心理・生理・病理	①	重複・LD等領域	言語・情緒・LD・ADHD
				視覚・聴覚障害者の教育課程及び指導法	①	視覚障害者	聴覚障害者
心身に障害のある幼児、児童又は生徒についての教育実習	3		重複障害者の教育課程及び指導法	①	重複・LD等領域	重複・LD	
			発達障害者等の教育課程及び指導法	①	重複・LD等領域	言語・情緒・LD・ADHD	
			特別支援教育実習事前指導	①			
		特別支援教育実習事後指導	①				
		特別支援教育実習	②				
合計	26	合計必要修得単位数	28				

備考：1) 本学が開設する授業科目欄中、○数字は必修科目の単位数を示す。

2) 「単位数」欄に掲げる必修科目を履修して28単位を修得すること。

別表第3 (第5条第2項関係) 教育文化学部 教育学科
幼稚園教諭1種免許状の授業科目及び単位修得方法

(1) 教科に関する科目 (第4条第1号)

免許法施行規則に定める科目区分等及び最低修得単位数		左記に対応する本学開設授業科目及び単位数	
科目名	単位数	授業科目	単位数
国語	1 以上 計6 の 単 科 目 に つ い て	国語科概論 (書写を含む)	②
算数		算数科概論	②
生活		生活科概論	②
音楽		音楽科概論	②
		音楽実習 I	1
図画工作		音楽実習 II	1
	造形美術概論	②	
体育	体育科概論	②	
合計	6	合計必要修得単位数	12

(2) 教職に関する科目 (第4条第2号)

免許法施行規則に定める科目区分等及び最低修得単位数		左記に対応する本学開設授業科目及び単位数		
科目名	単位数	授業科目	単位数	
教職の意義等に関する科目	2	教職概論 (幼・小)	②	
		教職の意義及び教員の役割 教員の職務内容 (研修、服務及び身分保障等を含む)。 進路選択に資する各種の機会の提供等		
教育の基礎理論に関する科目	6	教育原理 (幼・小)	②	
		保育原理	②	
教育課程及び指導法に関する科目	18	教育心理学 (幼・小)	②	
		教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想		
		教育経営学 (幼・小)	②	
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項		
		教育課程の意義及び編成の方法	教育課程論 (幼・小)	②
		保育内容の指導法	保育内容総論	②
			保育内容指導論	②
			保育内容 (健康)	②
保育内容 (人間関係)	②			
保育内容 (環境)	②			
生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	2	保育内容 (言葉)	②	
		保育内容 (表現)	②	
教育実習	5	保育内容 (表紙)	②	
		教育の方法及び技術 (情報機器及び教材の活用を含む)。	教育方法論 (情報機器・教材活用を含む) (幼・小)	②
教職実践演習	2	幼児理解の理論及び方法	こども理解	②
		教育相談 (カウンセリングに関する基礎的な知識を含む) の理論及び方法	教育相談論 (カウンセリングを含む) (幼・小)	②
合計	35	合計必要修得単位数	40	

(3) 教科又は教職に関する科目 (第4条第3号)

免許法施行規則に定める科目区分等及び最低修得単位数		左記に対応する本学開設授業科目及び単位数	
科目名	単位数	授業科目	単位数
教科又は教職に関する科目	10		
合計	10	合計必要修得単位数	10
備考: (1)「教科に関する科目」及び(2)「教職に関する科目」左欄の免許法施行規則に定める最低修得単位数を超えて修得した単位を含み10単位以上修得する。			

(4) 教育職員免許法施行規則第66条の6に規定する科目 (第4条第7号)

免許法施行規則に定める科目区分等及び最低修得単位数		左記に対応する本学開設授業科目及び単位数	
科目名	単位数	授業科目	単位数
日本国憲法	2	日本国憲法	②
体育	2	健康体育 (実技を含む)	②
外国語コミュニケーション	2	英語コミュニケーション I	②
情報機器の操作	2	情報機器操作 I	②
合計	8	合計必要修得単位数	8

備考: 1) 本学が開設する授業科目中、○数字は必修科目の単位数を示す。

2) (1)~(4)までの本学開設授業科目から、必修科目を履修して修得する単位を含め、所要の授業科目を履修して60単位以上を修得すること。

別表第4 (第5条第2項関係) 教育文化学部 教育学科
小学校教諭1種免許状の授業科目及び単位修得方法

(1) 教科に関する科目 (第4条第1号)

免許法施行規則に定める科目区分等及び最低修得単位数		左記に対応する本学開設授業科目及び単位数	
科目名	単位数	授業科目	単位数
国語 (書写を含む。)	1 計 8 の 科 目 に つ い て	国語科概論 (書写を含む)	②
社会		社会科概論	②
算数		算数科概論	②
理科		理科概論	②
生活		生活科概論	②
音楽		音楽科概論	②
		音楽実習Ⅰ	1
		音楽実習Ⅱ	1
図画工作		造形美術概論	②
家庭		家庭科概論	②
体育	体育科概論	②	
合計	8	合計必要修得単位数	18

(2) 教職に関する科目 (第4条第2号)

免許法施行規則に定める科目区分等及び最低修得単位数		左記に対応する本学開設授業科目及び単位数	
科目名	単位数	授業科目	単位数
教職の意義等に関する科目	2	教職概論 (幼・小)	②
教職の意義及び教員の役割 教員の職務内容 (研修、服務及び身分保障等を含む。) 進路選択に資する各種の機会の提供等			
教育の基礎理論に関する科目	6	教育原理 (幼・小)	②
教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程 (障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。)		教育心理学 (幼・小)	②
教育に関する社会的、制度的又は経営的事項 教育課程の意義及び編成の方法		教育経営学 (幼・小)	②
教育課程及び指導法に関する科目	22	教育課程論 (幼・小)	②
各教科の指導法		国語科指導法Ⅰ	②
		国語科指導法Ⅱ	2
		国語科指導法Ⅲ	2
		社会科指導法Ⅰ	②
		社会科指導法Ⅱ	2
		社会科指導法Ⅲ	2
		算数科指導法Ⅰ	②
		算数科指導法Ⅱ	2
		算数科指導法Ⅲ	2
		理科指導法Ⅰ	②
		理科指導法Ⅱ	2
		理科指導法Ⅲ	2
		生活科指導法Ⅰ	②
		生活科指導法Ⅱ	2
		生活科指導法Ⅲ	2
		音楽科指導法Ⅰ	②
		音楽科指導法Ⅱ	2
		音楽科指導法Ⅲ	2
		図画工作科指導法Ⅰ	②
		図画工作科指導法Ⅱ	2
		図画工作科指導法Ⅲ	2
	家庭科指導法Ⅰ	②	
家庭科指導法Ⅱ	2		
家庭科指導法Ⅲ	2		
体育科指導法Ⅰ	②		
体育科指導法Ⅱ	2		
体育科指導法Ⅲ	2		
道徳の指導法		道徳教育論 (小)	②
特別活動の指導法		特別活動論 (小)	②
教育の方法及び技術 (情報機器及び教材の活用を含む。)		教育方法論 (情報機器・教材活用を含む) (幼・小)	②
生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	4	生徒指導論 (進路指導を含む) (小)	②
生徒指導の理論及び方法 進路指導の理論及び方法 教育相談 (カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。) の理論及び方法		教育相談論 (カウンセリングを含む) (幼・小)	②
教育実習	5	教育実習事前指導 (幼・小)	①
		教育実習事後指導 (幼・小)	①
		教育実習 (幼・小)	④
教職実践演習	2	教職実践演習 (幼・小)	②
合計	41	合計必要修得単位数	46

(3) 教科又は教職に関する科目 (第4条第3号)

免許法施行規則に定める科目区分等及び最低修得単位数		左記に対応する本学開設授業科目及び単位数	
科目名	単位数	授業科目	単位数
教科又は教職に関する科目	10	小学校英語	2
合計	10	合計必要修得単位数	10

備考：(1)「教科に関する科目」及び(2)「教職に関する科目」左欄の免許法施行規則に定める最低修得単位数を超えて修得した単位を含み10単位以上修得する。

(4) 教育職員免許法施行規則第66条の6に規定する科目 (第4条第7号)

免許法施行規則に定める科目区分等及び最低修得単位数		左記に対応する本学開設授業科目及び単位数	
科目名	単位数	授業科目	単位数
日本国憲法	2	日本国憲法	②
体育	2	健康体育 (実技を含む)	②
外国語コミュニケーション	2	英語コミュニケーション I	②
情報機器の操作	2	情報機器操作 I	②
合計	8	合計必要修得単位数	8

備考：1) 本学が開設する授業科目中、○数字は必修科目の単位数を示す。

- 2) (1)~(4)までの本学開設授業科目から、必修科目を履修して修得する単位を含め、所要の授業科目を履修して72単位以上を修得すること。

別表第5 (第5条第2項関係) 教育文化学部 教育学科
 養護教諭1種免許状の授業科目及び単位修得方法

(1) 養護に関する科目 (第4条第5号)

免許法施行規則に定める科目区分等及び最低修得単位数		左記に対応する本学開設授業科目及び単位数	
科目名	単位数	授業科目	単位数
衛生学及び公衆衛生学 (予防医学を含む。)	4	衛生学 公衆衛生学	② ②
学校保健	2	学校保健	②
養護概説	2	養護実践学Ⅰ 養護実践学Ⅱ 養護活動実習Ⅰ 養護活動実習Ⅱ 養護実践学演習	② ② ② 2 3
健康相談活動の理論及び方法	2	健康相談活動の理論及び方法 健康相談活動演習	② ②
栄養学 (食品学を含む。)	2	栄養学 (食品学を含む)	②
解剖学及び生理学	2	解剖生理学	②
〔微生物学、免疫学、薬理概論〕	2	微生物学 (免疫学を含む) 薬理概論	2 ②
精神保健	2	精神保健	②
看護学 (臨床実習及び救急処置を含む。)	10	看護学概論 看護学各論 看護技術演習 (救急処置を含む)Ⅰ 看護技術演習 (救急処置を含む)Ⅱ 看護学臨床実習	② ② ② 2 ④
合計	28	合計必要修得単位数	34

(2) 教職に関する科目 (第4条第2号)

免許法施行規則に定める科目区分等及び最低修得単位数		左記に対応する本学開設授業科目及び単位数	
科目名	単位数	授業科目	単位数
教職の意義等に関する科目 教職の意義及び教員の役割 教員の職務内容 (研修、服務及び身分保障等を含む。) 進路選択に資する各種の機会の提供等	2	教職概論	②
教育の基礎理論に関する科目 教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程 (障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。)	4	教育原理 教育心理学	② ②
教育課程に関する科目 教育に関する社会的、制度的又は経営的事項 教育課程の意義及び編成の方法	4	教育経営学 教育課程論	② ②
生徒指導及び教育相談に関する科目 道徳及び特別活動に関する内容 教育の方法及び技術 (情報機器及び教材の活用を含む。)	4	道徳教育論 特別活動論 教育方法論 (情報機器・教材活用を含む)	② ② ②
生徒指導及び教育相談に関する科目 生徒指導の理論及び方法	4	生徒指導論	②
養護実習	5	養護実習事前指導 養護実習事後指導 養護実習	① ① ④
教職実践演習	2	教職実践演習 (養護教諭)	②
合計	21	合計必要修得単位数	28

(3) 養護又は教職に関する科目 (第4条第6号)

免許法施行規則に定める科目区分等及び最低修得単位数		左記に対応する本学開設授業科目及び単位数	
科目名	単位数	授業科目	単位数
養護又は教職に関する科目	7		
合計	7	合計必要修得単位数	7

備考：(1)「養護に関する科目」及び(2)「教職に関する科目」左欄の免許法施行規則に定める最低修得単位数を超えて修得した単位を含み7単位以上修得する。

(4) 教育職員免許法施行規則第66条の6に規定する科目 (第4条第7号)

免許法施行規則に定める科目区分等及び最低修得単位数		左記に対応する本学開設授業科目及び単位数	
科目名	単位数	授業科目	単位数
日本国憲法	2	日本国憲法	②
体育	2	健康体育 (実技を含む)	②
外国語コミュニケーション	2	英語コミュニケーションⅠ	②
情報機器の操作	2	情報機器操作Ⅰ	②
合計	8	合計必要修得単位数	8

備考：1) 本学が開設する上記の授業科目欄中、○数字は必修科目の単位数を示す。

2) (1)~(4)までの本学開設授業科目から、必修科目を履修して修得する単位を含め、所要の授業科目を履修して70単位以上を修得すること。

別表第6 (第5条第2項関係) 教育文化学部 教育学科

中学校教諭1種免許状「音楽」及び高等学校教諭1種免許状「音楽」の授業科目及び単位修得方法

(1) 教科に関する科目 (第4条第1号)

免許法施行規則に定める科目区分等及び最低修得単位数		左記に対応する本学開設授業科目及び単位数		
科目名	単位数	授 業 科 目	中単位数	高単位数
ソルフェージュ		ソルフェージュ	②	②
声乐 (合唱及び日本の伝統的な歌唱を含む。)	各1単位以上	声乐基礎演習Ⅰ	②	②
		声乐基礎演習Ⅱ	②	②
		声乐表現演習Ⅰ	2	2
		声乐表現演習Ⅱ	2	2
		合唱Ⅰ	①	①
		合唱Ⅱ	①	①
器楽 (合奏及び伴奏並びに和楽器を含む。)	計20単位以上	器楽基礎演習Ⅰ	②	②
		器楽基礎演習Ⅱ	②	②
		器楽表現演習Ⅰ	2	2
		器楽表現演習Ⅱ	2	2
		合奏Ⅰ	②	②
		ピアノ基礎演習Ⅰ	②	②
		ピアノ基礎演習Ⅱ	②	②
		ピアノ表現演習Ⅰ	2	2
		ピアノ表現演習Ⅱ	2	2
指揮法		指揮法	②	②
音楽理論、作曲法 (編曲法を含む。) 及び音楽史 (日本の伝統音楽及び諸民族の音楽を含む。)		音楽概論	②	②
		楽典	②	②
		作曲法	②	②
		音楽史	②	②
		音楽鑑賞法	②	②
合 計	20	合 計 必 要 修 得 単 位 数	30	30

(2) 教職に関する科目 (第4条第2号)

免許法施行規則に定める科目区分等及び最低修得単位数		左記に対応する本学開設授業科目及び単位数			
科目名	単位数	授 業 科 目	中単位数	高単位数	
教職の意義等に関する科目	2	教職の意義及び教員の役割	教職概論	②	②
		教員の職務内容 (研修、服務及び身分保障等を含む。)			
		進路選択に資する各種の機会の提供等			
教育の基礎理論に関する科目	6	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原理	②	②
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程 (障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。)	教育心理学	②	②
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項	教育経営学	②	②
教育課程及び指導法に関する科目	高6 中12	教育課程の意義及び編成の方法	教育課程論	②	②
		各教科の指導法	音楽科教育法Ⅰ	②	②
			音楽科教育法Ⅱ	②	②
			音楽科教育法Ⅲ	②	②
			音楽科教育法Ⅳ	2	2
道徳の指導法	道徳教育論	②	②		
特別活動の指導法	特別活動論	②	②		
教育の方法及び技術 (情報機器及び教材の活用を含む。)	教育方法論 (情報機器・教材活用を含む)	②	②		
生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	4	生徒指導の理論及び方法	生徒指導論 (進路指導を含む)	②	②
		進路指導の理論及び方法			
		教育相談 (カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法			
教育実習	中5 高3	教育実習事前指導	①	①	
		教育実習事後指導	①	①	
		教育実習Ⅰ	④	*4	
		教育実習Ⅱ		*2	
教職実践演習	2	教職実践演習 (中・高)	②	②	
合 計 : 中学校 31、高等学校 23		合 計 必 要 修 得 単 位 数		34	30

備考：高等学校教諭1種免許状取得のためには*印の科目から1科目を選択して履修すること。

(3) 教科又は教職に関する科目 (第4条第3号)

免許法施行規則に定める科目区分等及び最低修得単位数		左記に対応する本学開設授業科目及び単位数		
科目名	単位数	授 業 科 目	中単位数	高単位数
教科又は教職に関する科目	中8 高16	道徳教育論		2
合 計		合 計 必 要 修 得 単 位 数	8	16

備考：(1)「教科に関する科目」及び(2)「教職に関する科目」左欄の免許法施行規則に定める最低修得単位数を超えて修得した単位を含み、中学校教諭1種免許状は8単位以上、高等学校教諭1種免許状は16単位以上修得する。

(4) 教育職員免許法施行規則第66条の6に規定する科目 (第4条第7号)

免許法施行規則に定める科目区分等及び最低修得単位数		左記に対応する本学開設授業科目及び単位数		
科目名	単位数	授 業 科 目	中単位数	高単位数
日本国憲法	2	日本国憲法	②	②
体 育	2	健康体育 (実技を含む)	②	②
外国語コミュニケーション	2	英語コミュニケーションI	②	②
情報機器の操作	2	情報機器操作I	②	②
合 計	8	合 計 必 要 修 得 単 位 数	8	8

- 備考：1) 本学が開設する授業科目欄中、○数字は必修科目の単位数を、*印は選択必修科目を示す。
 2) 中学校教諭1種免許状にあっては、(1)~(4)までの本学開設科目授業科目の「中単位数」欄に掲げる授業科目から、必修科目及び選択必修科目を履修して修得する単位を含め、所要の授業科目を履修して72単位以上を修得すること。
 3) 高等学校教諭1種免許状にあっては、(1)~(4)までの本学開設授業科目の「高単位数」欄に掲げる授業科目から、必修科目及び選択必修科目を履修して修得する単位を含め、所要の授業科目を履修して68単位以上を修得すること。

別表第7 (第5条第2項関係) 教育文化学部 芸術学科

中学校教諭1種免許状「美術」及び高等学校教諭1種免許状「美術」の授業科目及び単位修得方法

(1) 教科に関する科目 (第4条第1号)

免許法施行規則に定める科目区分等及び最低修得単位数		左記に対応する本学開設授業科目及び単位数		
科目名	単位数	授 業 科 目	中単位数	高単位数
絵画 (映像メディア表現を含む。)		ドローイング I	②	②
		絵画 I	②	②
		絵画 II	②	②
		絵画 III	②	②
彫 刻	各1単位以上	彫刻 I	②	②
		彫刻 II	②	②
		彫刻 III	②	②
デザイン (映像メディア表現を含む。)	20	グラフィックデザイン I	②	②
		グラフィックデザイン II	②	②
		空間デザイン基礎	②	②
		インテリアデザイン	②	②
工 芸	20	木材工芸	②	②
		美術概論	②	②
		色彩計画	2	2
		美術史	②	②
		美学	②	②
合 計	20	合 計 必 要 修 得 単 位 数	30	28

(2) 教職に関する科目 (第4条第2号)

免許法施行規則に定める科目区分等及び最低修得単位数		左記に対応する本学開設授業科目及び単位数			
科目名	単位数	授 業 科 目	中単位数	高単位数	
教職の意義等に関する科目	2	教職の意義及び教員の役割	教職概論	②	②
		教員の職務内容 (研修、服務及び身分保障等を含む。)			
		進路選択に資する各種の機会の提供等			
教育の基礎理論に関する科目	6	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原理	②	②
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程 (障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。)	教育心理学	②	②
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項	教育経営学	②	②
教育課程及び指導法に関する科目	高6 中12	教育課程の意義及び編成の方法	教育課程論	②	②
		各教科の指導法	美術科教育法 I	②	②
			美術科教育法 II	②	②
			美術科教育法 III	②	②
			美術科教育法 IV	2	2
		道徳の指導法	道徳教育論	②	②
特別活動の指導法	特別活動論	②	②		
教育の方法及び技術 (情報機器及び教材の活用を含む。)	教育方法論 (情報機器・教材活用を含む)	②	②		
生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	4	生徒指導の理論及び方法	生徒指導論 (進路指導を含む)	②	②
		進路指導の理論及び方法	教育相談論 (カウンセリングを含む)	②	②
教育実習	中5 高3	教育実習事前指導	①	①	
		教育実習事後指導	①	①	
		教育実習 I	④	* 4	
		教育実習 II	②	* 2	
教職実践演習	2	教職実践演習 (中・高)	②	②	
合 計：中学校 31、高等学校 23		合 計 必 要 修 得 単 位 数	34	30	

備考：高等学校教諭1種免許状取得のためには*印の科目から1科目を選択して履修すること。

(3) 教科又は教職に関する科目 (第4条第3号)

免許法施行規則に定める科目区分等及び最低修得単位数		左記に対応する本学開設授業科目及び単位数		
科目名	単位数	授業科目	中単位数	高単位数
教科又は教職に関する科目	中8 高16	道徳教育論		2
合計		合計必要修得単位数		8 16

備考：(1)「教科に関する科目」及び(2)「教職に関する科目」左欄の免許法施行規則に定める最低修得単位数を超えて修得した単位を含み、中学校教諭1種免許状は8単位以上、高等学校教諭1種免許状は16単位以上修得する。

(4) 教育職員免許法施行規則第66条の6に規定する科目 (第4条第7号)

免許法施行規則に定める科目区分等及び最低修得単位数		左記に対応する本学開設授業科目及び単位数		
科目名	単位数	授業科目	中単位数	高単位数
日本国憲法	2	日本国憲法	②	②
体育	2	健康体育(実技を含む)	②	②
外国語コミュニケーション	2	英語コミュニケーションI	②	②
情報機器の操作	2	情報機器操作I	②	②
合計		合計必要修得単位数		8 8

- 備考：1) 本学が開設する授業科目欄中、○数字は必修科目の単位数を、*印は選択必修科目を示す。
 2) 中学校教諭1種免許状にあっては、(1)~(4)までの本学開設科目授業科目の「中単位数」欄に掲げる授業科目から、必修科目及び選択必修科目を履修して修得する単位を含め、所要の授業科目を履修して72単位以上を修得すること。
 3) 高等学校教諭1種免許状にあっては、(1)~(4)までの本学開設授業科目の「高単位数」欄に掲げる授業科目から、必修科目及び選択必修科目を履修して修得する単位を含め、所要の授業科目を履修して67単位以上を修得すること。

7) 札幌圏大学・短期大学間単位互換協定について

単位互換制度とは、この制度に参加する協定大学が提供する単位互換科目を各大学で履修し、それを所属大学の単位として認定する制度です。

この制度では、各大学（学部・学科）の特色ある科目が単位互換科目として提供されています。自分の専攻を深めるため、あるいは自分の大学にない科目を学ぶためなど、学生のみなさんの幅広い関心と興味に応じた履修機会が大幅に広がることが期待されています。

平成30年度は札幌圏の9大学（札幌学院大学・札幌国際大学・札幌大学・東海大学・藤女子大学・北翔大学・北星学園大学・北海道科学大学・酪農学園大学）と3短期大学（札幌国際大学短期大学部・北翔大学短期大学部・北星学園大学短期大学部）が協定大学となっています。

単位互換協定大学に在学する2年次以上の学生であれば、所属する大学の許可を受け、出願することができます。1年間に履修できる単位数は全ての協定大学を合わせて10単位で、授業料は原則として無料です（実習・実験等の授業で実費等の経費が必要な場合は徴収します）。

単位互換の各大学の提供科目や出願手続きなどについては4月上旬に説明会を開催します。また詳しいことについては学習支援オフィスにお問い合わせください。

3. 学費等納付金関係

1) 学費等納付金

学部	内訳		前学期	後学期	年度計
生涯スポーツ学部 教育文化学部	学費	入学金	310,000円	— 円	310,000円
		授業料	425,000円	425,000円	850,000円
		施設設備費	125,000円	125,000円	250,000円
		計	860,000円	550,000円	1,410,000円
	その他の経費	自治会費(年額)	5,000円	— 円	5,000円
		保険料(4年分)	4,660円	— 円	4,660円
		同窓会費(終身)	40,000円	— 円	40,000円
		計	49,660円	— 円	49,660円
	合計		909,660円	550,000円	1,459,660円

※入学金・保険料・同窓会費は初年度のみ。ただし、4年を超えて在籍する場合は、別途保険料が必要となります。

※経済情勢などの変動により金額が改定されることがあります。

2) 別途徴収となる実習費・履修費

下記の特定科目等履修者については、別途実験実習料を納付していただきます。なお、備考に記載している年次は、標準履修年次等です。

学科等	特定科目名	実験実習料	備考
スポーツ 教育学科	野外教育実習	8,000円	2年次 夏季キャンプ実習
	雪上活動実習	10,000円	2年次 冬季キャンプ実習
	生涯スポーツ(冬季スポーツ)	10,000円	2年次 スキー実習
	野外教育指導実習	8,000円	3年次 夏季キャンプ実習
健康福祉学科	介護基礎演習	20,000円	2年次
	介護実習指導Ⅰ(介護実習Ⅰ含む)	40,000円	2年次 介護福祉士
	介護実習指導Ⅱ(介護実習Ⅱ含む)	50,000円	3年次 受験資格指定実習
	介護実習指導Ⅲ	10,000円	4年次
	相談援助実習指導Ⅰ	10,000円	2年次 社会福祉士
	相談援助実習	40,000円	3年次 受験資格指定実習
教育学科	看護学臨床実習	50,000円	2年次 養護教諭免許状取得希望者対象
	保育実習指導Ⅰ及び保育実習Ⅰ	30,000円	3年次
	保育実習指導Ⅱ及び保育実習Ⅱ	20,000円	4年次 保育士資格 取得希望者対象
	保育実習指導Ⅲ及び保育実習Ⅲ	20,000円	※どちらか一方を履修
芸術学科	博物館実習	20,000円	4年次 学芸員資格指定実習
心理カウンセリング 学科	精神保健福祉援助実習	総額	3年次30,000円 精神保健福祉士
		70,000円	4年次40,000円 受験資格指定実習
学科共通 (教職課程履修費)	教育実習事前指導	30,000円	2年次又は3年次
	養護実習事前指導		
	教育実習	20,000円	3年次又は4年次
	養護実習		
学科共通	特別支援教育実習	10,000円	4年次 特別支援学校教諭免許状取得希望者対象

※上記実験実習料の金額については、実習費用などの上昇及び教育職員免許状の取得方法並びに履修規程の改正などにより変更する場合があります。

※上記の他にも、演習・実習・見学・資格取得などで、別途費用が必要となる場合があります。

3) 納付期日

学費等の納付については、会計課から本学所定の振込依頼書を送付いたします（年2～4回）ので、必ずこの振込依頼書を使用して銀行などの金融機関の窓口でお振り込みください。振込依頼書送付予定日及び納付期日は下記のとおりです。

回	振込依頼書送付予定日	納付期日	納付内容
1回目	3月中旬 (初年度は合格通知等に同封)	4月30日 (初年度は入学手続時)	前学期 授業料 前学期 施設設備費 自治会費（年額）
2回目	6月下旬	7月下旬	前学期（通年含む）実験実習料
3回目	8月中旬	9月30日	後学期 授業料 後学期 施設設備費
4回目	11月中旬	12月中旬	後学期 実験実習料

※特定科目等を履修していない場合、2回目・4回目の実験実習料は発生いたしませんので、振込依頼書の送付はありません。また、一部の特定科目で、実習直前に会計課窓口で納付していただく実験実習料があります。

※実験実習料の前学期・後学期については、授業等が開講される学期になりますので、講義要綱でご確認ください。

※納付期日が金融機関の休業日にあたる場合は、翌営業日が納付期日となります。

※入学後の振込依頼書（2回目以降）は、入学手続時に提出された誓約書に記載されている保証人宛に送付いたします。保証人以外の者が学費を負担する場合は手続きが必要となりますので、会計課（TEL (011) 387-3393）にお問い合わせください。

